

科目名	言語表現論		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

\*参加型のアクティブラーニングで授業を進めます。

社会で求められているコミュニケーション能力とは何かを理解し

必要なスキルを実践的に学び、「書く」「考える」「伝える」「理解する」力の基礎を身に付ける。

グループワークで、アウトプット、フィードバックの訓練をおこないます。

自分の考えを言語化し、見える状態にすることから始めます。

マインドマップを基本ツールとしてマスターしてもらいます。

## 内容

1	この授業の意味と評価の方法。
2	コミュニケーション能力とは何か。
3	マインドマップというツール
4	メディア力を高める
5	考える、書く、実行する方法1
6	考える、書く、実行する方法2
7	相手理解と伝える行為1
8	相手理解と伝える行為2
9	伝わる・揺さぶる1
10	伝わる・揺さぶる2
11	アウトプットとフィードバック
12	社会が求める言語運用能力とのギャップ
13	続けるコツと助け合い
14	継続的マップ化
15	振り返り

## 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」をメールで送信。  
 日常出席まとめ感想メール...1~7ポイント(提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題...3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ

程度]課す) 最終課題or試験・・・5~10ポイント 合計ポイントと評価・・・D<60 C<70 B<80 A

(4回以上の欠席は受講放棄とみなします)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	文章表現コミュニケーション		
担当教員名	大西 正行		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

前期(文章表現コミュニケーション)、後期(同2)を通して、相手をそらさず、相手に信頼される文章表現を磨きます。

前期はコミュニケーションの基礎となる手紙や企画書の書き方などを学んで実社会で生きる力を養い、後期は説得力を持った論理的な文章力の向上などに主眼を置きます。

#### 内容

いざ実社会に出た時、「どのような言葉、文章で自分を表現したら、周囲や上司に信頼される人材として認められるか」を授業の眼目とします。そのために手紙の書き方(御礼、お詫び等のケース)をはじめ、就職活動に直結する自己PR等の文章の指導・添削等を通して、コミュニケーション能力の向上を図ります。

実社会では、敬語の使い方はもとより、使わない不快な言葉等への認識がその人の評価に直接つながります。授業では、常識豊かな大人の表現の型を身に付けてもらい、その土台の上に「自分の気持ち、考え方を相手にどう伝えたらよいか」を学び、自分の周囲のみならず、ビジネスシーンにも対応できるコミュニケーション力を養います。

#### 評価

授業中に書く文章やレポート=60点、出席率+授業への取り組み=40点計100点で60点以上を合格とします。詳細については担当教員が最初に説明します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	文章表現コミュニケーション		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

コミュニケーションは「話すー聞く」「書くー読む」が基本である。このうちこの授業では「書く」力を養い、自分を文章で正確に表現して相手に伝えるノウハウを習得する。

文章力は読書(量)に比例する。とにかく本を読むこと大切である。まず「書くこと」に慣れ、苦にならないようになることを第一の狙いとする。

正しい日本語の書き方、正しい原稿用紙の使い方、文章表現上の作法を習得する。

#### 内容

「きちんとした文章」とはどのような文章のことを言うのだろうか。それは、その文章を何のために、誰のために書くのか、という書く目的によつと異なるが、基本は自分の書きたいことが過不足なく書かれ、読んだ人が正しく理解してくれる文章ではないだろうか。

授業ではいろいろな題で800字~1200字程度の文章(小論文)を制限時間(授業時間)内に書くことに重点を置く。とにかく出来るだけ沢山書く訓練を続ける。書いた文章は提出後に添削し、翌週全員に返却し、クラス全体で表現力、語彙力、構成力などについて検証する。その際、プライバシーを守るために、執筆者名が他に分からないように配慮することはもちろんである。

#### 評価

毎回書いた文章 = 60点、出席 = 40点 計100点 うち60点で合格

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

参考図書は随時、紹介する。大学生として当然読んでおいた方が良いと考える本も随時、紹介する。

科目名	文章表現コミュニケーション		
担当教員名	佐藤 公正		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

文章を書くことは、とても恐ろしい作業です。なぜなら、文章は書いた人の全人格を表すものだからです。あなたの文章の後ろに、あなたという人間が透けて見えるというのです。薄っぺらな知識や生半可な思考も隠しようがありません。怖いですね。でも、立場を変えてみたら、どうでしょうか。だれかの文章を読んで、あなたはその人の考えかたや人となりの裏も表も知ることができるかもしれない。これは面白いゲームだと考えることもできます。

書くことと読むことは、ひとつのことです。どっちも面倒くさい?携帯メールのおしゃべりで十分?でも、大学のレポートや就職活動のエントリーシート、仕事の報告や提案が「おしゃべり」で済むはずもありませんよね。

本当の自分らしさを理解してほしいと考えるあなたは、その瞬間から文章が必要になります。考えるということは頭脳のなかで、物事を文章化して整理することだからです。つまり、考えることは書くこと、書くことは考える力を養うことなのです。書くことで、本当の自分と向き合い、新しい自分を発見することができます。

このように怖いけれど楽しい作業に、挑んでみませんか。

#### 内容

上記のねらいに沿って正確で分かりやすい文章表現の知識と技法を身につけるため、ワークシートなどを使って演習形式を軸に授業を展開します。

具体的には、原稿・レポート用紙の使い方など文章作成の基礎から、与えられたテーマの文章を指定の文字数で決められた時間内にまとめ上げる段階まで、それぞれ実践的な反復練習に主眼をおきます。

論文や報告書などの論理的な文章の効果的な書き方

就職活動などで求められる作文課題のこなし方

メールや手紙のマナーなどの実用文の作法

恥をかかない敬意表現の基本

間違いやすい用語や熟語の例など

以上のような分野の習得を通じて、社会人基礎力の土台を養います。

#### 評価

授業中に書く文章やレポート = 60点、授業への取り組みと出席率 = 40点。計60点以上を合格とします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要に応じて参考文献を紹介するほか、プリントを配布します。

科目名	文章表現コミュニケーション		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

\*参加型のアクティブラーニングで授業を進めます。

自分の考えを言語化し、見える状態にすることから始めます。

マインドマップを「書く」「考える」「伝える」の基本ツールとしてマスターしてもらいます。

まずは、自分の思い・考えを文字化し、伝えあうことを参加型のワークセッションを行いながら進めます。

書くことが苦手というレベルからの脱出。

発想法を身につけたい学生のレベルアップを目指します。

伝えることの楽しさを異種との交流を通して実感してもらいます。

## 内容

授業の中で扱うテーマとしては

to doリストの作成

文章化による問題発見・解決方法育成

こだわり発見

異種理解

ホスピタリティ

などをステップを踏みながら進んでいきます。

皆さんの積極的な参加を希望します。

## 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に

まとめ&感想(質問含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」をメールで送信。 日常出席まとめ感想メール・・・1~7ポイント(提出【基礎点】... 1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題・・・3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度]課す) 最終課題or試験・・・5~10ポイント 合計ポイントと評価  
 ...D<60 C<70 B<80 A(4回以上の欠席は受講放棄とみなします)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	文章表現コミュニケーション		
担当教員名	大西 正行		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

前期で学んだ手紙の書き方や企画書の作り方を踏まえ、次の段階として自分の考え方を相手に示し評価・理解してもらうための「説得力を持った論理的な文章」等の向上に力を注ぎます。

分かりやすさ・洞察力・語彙(ボキャブラリー)・基礎知識を文章によるコミュニケーションの4要素と位置付け、これらの総合的向上を図ります。

#### 内容

文章によって相手に自分の気持ちを的確に伝えることのできる人は、フェイス・ツー・フェイスのコミュニケーションや、多くの人に自分の考えを訴える会議の場でも、説得力・指導力を発揮することが出来ます。

文章とは、書く人にとって相手を説得する力となり、相手に信頼される源泉となるものです。このクラスでは、さまざまなテーマについて、論理的な文章をはじめとして読み手の理解と評価を得る文章を多く書いてもらい、添削指導を行います。「作文 添削 講評と指導」のプロセスを積み重ねることで、受講者の心に文章を書くことの楽しさと自信が次第に芽生え、コミュニケーションの力が吟味される今後の就職活動にもプラスになるように努めます。

#### 評価

授業中に書く文章やレポート = 60点、出席率 + 授業への取り組み = 40点 計100点で60点以上を合格とします。詳細については担当教員が最初に説明します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	文章表現コミュニケーション		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

文章にはさまざまなタイプ、形式がある。あいさつ文や手紙の文章から報告書、調査・研究結果を取りまとめた文章(卒業論文)、就職活動の自己PR(エントリーシート)まで千差万別である。

パソコンや携帯電話の爆発的な普及によって、日本人は手紙を書かなくなったと言われるようになって久しい。しかし、ひと昔前のように便箋に書いて封筒に入れ、郵便ポストに投函する代わりに、パソコンや携帯電話のメールで手紙と同じように近況報告はするのである。便箋からメールに変わっただけで、そこに書く文章の内容や書き方の作法、ルールは不変である。違いがあるとすれば、「絵文字」があるかないかくらいのものだ。

また、4年次の卒業論文では、1万字~2万字を超える長い文章(論文)を書くことが求められるが、短い文章も長い文章も基本は同じである。構成を考え、順序良く分かりやすい文章が書けているかどうかである。

この授業では、手紙から報告書・論文まで、さまざまなタイプの文章の書き方を習得する。

#### 内容

とにかくさまざまな文章を書き、添削して返却し、そして考える、この繰り返しである。

「文章表現コミュニケーション」を参照。

#### 評価

毎回書いた文章 = 60点、出席 = 40点、計100点 うち60点で合格

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

随時紹介する。



科目名	文章表現コミュニケーション		
担当教員名	佐藤 公正		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

文章を書くことは、とても恐ろしい作業です。なぜなら、文章は書いた人の全人格を表すものだからです。あなたの文章の後ろに、あなたという人間が透けて見えるというのです。薄っぺらな知識や生半可な思考も隠しようがありません。怖いですね。でも、立場を変えてみたら、どうでしょうか。だれかの文章を読んで、あなたはその人の考えかたや人となりの裏も表も知ることができるかもしれない。これは面白いゲームだと考えることもできます。

書くことと読むことは、ひとつのことです。どちらも面倒くさい? 携帯メールのおしゃべりで十分? でも、大学のレポートや就職のエントリーシート、仕事の報告や提案が「おしゃべり」で済むはずありませんよね。

本当の自分らしさを理解してほしいと考えるあなたは、その瞬間から文章が必要になります。考えるということは頭脳のなかで、物事を文章化して整理することだからです。つまり、考えることは書くこと、書くことは考える力を養うことなのです。書くことで、本当の自分と向き合い、新しい自分を発見することができます。

このように怖いけれど楽しい作業に、挑んでみませんか。

#### 内容

上記のねらいに沿って正確で分かりやすい文章表現の知識と技法を身につけるため、前期の に引き続いて演習形式を軸に授業を展開します。

この後期 では、とくに「書き慣れる」ことに傾注します。

具体的には、前期 のシラバスで挙げた各分野の内容を深め、与えられたテーマの文章を指定の文字数で決められた時間内にまとめ上げるトレーニングに際しては、発想法、構成、日本語表現の各段階において、さらに実践的に習得します。

#### 評価

授業中に書く文章やレポート = 60点、授業への取り組みと出席率 = 40点。計60点以上を合格とします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要に応じて参考文献を紹介するほか、プリントを配布します。

科目名	文章表現コミュニケーション		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

\*参加型のアクティブラーニングの手法を用い授業を進めます。

自分の考えをより効果的に相手に理解してもらうためのコミュニケーション能力の向上のためのトレーニングを行います。論理的思考、論理的文章作成、伝わる文章の作成を、訓練を積み重ねることにより身につけてもらいます。

## 内容

前期習得したビジネスツールMind-mapをもとに様々なジャンルの文章を作成していきます。

文章化によるPlan Do Chack Actionのサイクルの定着

効果的なメール作成法、就職活動用エッセイ作成、お礼文作成など実用的な文章作成技法を身につけることを目標とします。

ワークショップ形式のグループセッションも併せて行っていきます。

## 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」をメールで送信。 日常出席まとめ感想メール...1~7ポイント(提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題...3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度]課す) 最終課題or試験...5~10ポイント 合計ポイントと評価...D<60 C<70 B<80 A(4回以上の欠席は受講放棄とみなします)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	音声表現コミュニケーション		
担当教員名	小田 貞夫		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「聞く」ことと「話す」ことは、「読む」こと「書く」ことと並んでコミュニケーションの基本です。ところが、近頃の若者は人の話を聞いても理解できないとか、自分の考えを分かりやすく人に伝えることが下手だとか、話しことばによるコミュニケーションの力が落ちているといわれます。日本経団連が毎年行っている「新卒社員の採用に関するアンケート調査」のなかで「選考時に重視する要素」を聞いていますが、「コミュニケーション能力」を挙げた企業は5社に4社の割合にのぼり第1位です。特に求められているのが、話しことばで意思を通い合わせる力です。

「聞く力」「話す力」を育てることは就職活動に有利であるとか、将来社会に出たときの必須の能力だとかいうことに止まらず、好ましい人間関係を築いていく上で不可欠のことなのです。この授業では、話しことばによるコミュニケーションの基本と応用を、理論の学習と実技の演習をとおして学びます。

#### 内容

コミュニケーション力は、日常の実践をとおして養われます。この授業では毎回、人の話を聞く、文章を読んだりスピーチをしたりする。それを互いに批評しあって、聞くことと話すことのポイントを掴むことに努める。その繰り返して理解力と表現力、構成力を付けていくことを目指します。この授業を担当する3人の教員はいずれもNHKのアナウンサーや記者として長いキャリアを持つ、話しことばによるコミュニケーションのプロです。それぞれの多彩な体験や豊富な知識を盛り込みながら授業を進め、日本語表現の素晴らしさを皆さんに理解してもらい、実践してもらいます。

授業の内容や進め方は教員によって異なりますが、概ね次のようなテーマを取り上げます。

人の話を聞いて理解する 会話を磨く 自己紹介と話しことばのコミュニケーション

発声と発音 声に出して読む スピーチ 話の組み立て 報告・レポート・プレゼンテーション

インタビューと取材 敬意表現 会議の企画と進行 ディベート

○グループディスカッション

#### 評価

最初の授業で各教員から評価について説明しますが、授業への出席状況を重視します。そのほか、授業内での実技演習、期末のテストあるいはレポートを総合して評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【推薦書】【参考図書】については、最初の授業で各教員から指示や説明があります。

科目名	音声表現コミュニケーション		
担当教員名	川野 一字		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「聞く」ことと「話す」ことは、「読む」こと「書く」ことと並んでコミュニケーションの基本です。ところが、近頃の若者は人の話を聞いても理解できないとか、自分の考えを分かりやすく人に伝えることが下手だとか、話しことばによるコミュニケーションの力が落ちているといわれます。日本経団連が毎年行っている「新卒社員の採用に関するアンケート調査」のなかで「選考時に重視する要素」を聞いていますが、「コミュニケーション能力」を挙げた企業は5社に4社の割合にのぼり第1位です。特に求められているのが、話しことばで意思を通い合わせる力です。

「聞く力」「話す力」を育てることは就職活動に有利であるとか、将来社会に出たときの必須の能力だとかいうことに止まらず、好ましい人間関係を築いていく上で不可欠のことなのです。この授業では、話しことばによるコミュニケーションの基本と応用を、理論の学習と実技の演習をとおして学びます。

#### 内容

コミュニケーション力は、日常の実践をとおして養われます。この授業では毎回、人の話を聞く、文章を読んだりスピーチをしたりする。それを互いに批評しあって、聞くことと話すことのポイントを掴むことに努める。その繰り返して理解力と表現力、構成力を付けていくことを目指します。この授業を担当する3人の教員はいずれもNHKのアナウンサーや記者として長いキャリアを持つ、話しことばによるコミュニケーションのプロです。それぞれの多彩な体験や豊富な知識を盛り込みながら授業を進め、日本語表現の素晴らしさを皆さんに理解してもらい、実践してもらいます。

授業の内容や進め方は教員によって異なりますが、概ね次のようなテーマを取り上げます。

人の話を聞いて理解する      会話を磨く      自己紹介と話しことばのコミュニケーション  
 発声と発音      声に出して読む      スピーチ      話の組み立て      報告・レポート・プレゼンテーション  
 インタビューと取材      敬意表現      会議の企画と進行      ディベート ○グループディスカッション

#### 評価

最初の授業で各教員から評価について説明しますが、授業への出席状況を重視します。そのほか、授業内での実技演習、期末のテストあるいはレポートを総合して評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【推薦書】【参考図書】については、最初の授業で各教員から指示や説明があります。

科目名	音声表現コミュニケーション		
担当教員名	好本 恵		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「聞く」ことと「話す」ことは、「読む」こと「書く」ことと並んでコミュニケーションの基本です。ところが、近頃の若者は人の話を聞いても理解できないとか、自分の考えを分かりやすく人に伝えることが下手だとか、話しことばによるコミュニケーションの力が落ちているといわれます。日本経団連が毎年行っている「新卒社員の採用に関するアンケート調査」のなかで「選考時に重視する要素」を聞いていますが、「コミュニケーション能力」を挙げた企業は5社に4社の割合にのぼり第1位です。特に求められているのが、話しことばで意思を通い合わせる力です。

「聞く力」「話す力」を育てることは就職活動に有利であるとか、将来社会に出たときの必須の能力だとかいうことに止まらず、好ましい人間関係を築いていく上で不可欠のことなのです。この授業では、話しことばによるコミュニケーションの基本と応用を、理論の学習と実技の演習をとおして学びます。

#### 内容

コミュニケーション力は、日常の実践をとおして養われます。この授業では毎回、人の話を聞く、文章を読んだりスピーチをしたりする。それを互いに批評しあって、聞くことと話すことのポイントを掴むことに努める。その繰り返して理解力と表現力、構成力を付けていくことを目指します。この授業を担当する3人の教員はいずれもNHKのアナウンサーや記者として長いキャリアを持つ、話しことばによるコミュニケーションのプロです。それぞれの多彩な体験や豊富な知識を盛り込みながら授業を進め、日本語表現の素晴らしさを皆さんに理解してもらい、実践してもらいます。

授業の内容や進め方は教員によって異なりますが、概ね次のようなテーマを取り上げます。

人の話を聞いて理解する      会話を磨く      自己紹介と話しことばのコミュニケーション  
 発声と発音      声に出して読む      スピーチ      話の組み立て      報告・リポート・プレゼンテーション  
 インタビューと取材      敬意表現      会議の企画と進行      ディベート  
 ○グループディスカッション

#### 評価

最初の授業で各教員から評価について説明しますが、授業への出席状況を重視します。そのほか、授業内での実技演習、期末のテストあるいはレポートを総合して評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【推薦書】【参考図書】については、最初の授業で各教員から指示や説明があります。

科目名	音声表現コミュニケーション		
担当教員名	好本 恵		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「聞く」ことと「話す」ことは、「読む」こと「書く」ことと並んでコミュニケーションの基本です。ところが、近頃の若者は人の話を聞いても理解できないとか、自分の考えを分かりやすく人に伝えることが下手だとか、話しことばによるコミュニケーションの力が落ちているといわれます。日本経団連が毎年行っている「新卒社員の採用に関するアンケート調査」のなかで「選考時に重視する要素」を聞いていますが、「コミュニケーション能力」を挙げた企業は5社に4社の割合にのぼり第1位です。特に求められているのが、話しことばで意思を通い合わせる力です。

「聞く力」「話す力」を育てることは就職活動に有利であるとか、将来社会に出たときの必須の能力だとかいうことに止まらず、好ましい人間関係を築いていく上で不可欠のことなのです。この授業では、話しことばによるコミュニケーションの基本と応用を、理論の学習と実技の演習をとおして学びます。

#### 内容

コミュニケーション力は、日常の実践をとおして養われます。この授業では毎回、人の話を聞く、文章を読んだりスピーチをしたりする。それを互いに批評しあって、聞くことと話すことのポイントを掴むことに努める。その繰り返して理解力と表現力、構成力を付けていくことを目指します。この授業を担当する3人の教員はいずれもNHKのアナウンサーや記者として長いキャリアを持つ、話しことばによるコミュニケーションのプロです。それぞれの多彩な体験や豊富な知識を盛り込みながら授業を進め、日本語表現の素晴らしさを皆さんに理解してもらい、実践してもらいます。

授業の内容や進め方は教員によって異なりますが、概ね次のようなテーマを取り上げます。

人の話を聞いて理解する      会話を磨く      自己紹介と話しことばのコミュニケーション  
 発声と発音      声に出して読む      スピーチ      話の組み立て      報告・リポート・プレゼンテーション  
 インタビューと取材      敬意表現      会議の企画と進行      ディベート      ○グループディスカッション

#### 評価

最初の授業で各教員から評価について説明しますが、授業への出席状況を重視します。そのほか、授業内での実技演習、期末のテストあるいはレポートを総合して評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【推薦書】【参考図書】については、最初の授業で各教員から指示や説明があります。

科目名	音声表現コミュニケーション		
担当教員名	小田 貞夫		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「聞く」ことと「話す」ことは、「読む」こと「書く」ことと並んでコミュニケーションの基本です。ところが、近頃の若者は人の話を聞いても理解できないとか、自分の考えを分かりやすく人に伝えることが下手だとか、話しことばによるコミュニケーションの力が落ちているといわれます。日本経団連が毎年行っている「新卒社員の採用に関するアンケート調査」のなかで「選考時に重視する要素」を聞いていますが、「コミュニケーション能力」を挙げた企業は5社に4社の割合にのぼり第1位です。特に求められているのが、話しことばで意思を通い合わせる力です。

「聞く力」「話す力」を育てることは就職活動に有利であるとか、将来社会に出たときの必須の能力だとかいうことに止まらず、好ましい人間関係を築いていく上で不可欠のことなのです。この授業では、話しことばによるコミュニケーションの基本と応用を、理論の学習と実技の演習をとおして学びます。

#### 内容

コミュニケーション力は、日常の実践をとおして養われます。この授業では毎回、人の話を聞く、文章を読んだりスピーチをしたりする。それを互いに批評しあって、聞くことと話すことのポイントを掴むことに努める。その繰り返して理解力と表現力、構成力を付けていくことを目指します。この授業を担当する3人の教員はいずれもNHKのアナウンサーや記者として長いキャリアを持つ、話しことばによるコミュニケーションのプロです。それぞれの多彩な体験や豊富な知識を盛り込みながら授業を進め、日本語表現の素晴らしさを皆さんに理解してもらい、実践してもらいます。

授業の内容や進め方は教員によって異なりますが、概ね次のようなテーマを取り上げます。

人の話を聞いて理解する      会話を磨く      自己紹介と話しことばのコミュニケーション  
 発声と発音      声に出して読む      スピーチ      話の組み立て      報告・レポート・プレゼンテーション  
 インタビューと取材      敬意表現      会議の企画と進行      ディベート      ○グループディスカッション

#### 評価

最初の授業で各教員から評価について説明しますが、授業への出席状況を重視します。そのほか、授業内での実技演習、期末のテストあるいはレポートを総合して評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【推薦書】【参考図書】については、最初の授業で各教員から指示や説明があります。

科目名	音声表現コミュニケーション		
担当教員名	川野 一字		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「聞く」ことと「話す」ことは、「読む」こと「書く」ことと並んでコミュニケーションの基本です。ところが、近頃の若者は人の話を聞いても理解できないとか、自分の考えを分かりやすく人に伝えることが下手だとか、話しことばによるコミュニケーションの力が落ちているといわれます。日本経団連が毎年行っている「新卒社員の採用に関するアンケート調査」のなかで「選考時に重視する要素」を聞いていますが、「コミュニケーション能力」を挙げた企業は5社に4社の割合にのぼり第1位です。特に求められているのが、話しことばで意思を通い合わせる力です。

「聞く力」「話す力」を育てることは就職活動に有利であるとか、将来社会に出たときの必須の能力だとかいうことに止まらず、好ましい人間関係を築いていく上で不可欠のことなのです。この授業では、話しことばによるコミュニケーションの基本と応用を、理論の学習と実技の演習をとおして学びます。

#### 内容

コミュニケーション力は、日常の実践をとおして養われます。この授業では毎回、人の話を聞く、文章を読んだりスピーチをしたりする。それを互いに批評しあって、聞くことと話すことのポイントを掴むことに努める。その繰り返して理解力と表現力、構成力を付けていくことを目指します。この授業を担当する3人の教員はいずれもNHKのアナウンサーや記者として長いキャリアを持つ、話しことばによるコミュニケーションのプロです。それぞれの多彩な体験や豊富な知識を盛り込みながら授業を進め、日本語表現の素晴らしさを皆さんに理解してもらい、実践してもらいます。

授業の内容や進め方は教員によって異なりますが、概ね次のようなテーマを取り上げます。

人の話を聞いて理解する      会話を磨く      自己紹介と話しことばのコミュニケーション  
 発声と発音      声に出して読む      スピーチ      話の組み立て      報告・レポート・プレゼンテーション  
 インタビューと取材      敬意表現      会議の企画と進行      ディベート      ○グループディスカッション

#### 評価

最初の授業で各教員から評価について説明しますが、授業への出席状況を重視します。そのほか、授業内での実技演習、期末のテストあるいはレポートを総合して評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【推薦書】【参考図書】については、最初の授業で各教員から指示や説明があります。



科目名	音声表現コミュニケーション		
担当教員名	好本 恵		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「聞く」ことと「話す」ことは、「読む」こと「書く」ことと並んでコミュニケーションの基本です。ところが、近頃の若者は人の話を聞いても理解できないとか、自分の考えを分かりやすく人に伝えることが下手だとか、話しことばによるコミュニケーションの力が落ちているといわれます。日本経団連が毎年行っている「新卒社員の採用に関するアンケート調査」のなかで「選考時に重視する要素」を聞いていますが、「コミュニケーション能力」を挙げた企業は5社に4社の割合にのぼり第1位です。特に求められているのが、話しことばで意思を通い合わせる力です。

「聞く力」「話す力」を育てることは就職活動に有利であるとか、将来社会に出たときの必須の能力だとかいうことに止まらず、好ましい人間関係を築いていく上で不可欠のことなのです。この授業では、話しことばによるコミュニケーションの基本と応用を、理論の学習と実技の演習をとおして学びます。

#### 内容

コミュニケーション力は、日常の実践をとおして養われます。この授業では毎回、人の話を聞く、文章を読んだりスピーチをしたりする。それを互いに批評しあって、聞くことと話すことのポイントを掴むことに努める。その繰り返して理解力と表現力、構成力を付けていくことを目指します。この授業を担当する3人の教員はいずれもNHKのアナウンサーや記者として長いキャリアを持つ、話しことばによるコミュニケーションのプロです。それぞれの多彩な体験や豊富な知識を盛り込みながら授業を進め、日本語表現の素晴らしさを皆さんに理解してもらい、実践してもらいます。

授業の内容や進め方は教員によって異なりますが、概ね次のようなテーマを取り上げます。

人の話を聞いて理解する      会話を磨く      自己紹介と話しことばのコミュニケーション  
 発声と発音      声に出して読む      スピーチ      話の組み立て      報告・リポート・プレゼンテーション  
 インタビューと取材      敬意表現      会議の企画と進行      ディベート ○グループディスカッション

#### 評価

最初の授業で各教員から評価について説明しますが、授業への出席状況を重視します。そのほか、授業内での実技演習、期末のテストあるいはレポートを総合して評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【推薦書】【参考図書】については、最初の授業で各教員から指示や説明があります。

科目名	音声表現コミュニケーション		
担当教員名	好本 恵		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「聞く」ことと「話す」ことは、「読む」こと「書く」ことと並んでコミュニケーションの基本です。ところが、近頃の若者は人の話を聞いても理解できないとか、自分の考えを分かりやすく人に伝えることが下手だとか、話しことばによるコミュニケーションの力が落ちているといわれます。日本経団連が毎年行っている「新卒社員の採用に関するアンケート調査」のなかで「選考時に重視する要素」を聞いていますが、「コミュニケーション能力」を挙げた企業は5社に4社の割合にのぼり第1位です。特に求められているのが、話しことばで意思を通い合わせる力です。

「聞く力」「話す力」を育てることは就職活動に有利であるとか、将来社会に出たときの必須の能力だとかいうことに止まらず、好ましい人間関係を築いていく上で不可欠のことなのです。この授業では、話しことばによるコミュニケーションの基本と応用を、理論の学習と実技の演習をとおして学びます。

#### 内容

コミュニケーション力は、日常の実践をとおして養われます。この授業では毎回、人の話を聞く、文章を読んだりスピーチをしたりする。それを互いに批評しあって、聞くことと話すことのポイントを掴むことに努める。その繰り返して理解力と表現力、構成力を付けていくことを目指します。この授業を担当する3人の教員はいずれもNHKのアナウンサーや記者として長いキャリアを持つ、話しことばによるコミュニケーションのプロです。それぞれの多彩な体験や豊富な知識を盛り込みながら授業を進め、日本語表現の素晴らしさを皆さんに理解してもらい、実践してもらいます。

授業の内容や進め方は教員によって異なりますが、概ね次のようなテーマを取り上げます。

人の話を聞いて理解する      会話を磨く      自己紹介と話しことばのコミュニケーション  
 発声と発音      声に出して読む      スピーチ      話の組み立て      報告・レポート・プレゼンテーション  
 インタビューと取材      敬意表現      会議の企画と進行      ディベート      ○グループディスカッション

#### 評価

最初の授業で各教員から評価について説明しますが、授業への出席状況を重視します。そのほか、授業内での実技演習、期末のテストあるいはレポートを総合して評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【推薦書】【参考図書】については、最初の授業で各教員から指示や説明があります。

科目名	ビジネス文書演習		
担当教員名	福田 弘		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

あらゆる企業(組織)の運営は文書を介して行われているといっても過言ではない。ビジネスにおける文書は人体における血液のように、組織の隅々にまでいきわたり組織の維持に不可欠な役割を果たしている。それは単にコミュニケーションの手段としてのみならず、組織そのものの一部を形成している。本科目ではビジネス文書作成の演習を通じ表現力の向上を目的とすることは勿論であるが、ビジネスにおける文書という視点から企業における意思決定の仕組みや、文書の中で非常に重要な意味を持つ契約書の基本知識も学ぶことも狙いとしている。

#### 内容

各週の学習内容は下記を基本とする。

1. コース紹介
2. ビジネス文書の概要
3. ビジネス文書作成の基本的ポイント
4. 簡単な社内届出文書(定型フォーム)作成演習
5. 社内報告文書作成演習
6. 社内企画書(提案書)作成演習
7. 4, 5, 6で作成した文書の受講者による批評及び復習小テスト
8. 稟議 企業的意思決定機関(取締役会など)
9. 社外向け文書の作成のポイント(3.の復習も含む)
10. 社外向け文書(挨拶状、通知状等)作成演習
11. 社外向け文書(謝罪文)作成演習
12. 社外向け企画書(提案書)作成演習
13. 10, 11, 12で作成した文書の受講者による批評
14. 契約関係文書
15. まとめ及び復習小テスト

文書の作成は、Words、Excel、Power Point等を使用して行う。

提出された文書は添削し返却することを原則とする。

7. 13.で行う批評は受講者の作成した文書を受講者が批評する。(作成者の氏名は出ない)

#### 評価

評価は演習において作成した文書、随時行う小テスト、出席等を総合しておこなう。出席に40%、その他に60%を配分する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【参考図書】菊地康人・敬語・講談社学術文庫

永崎一則・正しい敬語の使い方・PHP文庫

科目名	ビジネス文書演習		
担当教員名	福田 弘		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

あらゆる企業(組織)の運営は文書を介して行われているといっても過言ではない。ビジネスにおける文書は人体における血液のように、組織の隅々にまでいきわたり組織の維持に不可欠な役割を果たしている。それは単にコミュニケーションの手段としてのみならず、組織そのものの一部を形成している。本科目ではビジネス文書作成の演習を通じ表現力の向上を目的とすることは勿論であるが、ビジネスにおける文書という視点から企業における意思決定の仕組みや、文書の中で非常に重要な意味を持つ契約書の基本知識も学ぶことも狙いとしている。

#### 内容

各週の学習内容は下記を基本とする。

1. コース紹介
2. ビジネス文書の概要
3. ビジネス文書作成の基本的ポイント
4. 簡単な社内届出文書(定型フォーム)作成演習
5. 社内報告文書作成演習
6. 社内企画書(提案書)作成演習
7. 4, 5, 6で作成した文書の受講者による批評及び復習小テスト
8. 稟議 企業的意思決定機関(取締役会など)
9. 社外向け文書の作成のポイント(3.の復習も含む)
10. 社外向け文書(挨拶状、通知状等)作成演習
11. 社外向け文書(謝罪文)作成演習
12. 社外向け企画書(提案書)作成演習
13. 10, 11, 12で作成した文書の受講者による批評
14. 契約関係文書
15. まとめ及び復習小テスト

文書の作成は、Words、Excel、Power Point等を使用して行う。

提出された文書は添削し返却することを原則とする。

7. 13.で行う批評は受講者の作成した文書を受講者が批評する。(作成者の氏名は出ない)

#### 評価

評価は演習において作成した文書、随時行う小テスト、出席等を総合しておこなう。出席に40%、その他に60%を配分する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【参考図書】菊地康人・敬語・講談社学術文庫

永崎一則・正しい敬語の使い方・PHP文庫

科目名	文章表現ワークショップ		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

2008年は、「源氏物語千年紀」ということで、京都を中心に紫式部ゆかりの地で様々なイベントが行われました。『源氏物語』は世界中で最も有名な日本の古典です。1000年も前に書かれた作品がなぜ、現代にも読み継がれているのでしょうか。古典は、単に古い作品なのではありません。どんな作品も、読者がいて初めて文学としての価値が生まれ、次代に受け継がれていきます。つまり、『源氏物語』は長い期間にわたって多様な時代の人々に受け入れられ、現代まで伝えられてきた価値ある文学作品なのです。

受験勉強で苦しんだ古文の文法は大幅にカットして、まずは『源氏物語』原文を音読してみましょう。そして、受講生各自の感性によって現代語で翻訳を試みましょう。最後に、作者が何を書きたかったのか、その内実に迫り、古代と現代の女性の生き方についてみんなで考えてみましょう。

#### 内容

最初に『源氏物語』全体について知り、原文に描かれた場面描写を踏まえたうえで、いくつかの名場面を味わいます。次に現代語での翻訳を試みます。翻訳というのは、文法に忠実な現代語訳ではなく、思い切った意識をするという意味です。最後にそれぞれの読み方について意見を述べ合い、考察を深めましょう。

1	ガイダンス
2	作者について・時代背景
3	作品について・翻訳の方法
4	物語の始まり～光源氏誕生～
5	若き源氏の恋～空蝉・夕顔・若紫～
6	名場面を翻訳してみよう
7	生霊になった女性～六条御息所～
8	名場面を翻訳してみよう
9	第二部の始まり～女三宮降嫁～
10	紫の上の死～萩の上の露～
11	名場面を翻訳してみよう
12	第三部の始まり～宇治の姫君～
13	最後の女性～浮舟～
14	名場面を翻訳してみよう
15	物語の結末～続きを創作してみよう

#### 評価

【テキスト】中野幸一『源氏物語みちしるべ』小学館

『源氏物語』の参考書はたくさんありますので、授業の中で適宜紹介していきます。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

出席と授業中の討議などの平常点が50点、各時間に提出するレポートが50点で、60点以上を合格とします。

科目名	文章表現ワークショップ		
担当教員名	小沢 章友		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

小説家になる夢を抱いている。いずれは、文章表現者になりたい。ゆくゆくは、プロの小説家をめざしたい。そうした人のための、小説家養成講座です。それを実現するために、みずからの個性と才能をどう発見し、それをどう伸ばしていくか。さらに、自分の個性にふさわしい文章表現はいかなるものか、それらを、段階的・総合的に学んでいきます。

#### 内容

受講者には、毎回、こちらからテーマをあたえます。そのテーマを通して、受講者は、講義時間内に、作品を書きあげます。この過程を通して、まずは、自分にあった文章の書き方を見つけるのです。それらの作品は翌週発表されます。こうして自分が書いたものの客観的な批評を受けると同時に、小説を書くための、登場人物キャラクターの立て方、ストーリーの作り方、うねらせ方、心理や情景描写の手法などを、順次、学んでいくこととなります。

なお、受講生の数は、原則として、20名までとします。もしも希望者が多い場合は、人数制限することがあります。

#### 評価

毎回提出される作品(50点)出席状況(50点)で、成績を評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】小沢章友『三国志』講談社青い鳥文庫

【参考図書】小沢章友『龍之介地獄変』新潮社

小沢章友『三島転生』ポプラ社

小沢章友『運命の環』文芸春秋

小沢章友『夢魔の森』集英社文庫

小沢章友『遊民爺さん』小学館文庫

科目名	文章表現ワークショップ		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

自分のメディア力を高める!

この授業は、アクティブラーニング(学生が自ら正解を探す「能動的学習スタイル」)による参加型授業です。考える道具としての文章表現、説得するための文章表現、楽しむための文章表現、それぞれの能力を演習を通して向上させることを目的とします。Webやブログ、雑誌の中の効果的な表現を分析的に見ていきます。また、ここから学んだTipsを用い実践的な演習を積み、表現能力の向上を目指します。授業はグループワークセッションを基本に進めます。ワークの中ではMind-mapを用いたOut putの訓練も併せておこないます。

講義の性質上、授業内の演習だけでなく、たくさんの課題を課すこととなりますが、学生諸君の積極的な参加を希望します。

## 内容

- 第1回 何のための文章表現?
- 第2回 Mind-mapと文章作成
- 第3回 表現とフィードバック
- 第4回 身近なメディアを使った文章表現
- 第5回 ゲスト
- 第6回 分かりやすさ分かりにくさの分析
- 第7回 Web・ブログでの文章表現分析
- 第8回 課題プレゼン1
- 第9回 コンテンツを探す
- 第10回 情報の編集とOut put
- 第11回 グループセッション1
- 第12回 グループセッション2
- 第13回~第15回 まとめOut put 1~3

## 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」をメールで送信。 日常出席まとめ感想メール...1~7ポイント(提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題...3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度]課す) 最終課題or試験...5~10ポイント 合計ポイントと評価...D<60 C<70 B<80 A (4回以上の欠席は受講放棄とみなします)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)



科目名	文章表現ワークショップ		
担当教員名	小沢 章友		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

小説家養成講座です。原則として、前期を履修した受講生が、ひきつづいて後期を受けます。

## 内容

前期同様、毎回受講生はテーマに応じて、講義時間内に、作品を書きます。

ファンタジー、ホラー、ユーモア、推理小説、恋愛小説、時代小説、純文学。ジャンルに応じた書き方にチャレンジします。さらに、短編、中篇、長編の書き分け方と、新人作家として、世にデビューするための、さまざまな方法、そして出版社および編集者とのつきあいかたなども、あわせて学んでいきます。

## 評価

毎回提出する作品(50点)と、出席状況(50点)で、成績を評価します。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】小沢章友『三国志』講談社青い鳥文庫

【参考図書】小沢章友著作『龍之介地獄変』新潮社、『運命の環』文芸春秋、『夢魔の森』集英社文庫、『曼荼羅華』講談社、『怪域』朝日新聞社、『荒野狼』徳間書店、『不死』小学館、『極楽鳥』角川春樹事務所、『遊民爺さん』小学館文庫、『ムーン・ドラゴン』理論社

小沢章友の怪異幻想劇場(<http://timebooktown.jp>)ケータイ連載小説

科目名	文章表現ワークショップ		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

このクラスでは、論理的な文章を書くことをトレーニングする。論理的な文章とは、読み手に対し、自説を誤解されることなく、説得的に展開する文章のことである。将来、企画書、レポート、論文などを書く際に有益な内容を目指している。

<履修に際しての注意>この科目は、2009年度後期に鈴木により「文章表現コミュニケーションII」として開講されたものを、今年度より「ワークショップ」として展開するものである。このため、内容的には、両者は重なる部分が多いため、2009年度後期の鈴木が担当した「文章表現コミュニケーションII」を受講し、単位を得た学生は原則として受講を許可しないので注意されたい。

#### 内容

論理的な文章を作成するために必要な材料、構成、修辞などについて、ワークシートなどを使いながら実践的に習得していく。

1-4週：誤解のメカニズムとそれを防ぐための修辞（ボキャブラリー、接続詞など）の重要性。

5-11週：ワークシートを使い、論理的な構成について実践指導。

12-14週：試験形式による、文章作成。

15週：まとめ

#### 評価

授業中に書く文章やレポート=60点、出席率+授業への取り組み=40点 計100点で60点以上を合格とします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に適宜指示をします。

科目名	音声表現ワークショップ		
担当教員名	大西 勝也		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

コミュニケーションの基本である文書と会話のうち、公的な場で話す話し方(パブリック・スピーキング)を中心に、伝統的なことばの規範性を守りながら、「分かりやすく、正確なことば遣い」で自己表現することを目指しています。これまで培った知識を深め、社会生活に役立つ、豊かな表現力を身につけるのが目標です。

#### 内容

「音声表現コミュニケーション」で学んだ内容を深め、実践的な課題に取り組む実習を中心に、次のようなテーマで授業を進めます。レポート作成・実習には、積極的に取り組んでください。

- 1回 ガイダンス、日本語の特徴
- 2回 話しことばの変遷と特徴
- 3回 話し方の要点をしばって話す
- 4回 分かりやすく、正確に話す
- 5回 短いことばの威力
- 6回 敬意表現(1) 敬語表現の理解
- 7回 敬意表現(2) 敬語表現の実態
- 8回 映像をつかったプレゼンテーション
- 9回 話し方の構造
- 10回 「事実と意見」の違い
- 11回 「事実と意見」を取材し報告する
- 12回 外来語の多様化と歴史
- 13回 情報の伝え方
- 14回 文学作品の伝え方
- 15回 前期のまとめ

#### 評価

定期試験(40%)、平常点(30%)、出席数(30%)。

上記の3項目で総合的に評価しますが、次週参加者には定期試験時に幾分か加点します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### 【参考図書】

- 外山滋比古『思考の整理学』(ちくま文庫)
- 木下是雄『理科系の作文技術』(中公新書)
- 山口弘明『プレゼンテーションの進め方』(日経文庫)

科目名	音声表現ワークショップ		
担当教員名	大西 勝也		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

コミュニケーションの基本である文書と会話のうち、公的な場で話す話し方(パブリック・スピーキング)を中心に、伝統的なことばの規範性を守りながら、「分かりやすく、正確なことば遣い」で自己表現することを目指しています。「ワークショップ」では、より現実的な表現力アップに重点を置いて、社会生活に役立つ実践的な学習が目標です。

#### 内容

この授業は、「ワークショップ」の内容を別の視点から発展させて、授業出席者の相互の検証や取材活動の発表や報告を中心に行います。また、授業への積極的な参加によって、お互いに学び合い成長して、実社会の活動に生かせる方法を発掘するのがねらいです。

授業内容は次の通りです。(項目ごとに3回の授業時間を掛けて課題作成・発表・検証を行う方針です)

- スピーチ・個人的な意見を、論理的にどう組み立てて話すか……[自己表現力]
- 相手の考え・論点を確認しまとめて話す……[問う力・聞く力]
- 企画・取材を分かりやすく整理し、図表などにまとめて話す……[プレゼンテーション]
- 応対・面接に必要なこと、その場面での話し方……[人間関係をつくる難しさ]
- 交渉力・説得力のある話し方……[事前準備の必要性、相手の話を聴き、当方の意図を理解して貰う]

#### 評価

定期試験(40%)、平常点(30%)、出席数(30%)。  
上記の3項目で総合的に評価しますが、実習参加者には定期試験換算で幾分かの加点をします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### 【参考図書】

- 木下是雄『理科系の作文技術』(中公新書)
- 菅谷明子『メディア・リテラシー～世界の現場から～』(岩波新書)
- ロジャー・フィシャー&ダニエル・シャピロ著『新ハーバード流交際術』(印南一路訳 講談社)

科目名	時事解説		
担当教員名	岡本 卓、佐藤 公正、田総 恵子、阿部 史 他		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

9・11米同時多発テロで幕が開いた混迷の21世紀は、各地の武力紛争や世界的な経済不況を克服できないまま最初の10年が過ぎようとしている。

2008年後半に入って顕在化したアメリカ発の金融不安は世界を直撃、“アメリカ失墜”の衝撃はアメリカ国内に留まらず、全世界の経済、産業に深刻な影響を及ぼしている。オバマ大統領の支持率や指導力にも黄信号が灯り始めている。

日本も例外ではなく、日々の生活を支える雇用も深刻な事態に見舞われている。自公政権に代わって民主党を中心とする鳩山政権が誕生したが、マニフェスト通りにいかない政治の現実を前にして試行錯誤を繰り返している。政治資金の問題、アメリカとの同盟関係のありようなど、難問山積である。

さらに地球温暖化問題は待ったなしの取り組みが求められているにもかかわらず、先進国側と新興国側との溝が埋められず、京都議定書に続く対策作りは進んでいない。

この授業では、政治や経済、社会問題、国際関係など、それぞれのテーマを専門とする教員が、その時々タイムリーな出来事(ニュース)を取り上げて、問題点や歴史的な背景、今後の展望などについて解説する。これによって、日々のニュースについてその歴史的、国際的な視点に立った多角的な分析を可能にし、現代を生きる我々に不可欠な「複眼」思考を養うものとする。

#### 内容

時事的なテーマを決めて毎回、完結した授業を行う。

09年度の例では、「麻生内閣と衆議院選挙」「解散・総選挙と政権交代」「世界金融危機と日本経済」「現代中国～光と影」「GM問題」「育児休暇法改正と育休切り」「鳩山内閣の政策・施策」「東アジア共同体」「自殺社会ニッポン」「オバマ政権10か月」「地球温暖化～ポスト京都議定書の行方」「“18歳成人”問題」などを取り上げた。

#### 授業の進め方

毎回の授業で、翌週のテーマと担当教員を予告する(第1回は授業のガイダンスを兼ねて行うので、あらかじめテーマを示すことはない)

受講生は、そのテーマについて参考図書や新聞記事、インターネットの情報検索などで調べ、その結果を「予習レポート」としてまとめ、授業開始直前に教室で提出する(用紙はA4版、前の週に配布する)

授業終了のおよそ10分前に、その日の授業内容の理解度をみるための「ミニテスト」を行う。「ミニテスト」用紙は授業前に各受講生に配布する。

#### 評価

毎回提出する「予習レポート」=40点、ミニテスト=30点、出席=30点 計100点、60点以上が合格

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テーマに即した資料を配布するほか、必要に応じて参考図書などを紹介する。

科目名	時事解説		
担当教員名	岡本 卓、佐藤 公正、鈴木 弘貴、川口 英俊 他		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

9・11米同時多発テロで幕が開いた混迷の21世紀は、各地の武力紛争や世界的な経済不況を克服できないまま最初の10年が過ぎようとしている。

2008年後半に入って顕在化したアメリカ発の金融不安は世界を直撃、“アメリカ失墜”の衝撃はアメリカ国内に留まらず、全世界の経済、産業に深刻な影響を及ぼしている。オバマ大統領の支持率や指導力にも黄信号が灯り始めている。

日本も例外ではなく、日々の生活を支える雇用も深刻な事態に見舞われている。自公政権に代わって民主党を中心とする鳩山政権が誕生したが、マニフェスト通りにいかない政治の現実を前にして試行錯誤を繰り返している。政治資金の問題、アメリカとの同盟関係のありようなど、難問山積である。

さらに地球温暖化問題は待ったなしの取り組みが求められているにもかかわらず、先進国側と新興国側との溝が埋められず、京都議定書に続く対策作りは進んでいない。

この授業では、政治や経済、社会問題、国際関係など、それぞれのテーマを専門とする教員が、その時々タイムリーな出来事(ニュース)を取り上げて、問題点や歴史的な背景、今後の展望などについて解説する。これによって、日々のニュースについてその歴史的、国際的な視点に立った多角的な分析を可能にし、現代を生きる我々に不可欠な「複眼」思考を養うものとする。

#### 内容

時事的なテーマを決めて毎回、完結した授業を行う。

09年度の例では、「麻生内閣と衆議院選挙」「解散・総選挙と政権交代」「世界金融危機と日本経済」「現代中国～光と影」「GM問題」「育児休暇法改正と育休切り」「鳩山内閣の政策・施策」「東アジア共同体」「自殺社会ニッポン」「オバマ政権10か月」「地球温暖化～ポスト京都議定書の行方」「“18歳成人”問題」などを取り上げた。

#### 授業の進め方

毎回の授業で、翌週のテーマと担当教員を予告する(第1回は授業のガイダンスを兼ねて行うので、あらかじめテーマを示すことはない)

受講生は、そのテーマについて参考図書や新聞記事、インターネットの情報検索などで調べ、その結果を「予習レポート」としてまとめ、授業開始直前に教室で提出する(用紙はA4版、前の週に配布する)

授業終了のおよそ10分前に、その日の授業内容の理解度をみるための「ミニテスト」を行う。「ミニテスト」用紙は授業前に各受講生に配布する。

#### 評価

毎回提出する「予習レポート」=40点、ミニテスト=30点、出席=30点 計100点、60点以上が合格

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テーマに即した資料を配布するほか、必要に応じて参考図書などを紹介する。



科目名	時事問題ワークショップ		
担当教員名	大西 正行		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、マスメディアコース3年生の必修科目で、1年次の「トレンド・ウォッチ」、2年次の「時事解説」で養った、時事問題に関する背景知識と視点を元に、現代社会のさまざまな問題を自ら深く調べ、議論する。こうした行為を繰り返していく中で、これまで得た、時事問題に関する「知識」を元に、それに対する自分の「意見」を形成し、さらにそれをプレゼンテーションする能力を養うのが目的である。

#### 内容

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 評価

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

科目名	時事問題ワークショップ		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、マスメディアコース3年生の必修科目で、1年次の「トレンド・ウォッチ」、2年次の「時事解説」で養った、時事問題に関する背景知識と視点を元に、現代社会のさまざまな問題を自ら深く調べ、議論する。こうした行為を繰り返していく中で、これまで得た、時事問題に関する「知識」を元に、それに対する自分の「意見」を形成し、さらにそれをプレゼンテーションする能力を養うのが目的である。

#### 内容

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 評価

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

科目名	時事問題ワークショップ		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、マスメディアコース3年生の必修科目で、1年次の「トレンド・ウォッチ」、2年次の「時事解説」で養った、時事問題に関する背景知識と視点を元に、現代社会のさまざまな問題を自ら深く調べ、議論する。こうした行為を繰り返していく中で、これまで得た、時事問題に関する「知識」を元に、それに対する自分の「意見」を形成し、さらにそれをプレゼンテーションする能力を養うのが目的である。

#### 内容

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 評価

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

科目名	時事問題ワークショップ		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、マスメディアコース3年生の必修科目で、1年次の「トレンド・ウォッチ」、2年次の「時事解説」で養った、時事問題に関する背景知識と視点を元に、現代社会のさまざまな問題を自ら深く調べ、議論する。こうした行為を繰り返していく中で、これまで得た、時事問題に関する「知識」を元に、それに対する自分の「意見」を形成し、さらにそれをプレゼンテーションする能力を養うのが目的である。

#### 内容

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 評価

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

科目名	時事問題ワークショップ		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、マスメディアコース3年生の必修科目で、1年次の「トレンド・ウォッチ」、2年次の「時事解説」で養った、時事問題に関する背景知識と視点を元に、現代社会のさまざまな問題を自ら深く調べ、議論する。こうした行為を繰り返していく中で、これまで得た、時事問題に関する「知識」を元に、それに対する自分の「意見」を形成し、さらにそれをプレゼンテーションする能力を養うのが目的である。

#### 内容

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 評価

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

科目名	時事問題ワークショップ		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、マスメディアコース3年生の必修科目で、1年次の「トレンド・ウォッチ」、2年次の「時事解説」で養った、時事問題に関する背景知識と視点を元に、現代社会のさまざまな問題を自ら深く調べ、議論する。こうした行為を繰り返していく中で、これまで得た、時事問題に関する「知識」を元に、それに対する自分の「意見」を形成し、さらにそれをプレゼンテーションする能力を養うのが目的である。

#### 内容

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 評価

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

科目名	トレンド・ウォッチ（前編）		
担当教員名	大西 正行		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この時事問題の授業を、大学生となったあなたが、自分の頭で考え心豊かに生きることのできるパワーと大人のバランス感覚を身に付ける出発点にしてほしい、と願っています。

私は、自分の息子の世代の若者（30代）を食事に誘ったことがあります。その若者の話が、自分の家にまつわる身の上話で終始したことにがっかりし、後に続く世代全体に対する危惧を覚えました。身の上話を全否定はしません。しかし、せっかくの機会なのだから、もっと社会を見渡した味わい深い会話も交わしたかったのに、というのが私の偽らざる実感でした。

私は授業を始めるにあたり、まずあなたが「自分の身の周りの世界の話だけしか興味を持ってない人」ではなく、社会の出来事に感動したり悲しんだりする人間としての幅を広げてもらうつもりです。大事件や経済、政治、文化、スポーツ等のニュース主役たちの素晴らしさ、愚かさに反応し、同時にこれを自分の周囲の出来事とも重ね合わせて、ものを考える基礎的な力を養ってほしいのです。

この科目は、次年度以降の時事問題の授業の橋渡しとして必修に位置付けられています。従って、授業では、なぜ、こうしたことが起きるのかという「ものの見方」、言い換えれば「ニュースを引き起こす人間や組織の業（ごう）」のようなものにも触れて、2年生からの勉強につなげてほしいと考えています。ニュースの主役である人間を読むあなたの観察力が増すよう努めます。

#### 内容

- 1 日刊紙、雑誌等をベースにニュースの流れを追い、日々ニュースに親しむ環境を高めます。ゲストスピーカーも招き、時代を映す世相・風俗・流行・芸能・スポーツも視野において進めます。
- 2 経済や政治のニュースは、就職活動を意識する学生にとって重要であり、その把握に力を入れ、トレンドなテーマも取り上げます。
- 3 90分の授業は、時事問題への関心を深めるニュースの理解に努め、ますます多くなる外来語も身に付くようにします。時事的テーマを単に頭に入れるだけでなく、ニュースの奥に潜む人間性とあわせて大系的、歴史的な理解を増す解説も行います。

#### 評価

出席40点及び期末の試験60点より評価を行い、60点以上を合格とします。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

参考図書等は、その都度、授業中に紹介します。

科目名	トレンド・ウォッチ（後編）		
担当教員名	大西 正行		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

前期で学んだ内容を踏まえて、あなたの洞察力、ニュース感覚が一層増すよう努めます。

洞察力とは何でしょうか。私がベルサイユ宮殿を訪れた時のことです。歴史を勉強しているというパリの女性ガイドは、こう説明したのです。「太陽王といわれたルイ14世は、16世を見た瞬間、『この子は気が弱い。ルイ王朝は滅亡するだろう』と嘆きました。果たしてその通りになりました」と。

私は、このガイドの名解説に感心しました。位の高い人なら誰でも崇めてしまう日本の観光地のガイドと一味も二味も違う歴史観。つまりルイ16世の奥さんのマリー・アントワネットも処刑され、今日の民主主義の流れの一つとなったフランス革命という歴史的な大事件を見る洞察力が生きていたからです。

歴史的な事件の裏には、貧しさや、圧政・腐敗に対する民衆の権力者への怒りがあったり、権力者同士の反目があったり、クレオパトラの悲劇のようにお金や名誉のみならず異性関係が絡む場合も珍しくありません。欲望の対極にある慈愛も仁も礼も含めて歴史を動かすものは、あまりに人間的で、人間の業ゆえに今も同じようなことが繰り返され、それが時事問題として目の前に現れているのだと思います。

ITに至るまでの発明を含め歴史を作ってきた「人間」というものを分けることが、時事問題の本質を見抜くポイントです。それによって、あなたの人生が豊かになり、ニューストレンドを見抜く目が養われ、いち早い取り組みが求められる就職活動の自信にもつながっていくのだと確信いたします。

#### 内容

- 1 前期の授業の蓄積をもとに、一層、日々ニュースに親しむ環境を作り、ニュースを「読む、見る、聞く」習慣が身に付き、ゲストスピーカーも招いて幅の広い学びの楽しさが高まるように努めます。
- 2 ニュースの経済的側面を重視することはもとより、前期の授業の流れを踏まえて、時事問題の背後にあるものを見抜く力がさらに増すようにし、時事的な問題の考察があなたの思考力、ひいては文章力の向上につながっていく土台作りを意識します。新聞の社会面等で描かれる社会世相・風俗やトレンドなニュースも絡めます。
- 3 90分の授業が、時事問題への関心を深め、ニュースの大系的、歴史的な理解に努める点は前期と変わりません。外来語の理解にも努めます。

#### 評価

出席40点及び期末の試験60点より評価を行い、60点以上を合格とします。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

参考図書等は、その都度、授業中に紹介します。



科目名	コンピュータプレゼンテーション技法		
担当教員名	大西 由華		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

プレゼンテーションスキルは、今や社会人に不可欠なスキルの一つです。人前で挨拶をする、商品の説明をする、企画を発表するなど、伝えたいことを分かりやすく表現する能力が求められています。しかし、いきなり身につくものではありません。社会に出て必ず役に立つプレゼンテーションスキルを、今から少しずつ積み上げておきましょう。

授業では、標準プレゼンテーションツールともいえる『PowerPoint』の基本操作を覚え、内容を構成し、スライド作成をマスターします。そしてプレゼンテーションを実際に行い、周囲のフィードバックを受けながらプレゼンテーションの基礎を身につけていきます。

コンピュータ操作が中心となるため、履修人数を制限することがあります。

#### 内容

- ・『PowerPoint』の基本操作
- ・プレゼンテーションのプランニングと構成
- ・スライドの作成
- ・人前で話すための基本姿勢
- ・プレゼンテーション演習

#### 評価

出席40点、授業態度20点、演習40点により評価を行い、60点以上を合格とします。試験は行いません。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

自主プリントを中心に使用し、必要に応じて随時紹介します。

科目名	コンピュータプレゼンテーション技法		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

デジタルデバイスを用いた効果的なプレゼンテーションスキルの習得と自分のメディア力を高める。

この授業は、アクティブラーニング(学生が自ら正解を探す「能動的学習スタイル」)による参加型授業です。ビジネスにおいても、ほぼ標準となったPower Pointを使える武器として使えるように実践的なスキルを、各自のコンテンツのプレゼンテーションをおこなうことを通して学びます。文字のレイアウト、音声、画像、動画の処理など高度なテクニックも取り入れたCoolなプレゼンテーションのTipsを習得しましょう。授業内の実習だけでは技術は向上しません、課題などハードなハードルも乗り越え、より高いもの達成したいという学生の受講を期待します。

#### 内容

1	コミュニケーションツールとしてのプレゼン技術
2	プレゼンテーションのゴールとは
3	わかりやすさわかりにくさの正体
4	PCデバイス利用の短所・長所
5	パワーポイント 基礎1
6	パワーポイント 基礎2
7	パワーポイント 基礎3
8	レイアウト 画像処理
9	パワーポイント 応用1
10	パワーポイント 応用2
11	パワーポイント 応用3
12	コンテンツ完成
13	コンテンツ発表1
14	コンテンツ発表2
15	コンテンツ発表フィードバック

#### 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」をメールで送信。 日常出席まとめ感想メール...1~7ポイント(提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題...3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度]課す) 最終課題or試験...5~10ポイント 合計ポイントと評価...D<60 C<70 B<80 A (4回以上の欠席は受講放棄とみなします)

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示します。

科目名	DTP演習		
担当教員名	大西 由華		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本の出版物がコンピュータで編集されるようになって20年が経ちました。アプリケーションソフトも成熟し、専門家だけでなくとも編集レイアウトが出来て、基本ルールを覚えれば、さらに美しく日本語を組むことが出来るようになりました。この授業では、レイアウトソフト『Adobe InDesign』を使って、DTPや組版の基礎から応用を学んでいきます。「コンピュータによるマガジン制作演習」を受講された方は、ステップアップ編として位置付けることができます。

コンピュータ操作が中心となるため、履修人数を制限することがあります。

#### 内容

- ・オリエンテーション
- ・プリプレス基礎知識
- ・DTP 基礎知識
- ・組版基礎
- ・イラストや画像
- ・ツールの基本操作
- ・マスターページ
- ・ページレイアウト
- ・印刷

#### 評価

出席40点、授業態度20点、課題制作40点により評価を行い、60点以上を合格とします。試験は行いません。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

自主プリントを中心に使用し、必要に応じて随時紹介します。

科目名	ウェブ・デザイン		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

Webサイトのデザインを通して、情報をデザインする方法を学ぶ。

この授業は、アクティブラーニング(学生が自ら正解を探す「能動的学習スタイル」)による参加型授業です。受講者には1年次の情報処理演習・で基礎スキルを身につけ、自ら発信したいコンテンツを持っている人であることが望ましい。デジタル環境下でのデザイン能力には、現実世界のアナログ情報とネット上のデジタル情報を収集・編集・統合し、自分のコンセプトや知見を具現化した新しいデジタルコンテンツとして再構築するスキルが求められる。各自の研究テーマに関連する知識リソースを収集し、それらを各自の視点に基づいて再編集した後、Web上での知識アーカイブとして発信するまでの、実践的デザイン能力を身に付けることを目指す。Webサイト作成の実習は授業だけでなく自習での作業が必須となる。したがって、多少、ハードな課題が多くなることが考えられる。

#### 内容

- 第1回 基本スキルチェック、Webと情報デザイン
- 第2回 Webサイト研究 マーケティング・コミュニケーション
- 第3回 デザインとディレクション
- 第4回 各自プロジェクトの発表
- 第5回 HTML・XHTML
- 第6回 インターフェイスとユーザビリティ
- 第7回 アクセシビリティとSEO
- 第8回 レイアウトとCSS、Flash
- 第9回 Webページのコーディング
- 第10回 コーディング演習1
- 第11回 コーディング演習2
- 第12回 プレゼンテーション
- 第13回 ~第15回 Webサイトの構築演習1~3

#### 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」をメールで送信。 日常出席まとめ感想メール...1~7ポイント(提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題...3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度]課す) 最終課題or試験...5~10ポイント 合計ポイントと評価...D<60 C<70 B<80 A (4回以上の欠席は受講放棄とみなします)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年のパソコンの高性能化と周辺機器の低価格化によって家庭用PCのレベルでもハードディスクレコーディングによる音声の録音、編集などが比較的容易にあつかえるようになりました。

自宅あるいはオフィスで音楽(音声)コンテンツを作り、発信するというのがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなりつつあります。

昨年度からのシステムのリニューアルに伴い、定番シーケンスソフトのひとつ Cubase(キューベース)ファミリーの入門版であるCubaseAI 4を導入し、最新のDAW(デジタル・オーディオ・ワークステーション)の世界を体験的に学習します。

#### 内容

受講条件...コンピュータによる音楽や音声コンテンツの制作に興味があること。

音楽の専門的知識や楽器の演奏経験は必要ありません。

- ・Cubase AI4の基本操作
- ・MIDI による音楽データの作成
- ・VSTインストゥルメントを使ってみよう
- ・オーディオループ素材を活用した音楽制作
- ・オーディオレコーディングとオーディオデータの編集
- ・オーディオエフェクトとミックス
- ・オーディオファイルの書き出しとCDライティング など

#### 評価

出席60~70%、平常点&提出物30~40%(細部の配分は各担当者の裁量による)

総合60点以上を合格とする

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

以下すべて推薦図書(必須ではない)

- ・書籍(ガイドブック)

Cubase Seires 徹底操作ガイド...株式会社 リットーミュージック

- ・DVD

Cubase AI4(LE対応)使い方DVD講座...株式会社 ウォンツ

ミュージック・マスターガイドDVD "CUBASE 4"...株式会社 ミュージックマスター

科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年のパソコンの高性能化と周辺機器の低価格化によって家庭用PCのレベルでもハードディスクレコーディングによる音声の録音、編集などが比較的容易にあつかえるようになりました。

自宅あるいはオフィスで音楽(音声)コンテンツを作り、発信するというのがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなりつつあります。

本コースでは音楽制作ソフトの定番 Cubase(キューベース)ファミリーの入門版であるCubaseAI 4を導入し、最新のDAW(デジタル・オーディオ・ワークステーション)の世界を体験的に学習します。

#### 内容

受講条件...コンピュータによる音楽や音声コンテンツの制作に興味があること。

音楽の専門的知識や楽器の演奏経験は必要ありません。

- ・Cubase AI4の基本操作
- ・MIDI による音楽データの作成
- ・VSTインストゥルメントを使ってみよう
- ・オーディオループ素材を活用した音楽制作
- ・オーディオレコーディングとオーディオデータの編集
- ・オーディオエフェクトとミックス
- ・オーディオファイルの書き出しとCDライティング など

#### 評価

出席60~70%、平常点&提出物30~40%(細部の配分は各担当者の裁量による)

総合60点以上を合格とする

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

以下すべて推薦図書(必須ではない)

- ・書籍(ガイドブック)

Cubase Seires 徹底操作ガイド...株式会社 リットーミュージック

- ・DVD

Cubase AI4(LE対応)使い方DVD講座...株式会社 ウォンツ

ミュージック・マスターガイドDVD "CUBASE 4"...株式会社 ミュージックマスター

科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	小西 真理		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	1Cクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年のパソコンの高性能化と周辺機器の低価格化によって家庭用PCのレベルでもハードディスクレコーディングによる音声の録音、編集などが比較的容易にあつかえるようになりました。

自宅あるいはオフィスで音楽(音声)コンテンツを作り、発信するというのがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなりつつあります。

定番シーケンスソフトのひとつである Cubase (キューベース)ファミリーの入門版であるCubaseAI 4 を導入し、最新のDAWの世界を体験的に学習します。

#### 内容

受講条件はコンピュータによる音楽や音声コンテンツの制作に興味があること。

音楽の専門的知識や楽器の演奏経験は必要ありません。

- ・ Cubase AI4の基本操作
- ・ MIDI による音楽データの作成
- ・ VSTインストゥルメントを使ってみよう
- ・ オーディオループ素材を活用した音楽制作
- ・ オーディオレコーディングとオーディオデータの編集
- ・ オーディオエフェクトとミックス
- ・ オーディオファイルの書き出しとCDライティング など

#### 評価

出席60~70%、平常点&提出物30~40% (細部の配分は各担当者の裁量による)

総合60点以上を合格とする

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

以下すべて推薦図書(必須ではない)

- ・ 書籍(ガイドブック)

『Cubase Seires 徹底操作ガイド』(株)リットーミュージック

- ・ DVD

『Cubase AI4(LE対応)使い方DVD講座』(株) ウォンツ

『ミュージック・マスターガイドDVD “CUBASE 4”』(株)ミュージックマスター



科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	小西 真理		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年のパソコンの高性能化と周辺機器の低価格化によって家庭用PCのレベルでもハードディスクレコーディングによる音声の録音、編集などが比較的容易にあつかえるようになりました。

自宅あるいはオフィスで音楽(音声)コンテンツを作り、発信するというのがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなりつつあります。

定番シーケンスソフトのひとつである Cubase (キューベース)ファミリーの入門版であるCubaseAI 4 を導入し、最新のDAWの世界を体験的に学習します。

#### 内容

受講条件はコンピュータによる音楽や音声コンテンツの制作に興味があること。

音楽の専門的知識や楽器の演奏経験は必要ありません。

- ・ Cubase AI4の基本操作
- ・ MIDI による音楽データの作成
- ・ VSTインストゥルメントを使ってみよう
- ・ オーディオループ素材を活用した音楽制作
- ・ オーディオレコーディングとオーディオデータの編集
- ・ オーディオエフェクトとミックス
- ・ オーディオファイルの書き出しとCDライティング など

#### 評価

出席60~70%、平常点&提出物30~40% (細部の配分は各担当者の裁量による)

総合60点以上を合格とする

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

以下すべて推薦図書(必須ではない)

- ・ 書籍(ガイドブック)

『Cubase Seires 徹底操作ガイド』(株)リットーミュージック

- ・ DVD

『Cubase AI4(LE対応)使い方DVD講座』(株) ウォンツ

『ミュージック・マスターガイドDVD “CUBASE 4”』(株)ミュージックマスター

科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	小西 真理		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年のパソコンの高性能化と周辺機器の低価格化によって家庭用PCのレベルでもハードディスクレコーディングによる音声の録音、編集などが比較的容易にあつかえるようになりました。

自宅あるいはオフィスで音楽(音声)コンテンツを作り、発信するというのがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなりつつあります。

定番シーケンスソフトのひとつ、Cubase(キューベース)ファミリーの入門版であるCubaseAI 4を導入し、最新のDAW(デジタル・オーディオ・ワークステーション)の世界を体験的に学習します。

#### 内容

受講条件はコンピュータによる音楽や音声コンテンツの制作に興味があること。

音楽の専門的知識や楽器の演奏経験は必要ありませんが、基礎的な知識(小学校程度)を備えていることが望ましいです。

「コンピュータミュージックI」を履修していない学生は、「I」の内容に準拠しますので、そちらを参照してください。

「コンピュータミュージックI」を履修した学生は、さらに複雑な楽曲制作に取り組みます。それに伴い、コードに関する知識や編曲の実際などを、実習を通して学習していきます。

最終的には自分で作った楽曲を発表することを、目標とします。

#### 評価

出席60~70%、平常点&提出物30~40%(細部の配分は各担当者の裁量による)

総合60点以上を合格とする

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

以下すべて推薦図書(必須ではない)

・書籍(ガイドブック)

Cubase Seires 徹底操作ガイド...株式会社 リットーミュージック

・DVD

Cubase AI4(LE対応)使い方DVD講座...株式会社 ウォンツ

ミュージック・マスターガイドDVD "CUBASE 4" ...株式会社 ミュージックマスター

科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年のパソコンの高性能化と周辺機器の低価格化によって家庭用PCのレベルでもハードディスクレコーディングによる音声の録音、編集などが比較的容易にあつかえるようになりました。

自宅あるいはオフィスで音楽(音声)コンテンツを作り、発信するということもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなりつつあります。

本コースでは音楽制作ソフトの定番 Cubase(キューベース)ファミリーの入門版であるCubaseAI 4を導入し、最新のDAWの世界を体験的に学習します。

#### 内容

受講条件はコンピュータによる音楽や音声コンテンツの制作に興味があること。

音楽の専門的知識や楽器の演奏経験は必要ありません。

「コンピュータミュージックI」を履修していない学生は、「I」の内容に準拠しますので、そちらを参照してください。

「コンピュータミュージックI」を履修した学生は、さらに複雑な楽曲制作に取り組みます。それに伴い、コードに関する知識や編曲の実際などを、実習を通して学習していきます。

最終的には自分で作った楽曲に語り(声)のをせた作品を発表することを、目標とします。

#### 評価

出席60~70%、平常点&提出物30~40%(細部の配分は各担当者の裁量による)

総合60点以上を合格とする

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

以下すべて推薦図書(必須ではない)

・書籍(ガイドブック)

『Cubase Seires 徹底操作ガイド』(株)リットーミュージック

・DVD

『Cubase AI4(LE対応)使い方DVD講座』(株) ウォンツ

『ミュージック・マスターガイドDVD “CUBASE 4”』(株)ミュージックマスター

科目名	サウンド処理演習		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

本演習においては、主に言語音声デジタルに扱う。

英語と日本語の言語の個々の単音(母音、子音)の音響的特徴をコンピュータの画面で観察する。

表現的側面では、音声ファイルの簡単な編集加工を行う。また、パソコン上の録音をほぼ毎回行い、サウンドスペクトログラム(別名ソナグラム)やピッチ曲線などを観察する。各種分析結果の画面をMSワードに貼り付け、適切なタイトルをつけるなどのタスクも重視する。

また、人間の聴覚のしくみについても触れ、耳がどのような音響分析をしているかも考える。

#### 内容

毎回の課題のほとんどで、マイクが必要である。モノラルマイク付ヘッドセットは安価なものでよいので、初回授業の後速やかに購入し、各自毎回持参のこと(マイクとヘッドフォンは一体でなくても良い、ステレオミニジャック端子のあるもの)。ヘッドフォン部分はイヤフォン式でもよいが、両耳のものを用意すること。

録音と音声分析は、音声工房Proを使う。

1	音と聴覚の基本
2	サウンドレコーダー/音声工房で録音し、波形を拡大して観察する
3	ステレオ音声と位相
4	母音 その1 (サウンドスペクトログラムとフォルマント、猫のmieaouとの比較)
5	母音 その2 (男女の発音の比較)
6	母音 その3 (音声環境[隣接する子音]による比較)
7	子音 その1 (カ行・ガ行・タ行・ダ行・パ行・バ行音の特徴)
8	子音 その2 (促音「ッ」とは何か)
9	復習
10	子音 その3 (サ行・ザ行・ハ行音の特徴)
11	子音 その4 (日本語のザ行音について[有声破擦音])
12	子音 その5 (ガ行鼻濁音とナ行・マ行音と「ン」)
13	子音 その6 (ラ行[流音]・ヤ行とワ[半母音])
14	ピッチ その1 (日本語の語アクセント)
15	ピッチ その2 (文の抑揚イントネーション)

#### 評価

15回の課題の提出物をそれぞれ6.6点満点(最終回のみ7.6点満点)で計算し、合計60点以上を合格とする。なお、提出物の評価点には、授業中に提出した物に名前が書けていれば出席点として2.6点を含めるので、総合点の4割は出席点となる。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】石井直樹著、『音声工房を用いた音声処理入門』（CD-ROM付）、コロナ社、2800円。 007.1/I

レイ・D・ケント、チャールズ・リード著、『音声の音響分析』、海文堂出版、3200円。 801.1/K

ジャック・ライアルズ著、『音声知覚の基礎』、海文堂出版、2500円。 801.1/R

科目名	コンピュータグラフィック		
担当教員名	大西 由華		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

Photoshop(ペイント系)やIllustrator(ドロー系)を使用して、コンピュータグラフィックの基本を学びます。絵を描く技術は特に必要ありません。

図形や画像は、相手の理解を深めるための視覚資料としても利用されます。正確に図形を描くためのツールや、既存の図形や画像を加工する方法を習得しておくことは、社会に出てからも役に立ちます。自分の作品として残ることも、グラフィックソフトを使う大きな楽しみ。演習は楽しく、作品は美しく、操作は正しく覚えましょう。

コンピュータ操作が中心となるため、履修人数を制限することがあります。

#### 内容

##### ドロー系グラフィックス

1. ペイント系とドロー系の違い
2. 図形選択。選択範囲の移動、複製、追加、削除など。
3. 描画ツール
4. ベジェ曲線

##### ペイント系グラフィックス

5. 図形選択。選択範囲の移動、複製、追加、削除など。
6. 描画ツール
7. 色調補正
8. 画像の切り抜き
9. 画像の合成

#### 評価

出席40点、授業態度20点、課題制作40点により評価を行い、60点以上を合格とします。試験は行いません。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

自主プリントを中心に使用し、必要に応じて随時紹介します。

科目名	コンピュータグラフィック		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ソフトウェアPhotoshop を主に使用して、名刺、ポストカードなどのデザインをする。さまざまな作品例を題材に、その手法やソフトの操作について自分で納得しながら学び取っていく。将来、なんらかのデザインをしなくてはならなくなったとき、実現可能なデザインで、かつその手法が頭に浮かんでくるようになればよいと考えている。

なお、コンピュータグラフィック とは連動していないので、この科目の履修するにあたって、同科目の履修の有無は問わない。また、特にこの種のソフトウェアに関する予備的な知識は求めない。

#### 内容

プリントを配布し、その時間にマスターすべき技術を学んだ後、課題に取り組む。基本的には、一時間毎に完結する内容である。

1. パスの練習。パスを使って図形を描く。パスの保存と再利用。レイヤーの利用。
2. 選択ツールの練習。四角形選択ツール。マグネット選択ツールなど。  
パスを使った範囲選択。色域指定を利用した範囲選択。選択範囲の保存など。
3. 画像の合成。2枚以上の画像を1枚に合成する。
4. マスクの利用。マスクを理解して、画像合成時に透明度の違いによる効果をつける。
5. 描画モードの練習。レイヤーの合成方法をいくつか学び、それらを効果的に使うことを考える。
6. レイヤー効果とフィルタ。レイヤーに特殊効果をつける技術を学び、表現に幅を持たせる。
7. 紙、プラスチック、金属、水などのテーマで、作品を制作する。

なお、制作した作品はクラス内に公開することがある。

#### 評価

授業への参加度20%、提出された課題を80%で評価。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

毎時間プリントを配布する。また、ネットワーク上にもプリントを置くようにする。参考書は適宜紹介する。

科目名	コンピュータアニメーション		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ホームページ上で動く数秒～数十秒の短いアニメーションを作成する。パラパラ漫画のようにすべてのフレームを描くのではなく、コンピュータを使って効率よくアニメーションを制作していく。その手法はトゥイーンアニメーションというもので、動きの最初と最後のフレームだけを描き、中間のフレームはコンピュータに計算してもらおうということをする。このようなアニメーションの制作ツールとして広く知られているFLASH というソフトウェアを使用する。基本的に、毎時間に短いアニメーションをひとつ(あるいは数個)作成していき、その時間で完結するようにする。したがって、数分に及ぶ長いアニメーションを作りたいと考えている人には不向きな授業であるので注意して欲しい。

最終的に、表現したいアニメーションを自力で作れるようになればよいと考えている。最後の2・3時間は自分でひとつアニメーションを制作し、クラスの中で公開する予定である。

#### 内容

FLASH には大きく分けて描画機能とアニメーション機能がある。この2つをマスターしていく。

毎時間プリントを配布して課題となる作品を制作し、提出する。基本的には一時間で完結する内容となっている。

#### 【描画】

線と塗り。図形の分割と型抜き。

楕円ツールと線ツール。

図形のグループ化。

文字の加工。図形の分解。

グラデーションの利用。

#### 【アニメーション】

位置を変えるアニメーション。クラシクトゥイーン

変形、回転するアニメーション。透明度が変化するアニメーション。

形を変えるアニメーション。シェイプトゥイーン

アニメーションの軌跡を指定する。モーシヨントゥイーン。

画面の一部を隠す。マスクレイヤー。

写真や効果音を利用したアニメーション

写真や効果音の取り込みとその利用。

第13～14週にかけては最終作品をそれぞれ自由に作成する。その作品はクラス内に公開する。

途中の週でも少なくとも1回は自由制作(クラス内への公開)をする予定である。

#### 評価

授業への参加度20%、課題提出40%と最終作品40%により評価する。



教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

ネットワーク上に課題プリントを置くようにする。参考書は適宜紹介する。

科目名	フォト・ビデオジャーナリズム演習		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

新聞・雑誌などの活字メディアから始まったジャーナリズムは、写真やビデオまで範囲を広げてきた。Seeing is believing. 確かに写真もビデオも見れば理屈抜きに分かることが多い。反面、意図的に加工された写真やビデオも存在する。受け取る側としては、そうしたフォト・ビデオジャーナリズムに対して、判別する目を持っていたい。見る目を養おう。まずは、自分で撮ってみることから始めてみよう。そして、他人に見てもらふ為の映像とは、どのようなものか考えてみよう。実習で検証しながら進めていきます。

#### 内容

1. オリエンテーション
2. 写真1 まず撮ってみよう
3. 写真2 シャッターチャンス、フォーカス、絞り、ポジション
4. 写真3 画角(写角)、構図、光の質と方向
5. 写真4 テーマを決めて撮る
6. 写真5 デジタルで保存する
7. 写真の良さ。ビデオの良さ
8. 動画から生まれた
9. 長さ(時間)の要素
10. 音を効果的に使う
11. アングルを変え、サイズを変え、多角的に。
12. 被写体が動く。カメラとVTRが動く。
13. 編集の役割
14. レポートについて
15. まとめ

#### 評価

実習による評価と期末に掲示された課題によるレポート。出席状況も評価の対象とする。出席40点、実習30点及びレポート30点の合計で評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要な教材は、その都度、資料として配布する。

科目名	フォト・ビデオジャーナリズム演習		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

新聞・雑誌などの活字メディアから始まったジャーナリズムは、写真やビデオまで範囲を広げてきた。Seeing is believing. 確かに写真もビデオも見れば理屈抜きに分かることが多い。反面、意図的に加工された写真やビデオも存在する。受け取る側としては、そうしたフォト・ビデオジャーナリズムに対して、判別する目を持っていたい。見る目を養おう。まずは、自分で撮ってみることから始めてみよう。そして、他人に見てもらふ為の映像とは、どのようなものか考えてみよう。実習で検証しながら進めていきます。

#### 内容

1. オリエンテーション
2. 写真1 まず撮ってみよう
3. 写真2 シャッターチャンス、フォーカス、絞り、ポジション
4. 写真3 画角(写角)、構図、光の質と方向
5. 写真4 テーマを決めて撮る
6. 写真5 デジタルで保存する
7. 写真の良さ。ビデオの良さ。
8. 動画から生まれた
9. 長さ(時間)の要素
10. 音を効果的に使う
11. アングルを変え、サイズを変え、多角的に
12. 被写体が動く。カメラとVTRが動く。
13. 編集の役割
14. レポートについて
13. まとめ

#### 評価

実習による評価と期末に掲示された課題によるレポート。出席状況も評価の対象とする。出席40点、実習30点及びレポート30点の合計で評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要な教材は、その都度、資料として配布する。

科目名	フォト・ビデオジャーナリズム演習		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

新聞・雑誌などの活字メディアから始まったジャーナリズムは、写真やビデオまで範囲を広げてきた。Seeing is believing. 確かに写真もビデオも見れば理屈抜きに分かることが多い。反面、意図的に加工された写真やビデオも存在する。受け取る側としては、そうしたフォト・ビデオジャーナリズムに対して、判別する目を持っていたい。見る目を養おう。まずは、自分で撮ってみることから始めてみよう。そして、他人に見てもらふ為の映像とは、どのようなものか考えてみよう。実習で検証しながら進めていきます。

#### 内容

1. オリエンテーション
2. 写真1 まず撮ってみよう
3. 写真2 シャッターチャンス、フォーカス、絞り、ポジション
4. 写真3 画角(写角)、構図、光の質と方向
5. 写真4 テーマを決めて撮る
6. 写真5 デジタルで保存する
7. 写真の良さ。ビデオの良さ。
8. 動画から生まれた
9. 長さ(時間)の要素
10. 音を効果的に使う
11. アンクルを変え、サイズを変え、多角的に
12. 被写体が動く。カメラとVTRが動く。
13. 編集の役割
14. レポートについて
15. まとめ

#### 評価

実習による評価と期末に掲示された課題によるレポート。出席状況も評価の対象とする。出席40点、実習30点及びレポート30点の合計で評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要な教材は、その都度、資料として配布する。

科目名	ラジオ番組制作演習		
担当教員名	勝田 裕之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

1年次の「ラジオ番組制作ワークショップ」を基に、さらに一歩進めた形で番組制作の実際を学ぶ。特にラジオ番組の企画立案・制作・評価という一つの流れを重視して授業を進めていく。具体的には、「提案」をどのように作品化していくのかというプロセスの中で、番組制作の理論と実技を習得していく。

#### 内容

< 番組は提案から始まる >

- ・常に「これは番組になるか」という好奇心を持続させる。
- ・その上でどのようにして説得力のある提案書を書くか/通る提案書を書くコツを学ぶ。
- ・提案書を基に番組意図を口頭で説明する(周囲の者に面白いと感じさせなければ番組は出来ない)。

< 制作の実際 >

インタビュー番組

- ・相手から何を引き出すのか、目標を明確にする/インタビューの技法。
- ・ディスクジョッキー番組(広義にはすべてのラジオ番組はディスクジョッキーといえる)。
- ・話題中心/音楽中心のディスクジョッキー いずれの場合もコンセプトをはっきりさせる。

録音構成番組

- ・ねらい、構成をしっかりと立てる/構成表の作り方/スクリプトをどう書くか。

ラジオニュース

- ・何がニュースなのか/ラジオニュースの文章で大切なこと

< 作品合評会 >

- ・完成した番組をどう評価するか。

1年次の「ラジオ番組制作ワークショップ」を一歩進めた形の授業になるので、これを履修した学生 の受講が望ましい。

#### 評価

出席40点及びレポート60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストは特に使用しない。その都度、資料を配布する。

【推薦書】『NHKことばのハンドブック』 NHK放送文化研究所編 NHK出版協会発行 810/N

科目名	ラジオ番組制作演習		
担当教員名	勝田 裕之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

1年次の「ラジオ番組制作ワークショップ」を基に、さらに一歩進めた形で番組制作の実際を学ぶ。特にラジオ番組の企画立案・制作・評価という一つの流れを重視して授業を進めていく。具体的には、「提案」をどのように作品化していくのかというプロセスの中で、番組制作の理論と実技を習得する。

#### 内容

< 番組は提案から始まる >

- ・常に「これは番組になるか」という好奇心を持続させる。
- ・その上でどのようにして説得力のある提案書を書くか/通る提案書を書くコツを学ぶ。
- ・提案書を基に番組意図を口頭で説明する(周囲の者に面白いと感じさせなければ番組は出来ない)。

< 制作の実際 >

インタビュー番組

- ・相手から何を引き出すのか、目標を明確にする/インタビューの技法。
- ディスクジョッキー番組(広義にはすべてのラジオ番組はディスクジョッキーといえる)。
- ・話題中心/音楽中心のディスクジョッキー いずれの場合もコンセプトをはっきりさせる。

録音構成番組

- ・ねらい、構成をしっかりと立てる/構成表の作り方/スクリプトをどう書くか。

ラジオニュース

- ・何がニュースなのか/ラジオニュースの文章で大切なこと

< 作品合評会 >

- ・完成した番組をどう評価するか。

1年次の「ラジオ番組制作ワークショップ」を一歩進めた形の授業になるので、これを履修した学生の受講が望ましい。

#### 評価

出席40点及びレポート60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストは特に使用しない。その都度、資料を配布する。

【推薦書】『NHKことばのハンドブック』 NHK放送文化研究所編 NHK出版協会発行 810/N

科目名	映像編集演習		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ビデオカメラで撮影したもの(ショット)を並べ替え、リズムとテンポを考えながら、長さを決めていく。構成にしたがって「ねらい」を絞って、工夫して撮ったものを、カットして、「よく分かるように」つなぐ。少し大袈裟な表現ですが、「生かすも殺すも編集次第」です。

その際、編集する人のものの見方や感性が入り込みます。10人いれば10通りの編集になる筈です。編集するにあたって、当初考えていた構成の通りでよいかどうか、考え直す機会でもあります。

何を、誰に、如何にみせたいのか? それを絵と音で表現しようとするものです。

もちろん、ビデオの撮影がしっかりとできていることが前提となります。

#### 内容

1. オリエンテーション(ノンリニアの編集機を使って編集します)
2. 編集の現状について
3. 編集の約束事(方向性、目線、時間と空間のとばし方、サイズ、長さ、イマジナリーライン、など)
4. 何を見せたいのか? 「ねらい」は何か?
5. 構成を考える。編集のための素材を集める。ノンリニア編集機にとりこむ(キャプチャーする)。
6. カノーパスについて
7. 編集開始。どのような順番でカットをならべるか? どこを切り取るべきか?
8. 音を生かそう
9. エフェクトについて考えよう。
10. 文字を入れよう。カット表を作ろう。
11. コメントを書く。 選曲する。
12. コメント入れ。 音入れ(音楽、効果音)。
13. 必要に応じて手直し。
14. 視聴、検討。
15. まとめ

受け入れられる人数に制限があります。20人程度に絞って実施します。

#### 評価

出席50点及び実習50点の合計で評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要な教材は、その都度、資料として配布する。

科目名	映像編集演習		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ビデオカメラで撮影したもの(ショット)を並べ替え、リズムとテンポを考えながら、長さを決めていく。構成にしたがって「ねらい」を絞って、工夫して撮ったものを、カットして、「よく分かるように」つなぐ。少し大袈裟な表現ですが、「生かすも殺すも編集次第」です。

その際、編集する人のものの見方や感性が入り込みます。10人いれば10通りの編集になる筈です。編集するにあたって、当初考えていた構成の通りでよいかどうか、考え直す機会でもあります。

何を、誰に、如何にみせたいのか? それを絵と音で表現しようとするものです。

もちろん、ビデオの撮影がしっかりとできていることが前提となります。

#### 内容

1. オリエンテーション(ノンリニアの編集機を使って編集します)
2. 編集の現状について
3. 編集の約束事(方向性、目線、時間と空間のとばし方、サイズ、長さ、イマジナリーライン、など)
4. 何を見せたいのか? 「ねらい」は何か?
5. 構成を考える。編集のための素材を集める。ノンリニア編集機にとりこむ(キャプチャーする)。
6. カノーパスについて
7. 編集開始。どのような順番でカットをならべるか? どこを切り取るべきか?
8. 音を生かそう
9. エフェクトについて考えよう。
10. 文字を入れよう。カット表を作ろう。
11. コメントを書く。 選曲する。
12. コメント入れ。 音入れ(音楽、効果音)。
13. 必要に応じて手直し。
14. 視聴、検討。
15. まとめ

受け入れられる人数に制限があります。20人程度に絞って実施します。

#### 評価

出席50点及び実習50点の合計で評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要な教材は、その都度、資料として配布する。



科目名	映像編集演習		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ビデオカメラで撮影したもの(ショット)を並べ替え、リズムとテンポを考えながら、長さを決めていく。構成にしたがって「ねらい」を絞って、工夫して撮ったものを、カットして、「よく分かるように」つなぐ。少し大袈裟な表現ですが、「生かすも殺すも編集次第」です。

その際、編集する人のものの見方や感性が入り込みます。10人いれば10通りの編集になる筈です。編集するにあたって、当初考えていた構成の通りでよいかどうか、考え直す機会でもあります。

何を、誰に、如何にみせたいのか? それを絵と音で表現しようとするものです。

もちろん、ビデオの撮影がしっかりとできていることが前提となります。

#### 内容

1. オリエンテーション(ノンリニアの編集機を使って編集します)
2. 編集の現状について
3. 編集の約束事(方向性、目線、時間と空間のとばし方、サイズ、長さ、イマジナリーライン、など)
4. 何を見せたいのか? 「ねらい」は何か?
5. 構成を考える。編集のための素材を集める。ノンリニア編集機にとりこむ(キャプチャーする)。
6. カノーパスについて
7. 編集開始。どのような順番でカットをならべるか? どこを切り取るべきか?
8. 音を生かそう
9. エフェクトについて考えよう。
10. 文字を入れよう。カット表を作ろう。
11. コメントを書く。 選曲する。
12. コメント入れ。 音入れ(音楽、効果音)。
13. 必要に応じて手直し。
14. 視聴、検討。
15. まとめ

受け入れられる人数に制限があります。20人程度に絞って実施します。

#### 評価

出席50点及び実習50点の合計で評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要な教材は、その都度、資料として配布する。

科目名	コンピュータによるマガジン制作演習		
担当教員名	大西 由華		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本の出版物がコンピュータで編集されるようになって20年が経ちました。アプリケーションソフトも成熟し、専門家だけでなくとも編集レイアウトが出来て、ちょっとしたコツを覚えれば、誰でもページを美しく仕上げる事が出来るようになりました。

この授業では、レイアウトソフト『Adobe InDesign』を使って、編集に慣れていなくても、ひとまずコンピュータでマガジン制作してみたい人に体験いただける内容です。

「マガジン制作ワークショップ」を受講された方はステップアップ編として位置付けることができ、翌年の受講が優先されます。また「DTP 演習」を受講される方は、その前の受講をお勧めします。

コンピュータ操作が中心となるため、履修人数を制限することがあります。

#### 内容

- ・オリエンテーション
- ・DTP 基礎知識
- ・イラストや画像
- ・ツールの基本操作
- ・マスターページ
- ・ページレイアウト
- ・印刷

#### 評価

出席40点、授業態度20点、課題制作40点により評価を行い、60点以上を合格とします。試験は行いません。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

自主プリントを中心に使用し、必要に応じて随時紹介します。

科目名	コンピュータによるマガジン制作演習		
担当教員名	大西 由華		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本の出版物がコンピュータで編集されるようになって20年が経ちました。アプリケーションソフトも成熟し、専門家だけでなくとも編集レイアウトが出来て、ちょっとしたコツを覚えれば、誰でもページを美しく仕上げることが出来るようになりました。

この授業では、レイアウトソフト『Adobe InDesign』を使って、編集に慣れていなくても、ひとまずコンピュータでマガジン制作してみたい人に体験いただける内容です。

「マガジン制作ワークショップ」を受講された方はステップアップ編として位置付けることができ、翌年の受講が優先されます。また「DTP 演習」を受講される方は、その前の受講をお勧めします。

コンピュータ操作が中心となるため、履修人数を制限することがあります。

#### 内容

- ・オリエンテーション
- ・DTP 基礎知識
- ・イラストや画像
- ・ツールの基本操作
- ・マスターページ
- ・ページレイアウト
- ・印刷

#### 評価

出席40点、授業態度20点、課題制作40点により評価を行い、60点以上を合格とします。試験は行いません。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

自主プリントを中心に使用し、必要に応じて随時紹介します。

科目名	マガジン制作ワークショップ（基礎）		
担当教員名	佐藤 公正		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

「ワークショップ」とは仕事場のことですが、ひとつの課題について参加者が研究成果や試行の結果を述べ合い、初心者も理論と実技をあわせた基本を学ぶことができるような会議を意味しています。

「マガジン制作」では、まずニュース誌、ファッション誌、情報誌、写真誌、総合誌など多種多様な雑誌のなかでとくに女性誌を中心に取り上げて、その歴史と現状、課題などを知り、雑誌メディアの特質を学びます。

そのうえで、履修生はいくつかのグループごとに「編集部」を構成し、雑誌編集の実際に即して、その理論から企画会議、取材、執筆、レイアウトまで編集の基本的な技能と作業工程を全員で体験しながら自分版雑誌の手作りに挑戦します。したがって、この科目の前期 と後期 は連続して履修する必要があり、どちらか一方だけの履修は認められません。

このマガジン制作ワークショップ ・ の履修は、2年以上の配当科目である「コンピュータによるマガジン制作演習」、さらに「DTP」へと発展的に学ぶための土台となります。

なお、作業上の制約から履修人数を制限することがあります。

#### 内容

##### 1. 雑誌の基礎知識

- ・ 発展の歴史（とくに女性誌を中心に）
- ・ 出版社の現状
- ・ 週刊誌報道の光と影

##### 2. 雑誌編集の理論と実際

- ・ 編集企画のたて方
- ・ 取材の方法
- ・ 原稿の書き方

##### [後期]

##### 3. 取材と執筆と整理

- ・ 特集企画記事の決定と分担
- ・ 実際の取材と撮影
- ・ 原稿を仕上げる
- ・ レイアウト

##### 4. 完成作品の相互批評

実際の取材・編集作業の段階では、編集部単位で自主的に活動することが求められます。

#### 評価

前期の は企画内容を含むレポート80点、出席20点。後期の は完成した作品の評価100点。いずれも総計60点以上を合格とします。なお、4回以上の欠席は履修放棄とみなします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じてプリント資料を配布するほか、参考図書を紹介します。

科目名	マガジン制作ワークショップ（基礎）		
担当教員名	佐藤 公正		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

「ワークショップ」とは仕事場のことですが、ひとつの課題について参加者が研究成果や試行の結果を述べ合い、初心者も理論と実技をあわせた基本を学ぶことができるような会議を意味しています。

「マガジン制作」では、まずニュース誌、ファッション誌、情報誌、写真誌、総合誌など多種多様な雑誌のなかでとくに女性誌を中心に取り上げて、その歴史と現状、課題などを知り、雑誌メディアの特質を学びます。

そのうえで、履修生はいくつかのグループごとに「編集部」を構成し、雑誌編集の実際に即して、その理論から企画会議、取材、執筆、レイアウトまで編集の基本的な技能と作業工程を全員で体験しながら自分版雑誌の手作りに挑戦します。したがって、この科目の前期（基礎）と後期（発展）は連続して履修する必要があり、どちらか一方だけの履修は認められません。

このマガジン制作ワークショップの履修は、2年以上の配当科目である「コンピュータによるマガジン制作演習」、さらに「DTP」へと発展的に学ぶための土台となります。

なお、制作作業上の制約から履修人数を制限することがあります。

#### 内容

##### 1. 雑誌の基礎知識

- ・ 発展の歴史（とくに女性誌を中心に）
- ・ 出版社の現状
- ・ 週刊誌報道の光と影

##### 2. 雑誌編集の理論と実際

- ・ 編集企画のたて方
- ・ 取材の方法
- ・ 原稿の書き方

##### [後期]

##### 3. 取材と執筆と整理

- ・ 特集記事の企画と分担の決定
- ・ 実際の取材と撮影
- ・ 原稿を仕上げる
- ・ レイアウト

##### 4. 完成作品の相互批評

実際の取材・編集作業の段階では、編集部単位で自主的に活動することが求められます。

#### 評価

前期の は企画内容を含むレポート80点、出席20点。後期の は完成した作品の評価100点。いずれも総計60点以上を合格とします。なお、4回以上の欠席は履修放棄とみなします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じてプリント資料を配布するほか、参考図書を紹介します。

科目名	マガジン制作ワークショップ（発展）		
担当教員名	佐藤 公正		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

「ワークショップ」とは仕事場のことですが、ひとつの課題について参加者が研究成果や試行の結果を述べ合い、初心者も理論と実技をあわせた基本を学ぶことができるような会議を意味しています。

「マガジン制作」では、まずニュース誌、ファッション誌、情報誌、写真誌、総合誌など多種多様な雑誌のなかでとくに女性誌を中心に取り上げて、その歴史と現状、課題などを知り、雑誌メディアの特質を学びます。

そのうえで、履修生はいくつかのグループごとに「編集部」を構成し、雑誌編集の実際に即して、その理論から企画会議、取材、執筆、レイアウトまで編集の基本的な技能と作業工程を全員で体験しながら自分版雑誌の手作りに挑戦します。したがって、この科目の前期 と後期 は連続して履修する必要があり、どちらか一方だけの履修は認められません。

このマガジン制作ワークショップ ・ の履修は、2年以上の配当科目である「コンピュータによるマガジン制作演習」、さらに「DTP」へと発展的に学ぶための土台となります。

なお、作業上の制約から履修人数を制限することがあります。

#### 内容

##### 1. 雑誌の基礎知識

- ・ 発展の歴史（とくに女性誌を中心に）
- ・ 出版社の現状
- ・ 週刊誌報道の光と影

##### 2. 雑誌編集の理論と実際

- ・ 編集企画のたて方
- ・ 取材の方法
- ・ 原稿の書き方

[後期]

##### 3. 取材と執筆と整理

- ・ 特集企画記事の決定と分担
- ・ 実際の取材と撮影
- ・ 原稿を仕上げる
- ・ レイアウト

##### 4. 完成作品の相互批評

実際の取材・編集作業の段階では、編集部単位で自主的に活動することが求められます。

#### 評価

完成した作品の評価100点。60点以上を合格とします。なお、4回以上の欠席は履修放棄とみなします。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）



必要に応じてプリント資料を配布するほか、参考図書を紹介します。

科目名	マガジン制作ワークショップ（発展）		
担当教員名	佐藤 公正		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

「ワークショップ」とは仕事場のことですが、ひとつの課題について参加者が研究成果や試行の結果を述べ合い、初心者も理論と実技をあわせた基本を学ぶことができるような会議を意味しています。

「マガジン制作」では、まずニュース誌、ファッション誌、情報誌、写真誌、総合誌など多種多様な雑誌のなかでとくに女性誌を中心に取り上げて、その歴史と現状、課題などを知り、雑誌メディアの特質を学びます。

そのうえで、履修生はいくつかのグループごとに「編集部」を構成し、雑誌編集の実際に即して、その理論から企画会議、取材、執筆、レイアウトまで編集の基本的な技能と作業工程を全員で体験しながら自分版雑誌の手作りに挑戦します。したがって、この科目の前期（基礎）と後期（発展）は連続して履修する必要があり、どちらか一方だけの履修は認められません。

このマガジン制作ワークショップの履修は、2年以上の配当科目である「コンピュータによるマガジン制作演習」、さらに「DTP」へと発展的に学ぶための土台となります。

なお、制作作業上の制約から履修人数を制限することがあります。

#### 内容

##### 1．雑誌の基礎知識

- ・ 発展の歴史（とくに女性誌を中心に）
- ・ 出版社の現状
- ・ 週刊誌報道の光と影

##### 2．雑誌編集の理論と実際

- ・ 編集企画のたて方
- ・ 取材の方法
- ・ 原稿の書き方

##### [後期]

##### 3．取材と執筆と整理

- ・ 特集記事の企画と分担の決定
- ・ 実際の取材と撮影
- ・ 原稿を仕上げる
- ・ レイアウト

##### 4．完成作品の相互批評

実際の取材・編集作業の段階では、編集部単位で自主的に活動することが求められます。

#### 評価

完成した作品の評価100点。60点以上を合格とします。なお、4回以上の欠席は履修放棄とみなします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じてプリント資料を配布するほか、参考図書を紹介します。

科目名	ラジオ番組制作ワークショップ（基礎）		
担当教員名	勝田 裕之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

「ワークショップ」とは、仕事場とか作業場の意味である。所定の課題について研究結果を持ち寄って討議を重ねる研修会などを指す言葉でもある。この授業では教室を「仕事場」と考えて、できる限り放送局で行われている方法に近い形で授業を進め、「ラジオ番組制作」の理論と実技を習得していく。

#### 内容

##### < 理論 >

メディア多様化の中で、ラジオ番組とは何かを考える。ラジオは古くて新しいメディア

- ・映像のないことを逆手にとる（ラジオは聞き手の想像力を活性化する）。
- ・小回りの利くラジオは災害報道に真価を発揮する。

##### < 実技 >

放送機材の使い方

インタビュー番組を作る（インタビューは放送の基本）。

- ・インタビューを通して人物を紹介する／インタビューを通して情報を伝える。
- ・ディスクジョッキー番組を作る（広義にはすべてのラジオ番組はディスクジョッキー）。
- ・話題中心のディスクジョッキー／音楽中心のディスクジョッキー
- 録音構成を作る。
- ニュース番組を作る。

以上のことを前期、後期を通して学んでいく。

#### 評価

出席40点及びレポート60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキストは特に使用しない。その都度、資料を配布する。

【推薦書】『NHKことばのハンドブック』 NHK文化研究所編 NHK出版協会発行 810/N

科目名	ラジオ番組制作ワークショップ（発展）		
担当教員名	勝田 裕之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

「ワークショップ」とは、仕事場とか作業場の意味です。所定の課題について研究結果を持ち寄って討議を重ねる研修会などを指す言葉でもある。この授業では教室を「仕事場」と考えて、できる限り放送局で行われている方法に近い形で授業を進め、「ラジオ番組制作」の理論と実技を習得していく。

#### 内容

##### < 理論 >

メディア多様化の中で、ラジオ番組とは何かを考える。

- ・ラジオは古くて新しいメディア
- ・映像のないことを逆手にとる（ラジオは聞き手の想像力を活性化する）。
- ・小回りの利くラジオは災害報道に真価を発揮する。

##### < 実技 >

放送機材の使い方

インタビュー番組を作る（インタビューは放送の基本）。

- ・インタビューを通して人物を紹介する / インタビューを通して情報を伝える。

ディスクジョッキー番組を作る（広義にはすべてのラジオ番組はディスクジョッキー）。

- ・話題中心のディスクジョッキー / 音楽中心のディスクジョッキー

録音構成を作る。

ニュース番組を作る。

以上のことを前期、後期を通して学んでいく。

#### 評価

出席40点及びレポート60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキストは特に使用しない。その都度、資料を配布する。

【推薦書】『NHKことばのハンドブック』 NHK放送文化研究所編 NHK出版協会発行 810/N

科目名	ビデオ制作ワークショップ（基礎）		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

『ワークショップ』とは仕事場とか作業場の意味です。所定の課題について研究結果を持ち寄って討議を重ねる研究会などをさす言葉でもあります。

『ビデオ制作』ではビデオカメラを使用して、学生自身が映像作品を作ります。

具体的には、毎年10月に行われる学園祭『桐華祭』をビデオ作品としてまとめます。

作り手の側からの実体験で、映像による表現を批判的に受け止める力（メディアリテラシー）をつけることをねらいとします。

#### 内容

##### 《前期》ビデオ制作ワークショップ

制作に必要な機器についての機能、特性、取り扱い。

カメラワークの習得。レンズの知識。

何をどう描くのか、テーマを決めて撮るとは、構成を考える。

三脚、マイクロホンの取り扱い。音の収録。インタビュー。

自然光を活かしたとり撮り方、斜光、順光、逆光。

##### 《後期》ビデオ制作ワークショップ

多くの学生が『桐華祭』のために準備してきた。その成果がどのように発揮されるのか、その様子をしっかり作品としてまとめるのが後期の狙いです。

制作のプロセスを考え、各種のイベント、展示、屋台、フリーマーケット、路上ライブなどをいくつかの班に分かれて『桐華祭』を取材し、ノンリニア編集作業、コメント作成、音入れなどの作業をへて作品に完成するまでを実践します。

#### 評価

出席40点、実習30点、レポート30点による評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要な資料は、そのつど配布する。

科目名	ビデオ制作ワークショップ（発展）		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

『ワークショップ』とは仕事場とか作業場の意味です。所定の課題について研究結果を持ち寄って討議を重ねる研究会などをさす言葉でもあります。

『ビデオ制作』ではビデオカメラを使用して、学生自身が映像作品を作ります。

具体的には、毎年10月に行われる学園祭『桐華祭』をビデオ作品としてまとめます。

作り手の側からの実体験で、映像による表現を批判的に受け止める力（メディアリテラシー）をつけることをねらいとします。

#### 内容

##### 《前期》ビデオ制作ワークショップ

制作に必要な機器についての機能、特性、取り扱い。

カメラワークの習得。レンズの知識。

何をどう描くのか、テーマを決めて撮るとは、構成を考える。

三脚、マイクロホンの取り扱い。音の収録。インタビュー。

自然光を活かしたとり撮り方、斜光、順光、逆光。

##### 《後期》ビデオ制作ワークショップ

多くの学生が『桐華祭』のために準備してきた。その成果がどのように発揮されるのか、その様子をしっかりと作品としてまとめるのが後期の狙いです。

制作のプロセスを考え、各種のイベント、展示、屋台、フリーマーケット、路上ライブなどをいくつかの班に分かれて『桐華祭』を取材し、ノンリニア編集作業、コメント作成、音入れなどの作業をへて作品に完成するまでを実践します。

#### 評価

出席40点、実習30点、レポート30点による評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要な資料は、そのつど配布する。

科目名	身体表現制作ワークショップ（基礎）		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

「身体表現制作」を履修する学生はダンスに関する理論と実技を学び、1年かけて数々のダンスパフォーマンスの作品をつくりあげることには挑戦する。

身体表現・ダンスは、人間の精神面と身体面を同時に発育調和させる最適な身体文化である。ダンスの技術はもちろんのこと、ダンスに関する様々な理論をも理解し、心身共に健やかで生き生きとした生活を生涯にわたって、計画的、継続的に行っていけることをねらいとする。

同時に、仲間で協力しあい、つくりあげていく中での協調性、思いやりなどの情緒面や社会的環境における自分という意味でもステップアップしていけるような各々の意識が重要となる。

また、コミュニティダンス（地域の人々が健康のために行っているダンス）を広め、指導にあたるインストラクター（ ）を目指す人のための授業内容をおりこむ。

（社）日本女子体育連盟ダンスムーブメント（ダンス的運動）インストラクターライセンスの受検資格が得られる。

#### 内容

ヒップホップ、エアロビクスダンス、ジャズダンス等基本のエクササイズからからだの各部の動かし方を体験し、リズムにのる楽しさを身に付ける。ここでは作品づくりに必要な工夫するための基礎から応用へと進める。

- 1) 基本の動き
- 2) からだの各部位の動かし方
- 3) 空間、強度などのバリエーション
- 4) フィーリングをいかした動き
- 5) 授業の成果...桐華祭に発表

#### 評価

出席状況（80%）、授業時の課題に対する意欲、関心、態度（20%）など総合的に評価

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）



科目名	身体表現制作ワークショップ（発展）		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

「身体表現制作」を履修する学生はダンスに関する理論と実技を学び、1年かけて数々のダンスパフォーマンスの作品をつくりあげることにも挑戦する。

身体表現・ダンスは、人間の精神面と身体面を同時に発育調和させる最適な身体文化である。ダンスの技術はもちろんのこと、ダンスに関する様々な理論をも理解し、心身共に健やかで生き生きとした生活を生涯にわたって、計画的、継続的に行っていけることをねらいとする。

同時に、仲間で協力しあい、つくりあげていく中での協調性、思いやりなどの情緒面や社会的環境における自分という意味でもステップアップしていけるような各々の意識が重要となる。

また、コミュニティダンス（地域の人々が健康のために行っているダンス）を広め、指導にあたるインストラクター（ ）を目指す人のための授業内容をおりこむ。

（社）日本女子体育連盟ダンスムーブメント（ダンス的運動）インストラクターライセンスの受検資格が得られる。

#### 内容

IIでは、Iで学んだ各部位の動きやフィーリングをいかした動きなどをもとに、作品づくりにも挑戦する。受講者個々の得意なジャンルや好きな動きを発展させ、音楽に乗って動くことの楽しさ、協力し合うことの充実感、作品をつくりあげる達成感などを得るように努力していく。

- 1) 基本の動き
- 2) からだの各部位の動かし方
- 3) 空間、強度などのバリエーション
- 4) フィーリングをいかした動き
- 5) 空間的・時間的構成

#### 評価

出席状況（80%）、授業時の課題に対する意欲、関心、態度（20%）など総合的に評価

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

科目名	情報倫理		
担当教員名	佐藤 公正		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

シティー（都市）に生活する人はシティズン（市民）ですが、情報ネットワークに依存して生活する人びとは「ネティズン」という新しい呼び名を与えられています。私たちはもうその一員に組み込まれています。モノに代わって情報の価値の生産と利用を軸に発展していく情報社会は、情報通信技術（ICT）の革新とともに未知の世界を作り出しています。そこには、便利さと背中合わせに大きな危険もひそんでいます。この新しいけれども未熟な社会には、それにふさわしい新しいルールやマナーが必要不可欠です。

しかし、現実にはネットワーク上での誹謗中傷、プライバシーの侵害や有害情報の氾濫、経済犯罪、詐欺、著作権侵害などの事件が増える一方です。あなた自身、そうした被害者にも加害者にもなってしまうネティズンのひとりなのです。表現の自由と人権侵害、情報弱者と強者の格差問題もあります。情報ネット社会が日常生活にもたらす「光と影」について具体的な事例をもとに検証し、情報社会を快適に生きる基本的な知識とルールを身につけます。

#### 内容

- 1．情報社会の特質
- 2．個人情報の保護
- 3．情報セキュリティ
- 4．人権の侵害
- 5．有害情報と表現の自由
- 6．ネット犯罪と被害回復
- 7．情報の信ぴょう性
- 8．電子メールのマナー
- 9．著作権の保護と侵害
- 10．情報格差
- 11．情報社会の未来

#### 評価

原則として毎回、授業内容に関して質問と「私の意見」をリアクションペーパーの形で書き、提出してもらいます。その内容30点、期末のペーパーテスト70点とし、総計60点以上を合格とします。なお、原則として4回以上の欠席は履修放棄とみなします。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

##### 【教科書】

次の教科書を各自購入し、持参すること。

情報教育学研究会・情報倫理教育研究グループ『インターネット社会を生きるための情報倫理2010』（実教出版）。このほか、授業にあわせて毎回プリント資料を教材として配布します。

科目名	漫画論		
担当教員名	田中 東子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

戦後日本の代表的なポピュラー文化として、日本の漫画は発展してきました。その結果、漫画は、「ソフト・パワー」として現在日本の産業を支える重要なコンテンツになっています。日本ではどうして、こんなにも漫画文化が普及したのでしょうか？ その歴史的な文脈を探りながら、わたしたちの社会や文化、日常生活の中で漫画が果たしてきた役割を文化社会学的な視点から考察します。そのために、広く社会学、歴史学、文化研究、メディア論、表象論、文学理論など、分析のために役立つ理論や方法論を毎週の講義を通じて紹介していきます。最終的には、受講者が実際にレポートなどを作成する際に使えるような知識を学んでもらうことが本講義の目的となります。また、制作現場が実際にはどのように展開されているかを学んでもらうために、実際に漫画の制作や批評に関わっている方を招いて特別講義も行います。

#### 内容

1. ポピュラー文化として漫画をどう考察するか
2. 戦後漫画の歴史(1) 手塚治虫と「虫プロ」
3. 戦後漫画の歴史(2) 少年漫画の世界
4. 戦後漫画の歴史(3) 少女漫画の世界
5. 漫画と表象(1) ジェンダーの視点から
6. 漫画と表象(2) 人種の視点から
7. 漫画と表象(3) 恋愛の視点から
8. 漫画と表象(4) ファッションの視点から
9. 漫画と表象(5) 世界観の視点から
10. 漫画と産業(1) 漫画はどのように生産されているか？
11. 漫画と産業(2) 「クール・ジャパン」と漫画のグローバル化
12. 漫画制作の現場から(1) 特別講師による講義
13. 漫画制作の現場から(2) 特別講師による講義
14. パロディと著作権 表現の自由と二次創作に関する最近の論争から
15. まとめ

特別講師の講義日程によって、順番については多少の変更があります。

#### 評価

出席25%、授業ごとに提出するミニレポート25%、学期末テスト50%で総合して評価する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### 推薦書

大塚英志 + ササキバラ・ゴウ 『教養としての まんが・アニメ』講談社現代新書

吉村 和真 (編) 『漫画の教科書 漫画の歴史がわかる60話』臨川書店

米沢嘉博『戦後少女漫画史』ちくま文庫

伊藤公雄『漫画のなかの「他者」』臨川書店

その他、必要に応じて、授業の中でテキストとプリントを配布します。

科目名	国際マスコミュニケーション論		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「国際マスコミュニケーション」とは、マス・メディアを中心にした国を越えた社会の間のコミュニケーションをいいます。例えば、高校のときに韓国に旅行にいかれた方は、向こうでNHKを見ることが出来るのに驚いたのではないのでしょうか。グローバル化の進展に伴い、国際マスコミュニケーションは質・量共に増大しつづけており、それが国家および社会にとってどのような影響を与えているのかを考えるのが本講義の目的です。「国境を越えるマス・コミュニケーションのインパクト」が講義のサブタイトルです。

関連科目として、「グローバル・ジャーナリズム」がありますが、両方受講する場合は、できれば「国際マスコミュニケーション論」を先に受講しておくことをお勧めします。

この講義を受けると、マスメディアやマスコミュニケーションの国際的な動きの、「一歩先」を考えるヒントがつかめると思います。

#### 内容

授業の進め方は、取り扱う内容が現在進行形の現象であることから、抽象的な議論のみに終始せず、ビデオなど生きた教材を活用していく予定です。一コマにつき、一つのキーワードについて、具体例をあげながらわかりやすく考えていこうと思っています。プリントに加え、ビデオやワークシートを使って、皆さんが飽きないように進めるつもりです。

取り扱うテーマは、前半は、「国際マスコミュニケーション」を議論していく上で必要な、基本的な事象や概念について、具体的な事例を交えながら解説していきます。取り扱う主な事象・概念は、文化帝国主義、情報主権、国境を越えるテレビ、集团的帰属意識などです。

後半は、ヨーロッパ・北米・アジアなどにおける具体的な「国際マスコミュニケーション」の状況を紹介しながら、前半で解説した概念の理解を深めていきます。講義の締めくくりでは、現在の日本を取り巻く「国際マスコミュニケーション」の状況を考えてみたいと思っています。

#### 評価

中間テスト(40%)と期末レポート(60%)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### 推薦書

「情報化社会をめぐる諸相 - 国境を越えるコミュニケーションのインパクト」(共著、田中浩編著『現代思想とはなにか - 近・現代350年を検証する』所収、P.216-232龍星出版、1996年)

科目名	グローバルジャーナリズム		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この講義では、ニュースが国境を越えて飛び交い、かつ国境を越えて同じニュースが受容されているという、現代の新たな状況を考える。この「グローバル・ジャーナリズム」という用語の背景にあるさまざまな現象や含意は、現代社会のあり方の一面を切り取っているとさえ言え、今後、ジャーナリズムやグローバリゼーションのゆくえを考えるものにとって重要度が増していく視点となろう。そこでこの講義では、テレビジャーナリズムを中心にしながらその概念整理をしたうえで、CNNインターナショナルやBBCワールド、アルジャジーラといった事例をみてみたい。

やや内容が高度なので、事前に「国際マスコミュニケーション論」または、他のジャーナリズム関連科目を既に履修していることが望ましい。

#### 内容

1. 「グローバル」とは何か
2. ジャーナリズムと市民社会
3. ジャーナリズムを成立させている要件
4. グローバルなニュースの収集
5. グローバルなニュースの伝達
6. グローバルなニュースの選択・解釈
  - (ア)「国際ニュース」の問題点
    - 国民的フレームワークとステレオタイプ
    - 世界の中心と周辺」 - 報道の地域的偏りと情報格差
  - (イ)グローバルなニュースとは？
7. 「グローバル・ジャーナリズム」の現状 - 問題点と可能性

#### 評価

中間テスト(40%)と期末レポート(60%)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### 推薦書

「グローバル・ジャーナリズム」(共著、田村、林、大井編『現代ジャーナリズムを学ぶ人のために』所収、p.178-195.世界思想社、2004年)

科目名	放送ジャーナリズム		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

マスメディアは世界、国家、社会を映す鏡である。しかし、鏡が曇っていてはそれらを正しく映し出すことはできない。その結果、真に必要なとされ役に立つ情報を人々に安定的に提供することが出来なくなり、最近のマスメディアは放送メディアも活字メディアも多くの難問を抱えている。

特に大きな影響力を持つに至ったテレビは、人々の生活にとって必要不可欠の社会装置でありながら、『発掘！あるある大事典』のような捏造や視聴率至上主義の弊害、さらには政治(家)との関係のありようなど、さまざまな課題に直面している。

放送ジャーナリズムは、影響力が大きいテレビは本当に人々の生活や仕事、研究(勉強)に役立っているか、テレビ(の番組)は人々に「害」を及ぼしていないか、人々はテレビ(の番組)を本当に活用しているか、といった視点にたってテレビについて考える場と位置付けたい。

また、テレビは報道機関でもある。言論・表現の自由や「知る権利」を中心とするジャーナリズムの原理原則との狭間で試行錯誤を繰り返しているテレビ報道を検証し、テレビの社会的な機能や役割について考える。

#### 内容

1. ジャーナリズムとは～タイタニック号遭難から9・11米同時多発テロ・イラク戦争の今日まで
2. 「放送」とは～届かなければ放送じゃない 「あまねく論」「ユニバーサルサービス」
3. 放送と通信の融合(連携)～デジタル技術が可能にしたもの
4. 放送被害とBPO～メディアスクラム
5. 放送と政治～多様性の確保と所有規制問題 ケネディ対ニクソンTV討論から「小泉劇場」まで トナム戦争とマスメディア 放送の有事対応
6. 言論・表現の自由&知る権利と制約～名誉毀損とプライバシーの保護 少年法と少年犯罪報道  
放送(番組)基準
7. 戦争報道のありよう～ベトナム戦争から9・11同時多発テロ&イラク戦争 テレビの戦争報道ガイドライン ”ロボット戦争”とペン&カメラの力
8. 誰のための放送か～視聴率至上主義

以上のようなテーマについて、それぞれ1回ないし数回に分けて授業を行う。

#### 評価

期末試験 = 60点、レポート(随時) = 20点、出席 = 20点 計100点 合格は60点以上

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書として授業で使う書物は特にない。資料はその都度配布する。

【推薦書】佐藤卓巳『メディア社会』(岩波新書)

平敷安常 『キャパになれなかったカメラマン』 (講談社)

NHK放送文化研究所 『放送の20世紀』 (日本放送出版協会)



科目名	活字ジャーナリズム		
担当教員名	佐藤 公正		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

本も新聞も読まない。読むのが苦痛 こんな若い世代の「活字離れ」が問題視されて久しい。「なぜ読まなきゃなんないの？ネット情報で間に合うのに」という声が皆さんからも聞こえてきそうです。でも、本当にそうでしょうか。この授業を受けたあとでは、そのような声は消えてしまうに違いありません。

私たちは、多くのメディアがもたらすおびただしい量の「情報」に囲まれて暮らしています。意識しないまま「情報」の渦に押し流され、おぼれてしまう危険と隣り合わせに生きているといっても大げさではありません。「活字」の代表である新聞を賢く、批判的に読み解くことは、この虚実とりまぜた情報の海を泳ぎ切るための強力な方位磁石を手に入れることだと考えます。「現在」を示し、「歴史」を証言する報道ジャーナリズムに焦点をあわせて、それが私たちの民主的な社会において担う役割、歴史と現状、直面する課題などについて多くの事例をもとに考察します。それらを通じて、この情報社会で自立した個人として生きていくための基本的な判断力を身につけましょう。

#### 内容

1. 新聞を手にとってみる(内容と構成、特性)
2. ニュースとは何か(だれが、どのようにして判断するのか)
3. ジャーナリズムとは(その役割と特質)
4. 新聞記者の取材(政治・経済・社会・事件・国際・スポーツなど各分野の報道現場では)
5. 取材システムと課題(客観報道、記者クラブ、調査報道、誤報など)
6. 活字情報と映像情報、ネット情報の違い(戦争報道などをめぐって)
7. 表現の自由と人権の調整(公権力による規制と情報操作。世論とは何か)
9. 出版ジャーナリズム(雑誌媒体の特徴)
10. マスコミで働くということ(どんな心構えと能力が必要か)

授業のはじめに、新聞報道をもとに「その週のニュース」について意見発表を求めます。また毎回、授業内容への質問と意見をリアクションペーパーに書いてもらい、次回に答えて議論することで双方 向性を保ちます。

#### 評価

期末のペーパーテスト70点、リアクションペーパーの内容30点とし、総計60点以上を合格とします。なお、原則として4回以上の欠席は履修放棄とみなします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### 【推薦書】

- 『新・現場からみた新聞学』天野勝文、橋場義之編著(学文社)
- 『ジャーナリズムの思想』原寿雄著(岩波書店) 070.1/H
- 『新聞と戦争』朝日新聞取材班著(朝日新聞出版)

科目名	エンターテイメント映像論		
担当教員名	田中 東子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

本講義では、グローバル化が進むにつれて世界中で視聴されるようになったハリウッド映画のいくつかの作品を視聴し、その面白さの根源がどこにあるのか、また世界中で見られる映像としてそこで描かれている事物がどのような意味を持ちうるのか、といった点についてグループワークを中心に分析していく。授業で扱うのは、『バック・トゥ・ザ・フューチャー』、『スター・ウォーズ』、『タイタニック』、『ターミネーター2』など、誰もが一度は見たことがある(だろう)作品である。授業内では、実際に映画を視聴し、映画理論に関する論文を輪読し、「ハリウッド脚本術」と呼ばれるその独特の脚本構成の分析や映像表現技術の検討を通じて、エンターテイメント性とはなにか、またその概念が孕む問題点について考えていく。

#### 内容

1. エンターテイメント映像とは何か?
2. エンターテイメント映像の構造(1)ストーリーと脚本
3. エンターテイメント映像の構造(2)キャラクター
4. エンターテイメント映像の構造(3)フレームと編集
5. エンターテイメント映像の構造(4)イデオロギー
6. エンターテイメント映像の分析(1)
7. エンターテイメント映像の分析(2)
8. エンターテイメント映像の分析(3)
9. エンターテイメント映像の分析(4)
10. エンターテイメント映像の分析(5)
11. エンターテイメント映像の分析(6)
12. エンターテイメント映像と映画理論(1)
13. エンターテイメント映像と映画理論(2)
14. エンターテイメント映像と映画理論(3)
15. まとめ

#### 評価

出席25%、授業ごとに提出するミニレポート25%、学期末テスト50%で総合して評価する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### 推薦書

藤井仁子『入門・現代ハリウッド映画講義』人文書院、ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー1』フィルムアート社、ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー2』フィルムアート社

純丘曜彰『エンターテイメント映画の文法：ヒットを約束する脚本からカメラワークまで』フィルムアート社

\* 必要に応じて、授業内で指示をいたします。

科目名	サイバージャーナリズム		
担当教員名	平井 智尚		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

本講義ではインターネット上のジャーナリズム(サイバージャーナリズム)の問題について考える。ジャーナリズムと聞くと、マス・メディア組織に所属する専門家が行う活動のように思える。だが、「時事的な問題を記録し、その意味について解説・批評する活動」というジャーナリズムの定義にのっとるならば、個人のホームページ、ブログ、電子掲示板、SNSなどに書かれた内容もジャーナリズムとかがわってくる。すなわち、現代社会においてインターネットを利用する者は、誰しもがジャーナリズムと密接に関係しているのである。このように考えると、どことなく程遠い「ジャーナリズム」がとても身近に感じるのではないだろうか。本講義では日常生活におけるインターネット利用・経験との結びつきをふまえながら、サイバージャーナリズムの問題を考えていきたい。

#### 内容

1	ガイダンス
2	サイバージャーナリズム概論
3	ポータルサイト
4	インターネット新聞
5	マス・メディアのウェブ展開
6	個人ニュースサイト
7	個人による情報発信の問題点 : インターネット上の誹謗中傷
8	個人による情報発信の問題点 : インターネットと名誉棄損
9	個人による情報発信の問題点 : インターネットとプライバシー侵害
10	個人による情報発信の可能性 : インターネットと世論
11	Web2.0とジャーナリズム
12	検索エンジンとジャーナリズム
13	諸外国のサイバージャーナリズム
14	動画サイトとジャーナリズム
15	講義のまとめ

#### 評価

出席と授業内レポート(2~3回を予定)を平常点として40点、期末レポートを60点として評価を行い、60点以上を合格とする。なお受講者が多数の場合には期末レポートを試験に変更する場合もある。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】なし

【推薦書】なし

【参考図書】授業内で適宜紹介する

科目名	コミュニケーションの心理学		
担当教員名	綿井 雅康		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

私たちが日常生活のなかで何気なく行っている様々なコミュニケーション活動(友だちと会話をする、携帯電話でメールをする、電話で話す、雑誌をみながら買い物をする、テレビを見る、ゼミなどで発表する、アルバイトで接客をする、授業のレポートを作成する)について、心理学の視点から客観的にとらえ直してみる。

コミュニケーション活動とは、メッセージを送る人と受け取る人との共同作業であり、メッセージという情報が表現され伝達され受容され理解されるというプロセスからなるものである。このプロセスのなかで、人間がどのような行動を行っているのか、心や行動にどのような影響を及ぼすのか、について明らかにされている心理学的なメカニズムや法則性を中心に述べる。

私たちが普通に行っている行動に影響を及ぼす心理的な要因について、論理的かつ分析的に理解する知識を身につけるとともに、行動の潜在的な意味や目的を客観的に考える態度や視点を養ってほしい。

#### 内容

- 対人コミュニケーションの成立
  - コミュニケーションの概念と基本構成要素
  - 対人コミュニケーションの特徴
- 言語・非言語によるコミュニケーション
  - コミュニケーションにおける言語の特徴
  - 非言語メディア ・ 身体動作と空間行動
- 自分を知らせるコミュニケーション(自己開示)
  - 自己開示の概念と領域
  - 自己開示が果たす機能
- 自分を演出するコミュニケーション(自己呈示)
  - 自己呈示と社会的スキル
  - 防衛的自己呈示と主張的自己呈示
- 人々を動かすコミュニケーション(要請承諾・説得)
  - 説得的コミュニケーションと態度変容
  - 説得の効果を左右する要因 ・ 要請技法

#### 評価

授業内の小課題20点、期末テスト70点、その他10点の計100点満点により評価を行う。

評価基準となる学習到達目標は、1)教科書の記述内容を理解しようと努力したか、2)コミュニケーション行動に関するメカニズムや法則性を理解したか、3)コミュニケーション行動に関する理論を日常生活での行動に適用して説明できるかである。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 深田博己著 『インターパーソナルコミュニケーション』 北大路書房

科目名	メディア文化研究		
担当教員名	加藤 徹郎		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

本講義ではテレビドラマを題材にし、映像の表現様式を、その物語構造を読み解くことで学んでいきます。映画やテレビドラマというのは、語り手が物語を語ると同時に、それを映像によって示すことで成立しているといえます。したがって講義ではまず、文学理論を参照しながら物語の構造を学び、次にそうした物語構造を効果的に映し出す映像手法を学みます。そして最後に、これらのビジュアル・コンテンツが、私達の社会/文化的な規範と、どのように影響しあっているのかについて考えていきます。

内容

毎回、映像資料を使用するので、1単元を2回に分けて講義していきます。

分析事例は身近な素材なだけに親しみやすいと思いますが、実際の分析における方法論や概念は難解なものが多いです。しっかり復習するよう心がけてください。

予定は変更する場合があります。

1	第1回	オリエンテーション
2	第2回	テレビ・テキストの進行 統辞構造
3	第3回	テレビ・テキストの進行 統辞構造
4	第4回	テレビ・テキストの登場人物 範列構造
5	第5回	テレビ・テキストの登場人物 範列構造
6	第6回	テレビ・テキストの映像表現
7	第7回	テレビ・テキストの映像表現
8	第8回	テレビ・テキストにおける語りと視点
9	第9回	テレビ・テキストにおける語りと視点
10	第10回	テレビ・テキストの時間構造
11	第11回	テレビ・テキストの時間構造
12	第12回	相互テキスト性
13	第13回	テキストの責任/視聴者の責任 相互テキスト性
14	第14回	期末試験
15	第15回	まとめ / フィードバック

評価

【レポート40% , 期末テスト50% , 出席点10% 60%以上の得点取得で単位認定】

レポートは、第5回までの講義で学んだ分析手法で課題を作成してもらいます(1800~2000字程度)。また期末試験の範囲は、第2回から第13回までの講義内容とします。

【注意事項】

・映像資料をもとに講義を進めていく関係上、遅刻・私語は厳禁とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 藤田真文 『ギフト、再配達 テレビ・テキスト分析入門』 せりか書房 2006

【参考書】 藤田真文・岡井崇之 編 『プロセスの見えるメディア分析入門』 世界思想社 2009

科目名	ドキュメンタリー映像論		
担当教員名	小河原 正己		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

20世紀は、「映像の世紀」と言われている。19世紀末に登場した新しいメディア「映画」は、やがて大衆の人気に支えられ、娯楽の王様となる。その「映画」の大きな柱として、いわゆる「ドキュメンタリー映画」が登場する。この草創期に、何人もの先駆者たちが、ドキュメンタリー的な映像表現の手法を駆使して、数々のすぐれた記録や作品を残した。

20世紀半ばになると、テレビが登場。「ドキュメンタリー」は、フィルムからビデオに移行し、これまでに、様々な分野で、知られざる事実や隠された真相を記録、放送してきた。そこで、

1. 100年を越えるドキュメンタリーの歩みをたどり、その先駆者たちの映像表現の思想と手法を理解させる。
2. 講師が制作に関わっている番組を例に、番組制作の体験的、実践的な方法論を理解させる。
3. ドキュメンタリーをどう読みとるか、メディア・リテラシーについて理解を深めるとともに、ドキュメンタリーの今後の可能性について考察させる。

内容

1	「映像の世紀」の黎明・映画の登場～リュミエール兄弟とG・メリエス(フランス)
2	ドキュメンタリー映画制作の先駆者(1)～ドキュメンタリーの父・R・フラハティ(アメリカ)
3	ドキュメンタリー映画制作の先駆者(2)～近代映画の父・D・W・グリフィス(アメリカ)
4	ドキュメンタリー映画手法の確立(1)～モンタージュ理論・S・エイゼンシュテイン(ロシア)
5	ドキュメンタリー映画手法の確立(2)～美の追及者・L・リーフェンシュタール(ドイツ)
6	ドキュメンタリー映画理論の確立～J・グリアソンとP・ローサ(イギリス)
7	ドキュメンタリー映画、日本の先駆者～戦う映画監督・亀井文夫
8	「映像の世紀」の到来・テレビの登場～テレビ初期のフィルム・ドキュメンタリー
9	ドキュメンタリーは、「音」をどう取り込んできたか～フィルムからビデオへ
10	ビデオは、テレビ・ドキュメンタリーをどう変えたか(1)～凝視するカメラ
11	ビデオは、テレビ・ドキュメンタリーをどう変えたか(2)～時代と格闘するカメラ
12	テレビは、「ヒロシマ」をどう記録したか(1)～空白の記録
13	テレビは、「ヒロシマ」をどう記録したか(2)～爆心地の記録
14	デジタル・メディア時代、ドキュメンタリーをどう見るか
15	デジタル・メディア時代、ドキュメンタリーはようになるか

評価

期末のレポート40点、各回の小レポート30点および出席30点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

- 【参考書】(1) ポール・ローサ著「ドキュメンタリー映画」(1936年)  
(2) エリック・バーナウ著「世界ドキュメンタリー史」(1974年)



- 【推薦書】(1) 吉田直哉著「映像とは何だろうか～テレビ制作者の挑戦」(岩波新書、2003年刊) 699/Y  
(2) NHK出版編「ヒロシマはどう記録されたか」(NHK出版、2003年刊) 210.75/H  
(3) 今野勉他著「お前はただの現在にすぎない」(朝日文庫、2008年刊)

科目名	メディア広告論		
担当教員名	志賀 道夫		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

狙いは次の三つのことです。

- 1 広告に使われるメディアの特性を理解すること。
- 2 情報流通産業としての仕組みを把握すること。
- 3 広告理論の基本として、マーケティングの基礎理論を理解すること。

今期は「マーケティング・コミュニケーション戦略」という考え方を講義します。

インターネットの普及により、広告メディアミックスに、新しい潮流が生まれてきています。クロスメディアという考え方です。メディアを時系列に割り付けて、メッセージを変えます。マーケティング理論も日進月歩です。

そういうことを理解するために、まず、マスメディアの構造と特性を理解しましょう。

## 内容

### 講義のテーマ

- 1 マーケティングの基礎 第一週から 第五週  
消費者行動モデル・標的市場モデル・製品ライフサイクル・競争戦略など
- 2 メディアごとの各論 第六週から 第十四週  
新聞社・テレビ局・雑誌社・屋外広告会社・ウェブメディア・POP
- 3 総括・コミュニケーション理論 第十五週

広告表現には深入りしません。

マーケティング手法としては表現も取り上げます。

今期は、携帯電話 あるいは 清涼飲料をテーマにしようと検討しています。

各人にブランドを選んでもらい、具体的なマーケティング戦略を解析します。

それぞれに メディア戦略も考えてもらいます。

### 基本参考資料

日本能率協会マネージメントセンターの「広告ハンドブック」(井徳正吾編著)  
ダイヤモンド社の 「新版マーケティング原理」(フィリップ・コトラー)

## 評価

中間と最終の二回 レポートを書いてもらいます。

レポート（100点満点 × 2）で評価します。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】メディア、マーケティングについての100ページ以上の本を読んでおいてください。

- 1 . 宣伝会議刊 吉良俊彦著 「ターゲット・メディア・トルネード」
- 2 . 日経広告研究所編 「基礎から学べる広告の総合講座」
- 3 . 松柏社（宮原哲著） 「新版入門コミュニケーション論」
- 4 . 技術評論社（松本拓也著） 「小さなニュースに火を付けて売る」

そのほかにも 広告関係の本を 買ってでも読んでみてください。

科目名	メディア産業論		
担当教員名	大西 正行		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本では、だんだん新聞が読まれなくなり、雑誌の売れ行きが悪くなり、テレビの制作費が削減されています。同時にネット社会の波が、広告業界や出版業界に押し寄せる等、既存メディアに一層の変革を迫っています。これが2010年代初めのメディア産業の大づかみの概況とってよいでしょう。

しかし、中には、付録戦略で売り上げを伸ばす「宝島社」や、コンテンツ力でベストセラーを世に出す小出版社もあり、全体の傾向ですべてを言い尽くすことはできません。凋落が著しいと伝えられてきたアパレル業界で一世を風靡したユニクロのような例もあるのです。本講義では、メディア業界の悲観的概観と展望(総論)ばかりではなく、総論にあらがって活路を開くメディア企業の各論も取り上げ、将来、メディアと関わる仕事に就きたい人への指標となるよう努めます。

#### 内容

新聞業界、出版業界、放送産業、通信産業等のメディアの変遷と展望について、「メディアビジネス」の視点から、メディア間のつながりも意識しつつ、ゲストスピーカーの指摘も交えながらアプローチします。

#### 評価

出席率 + 授業への取り組み = 50点 期末のテスト(もしくはレポート) 50点 計100点で60点以上を合格とします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	映像女性論（基礎）		
担当教員名	松本 侑壬子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

映画は楽しい娯楽であると同時に、巨額の制作費をかけたイメージ商品であり、その時代や社会の欲求の反映です。また人の心に直接に訴えかける強力なメディアであり、高度な総合芸術でもあります。映画を手がかりに社会と人間関係のあり方をジェンダーの視点で考えてみましょう。

19世紀末の映画の誕生から1世紀余の歴史の中で、女性の登場しない映画はごく稀（まれ）です。スクリーン上のヒロインは長い間理想の女性イメージとして描かれ、それは時代とともに変わってきたのです。改めて“作られた女の理想像”を見直し、時代背景との関係を考察します。

前期（1）は、ヒロイン像の変遷。映画史とからめながらスクリーンに描かれる女性像の変遷を中心に、パワーポイントを使って分かりやすく講義します。映画をジェンダーの視点から主体的に見る基礎的な力（メディア・リテラシー）をつけることを目指します。

この授業は、学年、学部・学科を問わず広く受講可能です。ただし、私語は厳禁。授業妨害とみなし、即刻退室を求めます。

#### 内容

1. 映画の誕生とその時代 “動く画像”への挑戦、エジソンの発明、リュミエール兄弟のシネマトグラフへ。
2. 世界初の女性監督は23歳のパリジェンヌだった 映画黎明期の女性映画人たち。
3. ヒロイン像の変遷 ハリウッドの成り立ちと“夢の工場”で形成される“女の理想像”
4. ヒロイン像の変遷 “アメリカ映画の父”とグリフィス・ガールズ
5. ヒロイン像の変遷 最初の女優たち 対照的なハリウッド映画と日本映画
6. ヒロイン像の変遷 ヒロイン3条件は永遠か？
7. ヒロイン像の変遷 サイレントからトーキーへ 変わるスターの条件
8. ヒロイン像の変遷 “女らしさ”は作られる セックス・シンボルの系譜。
9. アニメのヒロインたち 白雪姫からポニョまで
10. CG時代の女性像は？—強く、賢く、美しいアクションウーマンたち
11. 女性解放運動と新女性映画
12. アカデミー賞 歴史と仕組み、受賞作品をジェンダーの視点で検討する。

また、映画評論家である本講師による最新映画情報など新鮮な映画の話題も随時取り上げる。

#### 評価

出席40点およびレポート、ペーパーテスト60点により評価を行ない、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特になし。必要に応じて適切なものを紹介、資料配布する。

【推薦書】井上一馬著『アメリカ映画の大教科書』（上・下）（新潮社）778.253/1/1-2

北野圭介著『ハリウッド100年史講義』（平凡社）778.253/K

松本侑壬子著『シネマ女性学』（論創社）778.04/M

エマニュエル・レヴィ著、浜口幸一訳『アカデミー賞全史』（文芸春秋）778.253/L

科目名	映像女性論（発展）		
担当教員名	松本 侑壬子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

後期は、できれば前期の（ ）の授業を受けておいた方がより分かりやすいですが、この授業だけでも理解はできるように講義を進めます。

映画を手がかりに社会と人間関係のあり方をジェンダーの視点で考えること、実際の作品を手がかりに映画を主体的に見る基礎的な力（メディア・リテラシー）をつけるよう目指すのも前期と同様です。

後期は、比較的新しい作品を素材に“女らしさ”“男らしさ”の「性の境界線」を超える主人公たちに焦点を当ててジェンダーフリーな生き方とは、を考えます。

また、世界的に女性の映画産業界への進出が著しい中で、映画の作り手の中心となる女性監督たちについて学びます。とりわけ、これまで見過ごされ勝ちだった日本の女性監督たちの活躍に注目し、その人と作品を通して映画を身近なものとして理解することを目指します。時には現役の女性監督を招き、生きた映画製作の話をお聞きしましょう。

この授業は、学年配当1・2年となっていますが、実際には学年、学部・学科あるいはコースを問わず広く受講可能です。また、社会人の方々にも開講しています。

#### 内容

1. 映画におけるジェンダー問題とは何か “女性映画” というけれど。
2. “性の境界線” と伝統的ラブロマンス。
3. “性の越境者” たち “妊婦” になった（！）元ターミネーター
4. 男は喜劇、女は悲劇 異装の人々とその運命
5. 「性は変わっても、私は私」 時空を超えるオルランド
6. 女性自身で描く女性像 世界の女性監督たちとその仕事
7. 日本の女性監督 第1号映画への夢と現実。諦めない女たち。
8. マルチメディア時代の映画と女性 課題と展望

#### 評価

出席40点、レポート、ペーパーテストで60点により評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】特になし。必要に応じて適切なものを紹介、資料配布する。

【推薦書】吉田・林・松本ら共著『女性監督映画の全貌』（パド・ウィメンズ・オフィス）R778.2/J

佐藤忠男著『日本映画史』（岩波書店）（ - ）778.21/S/1-4

松本侑壬子著『映画をつくった女たち 女性監督の100年』（シネマハウス）778.28/M

羽田澄子著『映画と私』（晶文社）778.21/H

浜野佐知著『女が映画を作るとき』（平凡社）778.04/



科目名	演劇論A		
担当教員名	藤澤 茜		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

人々を魅了する演劇はどのように誕生し、継承されてきたのでしょうか。この問題について、日本の伝統芸能、歌舞伎を主に取り上げて検証します。その理由には、次の4点が挙げられます。

歌舞伎が庶民の芸能であったこと。能、狂言の影響を受けていますが、歌舞伎が権力者の庇護下でなく庶民の娯楽として発展した点に注目します。江戸庶民文化の根幹を築き、小説や浮世絵に多大な影響を与え流行の発信源であった歌舞伎を通じ、人々が何を演劇に求めたかを検証します。

神の祭りという宗教的性質があること。神として扱われた人気役者市川団十郎(舞台上からならむと観客が風邪をひかないとされる「ならみ」芸は現在も継承されています)なども取り上げ、信仰と演劇という不可分の問題についての検証を行ないます。

世界で初めて回り舞台を設置するなど、舞台技術、演出面でも多くの特徴がみられること。

商品広告などメディアとしての役割も果たしたこと。社会現象を敏感に反映する姿は現代のマスコミにも共通し、歌舞伎を通じて大衆に向けた演劇の意義を明らかにすることができます。

以上の点をふまえ、能、狂言や西洋演劇、アジアの演劇(中国、韓国、タイなど)との比較も行ない歌舞伎の本質を明らかにします。さらに宝塚やミュージカル、アニメーションにも対象を広げ、エンターテインメントとしての演劇のあり方を検証します。

#### 内容

文献、脚本研究のほか、ビデオ観賞、絵画資料からの検証をまじえ視覚的に演劇をとらえて学びます。絵画資料については、主に浮世絵を取り上げます。2008年には浮世絵の検証をもとに元禄時代の上方の舞台復元(プロジェクトには藤澤も参加)が行われるなど、浮世絵は資料的な価値が高く歌舞伎研究には不可欠な資料です。以下のスケジュールで授業を進めます。

#### ガイダンス・歌舞伎の特色と歴史

歌舞伎の舞台構造を知る～能舞台の模倣時代から現代のコクーン歌舞伎まで

芝居を創る 元禄上方和事復活上演までの軌跡

市川団十郎と江戸の信仰

人形浄瑠璃と歌舞伎 「義経千本桜」の狐忠信

能と歌舞伎舞踊 「道成寺」「土蜘蛛」など

歌舞伎と広告 「外郎売」など

浮世絵に見る歌舞伎 歌舞伎役者の人気を知る

歌舞伎の海外公演 パリオペラ座公演・平成中村座ニューヨーク公演

歌舞伎と海外の演劇(1)京劇(中国)・パンソリ(韓国)・リゲー(タイ)等アジアの芸能

歌舞伎と海外の演劇(2)シェイクスピアと蜷川幸雄

海外の演劇(1)「ロミオとジュリエット」

海外の演劇(2)ミュージカル「ウエストサイド物語」

現代の演劇 宝塚「ベルサイユのばら」に見る華麗な舞台

現代のアニメーション 「千と千尋の神隠し」と日本文化

## 評価

毎時間の授業に関するコメント提出と、学期末にレポート提出を課します。配点の比率は、授業時のコメント30%、試験70%とし、60点以上を合格とします。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】なし。【参考書】開講後に指示。

授業時には毎回プリントを配布します。

科目名	民俗歌謡の世界		
担当教員名	平野 多恵		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

歌謡とは韻律を伴って歌われたうたのことである。人々の中ではぐくまれてきた歌謡は、それが歌われた時代や地域の生活と密接に関わっている。

本講義では、日本を中心としてアジアの歌謡を取り上げ、歌謡を生み出す母体の一つであった信仰との関わりについて考えていく。

## 内容

- 第1回 ガイダンス 民俗歌謡とは何か
- 第2回 祭りのなかの歌謡 神楽とは?
- 第3回 さまざまな神楽1
- 第4回 同上2
- 第5回 同上3
- 第6回 同上4
- 第7回 同上5
- 第8回 神仏の託宣としての歌謡
- 第9回 神がかりと託宣1
- 第10回 同上2
- 第11回 同上3
- 第12回 巫女と託宣1
- 第13回 同上2
- 第14回 同上3
- 第15回 試験

授業では毎回リアクションペーパーを書いてもらい、次の授業でフィードバックする。

## 評価

平常の受講態度(10点)、授業中に提出するリアクションペーパー(30点)、学期末試験(60点)により、総合的に評価する。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜、プリントを配布します。

科目名	日本語学		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本語の面白さを知る！

この授業は、アクティブラーニング(学生が自ら正解を探す「能動的学習スタイル」)による参加型授業です。母国語として特に気づくこともなく使っている日本語を、何で? どうして? を大切に言語研究でわかってきたさまざまな成果を元に考察していきます。単なる知識の伝授だけでなく、考えるプロセスも訓練しましょう。また、ことばや文化との関わりについて考えながら、情報の目利きとして生きることの楽しさについても考えていきましょう。みなさんの様々なアイデア・思考を期待します。大学での学び・気づきのきっかけになると嬉しいですね。

## 内容

- 第1回 インストラクション(授業の方法と評価の仕方)
- 第2回 言語とは何?
- 第3回 日本語っていつからはじまったの?
- 第4回 言語とコミュニケーション
- 第5回 音声言語としての日本語(音声記号を書けるようにしよう!)
- 第6回 日本語音声の特徴
- 第7回 日本語方言の音声
- 第8回 音響分析と日本語
- 第9回 アクセントとイントネーション
- 第10回 方言とアクセント
- 第11回 文字の歴史
- 第12回 変体仮名を読む(古今集の恋の歌を読む)
- 第13回 表記のゆれと変化
- 第14回 日本語を考える
- 第15回 フィードバック

## 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」をメールで送信。 日常出席まとめ感想メール...1~7ポイント(提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題...3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度]課す) 最終課題or試験...5~10ポイント 合計ポイントと評価...D<60 C<70 B<80 A (4回以上の欠席は受講放棄とみなします)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	日本語学		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本語の面白さを知る！

この授業は、アクティブラーニング(学生が自ら正解を探す「能動的学習スタイル」)による参加型授業です。母国語として特に気づくこともなく使っている日本語を、何で? どうして? を大切に言語研究でわかってきたさまざまな成果を元に考察していきます。単なる知識の伝授だけでなく、考えるプロセスも訓練しましょう。また、ことばや文化との関わりについて考えながら、情報の目利きとして生きることの楽しさについても考えていきましょう。みなさんの様々なアイデア・思考を期待します。大学での学び・気づきのきっかけになると嬉しいです。

## 内容

- 第1回 インストラクション(授業の方法と評価の仕方)
- 第2回 流行語・ことばの変化
- 第3回 正しいことば・間違ったことば
- 第4回 語彙1
- 第5回 語彙2
- 第6回 敬語・待遇表現
- 第7回 ことばのスタイル
- 第8回 ことばを調べる1
- 第9回 ことばを調べる2
- 第10回 ことばを調べる3
- 第11回 ワークセッション1
- 第12回 ワークセッション2
- 第13回 外国語と日本語
- 第14回 日本語を考える
- 第15回 フィードバック

## 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」をメールで送信。  
 日常出席まとめ感想メール...1~7ポイント(提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題...3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度]課す) 最終課題or試験...5~10ポイント 合計ポイントと評価...D<60 C<70 B<80 A  
 (4回以上の欠席は受講放棄とみなします)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	ことばの心的メカニズム A		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語） / マスメディアコース		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

対象言語としては主に英語を取り上げながら、心理言語学・社会言語学・通時言語学の諸分野に関する基本的な概念や考え方を学びます。

なお、統語論・意味論・形態論・語用論等の言語学の諸分野については「ことばの心的メカニズム C」で、音声学・音韻論の分野については「ことばの心的メカニズム B・D」で扱うので、4科目すべてを履修すれば英語学・言語学に関する主要な概念・考え方を学ぶことが可能となります。英語の教職課程を履修している学生はできる限り4科目すべてを履修してください。

#### 内容

以下の各トピックに関して基本的な概念・考え方等の説明を講義形式で行います。また毎授業の最初に前回の授業の復習小テストを行ないます。

- (1) オリエンテーション（第1週）  
言語学のめざすもの
- (2) 言語とは何か？（第2～5週）  
（人間）言語の特性、動物の「言語」と人間言語
- (2) 言語の習得＜心理言語学＞（第6～10週）  
母語の習得（英語の資料を中心に）、第二言語の習得（第二言語が英語の場合を中心に）
- (3) 言語の多様性＜社会言語学＞（第11～13週）  
使用地域・使用者の性別・年齢・属する社会などによる違い
- (4) 言語と脳＜神経言語学＞（第14～15週）  
人間は脳のどの部分を使ってことばを発し、理解するのか

#### 評価

下記の割合で点数化し、60%以上の得点を合格とします。

- (1) 期末試験： 60%
- (2) 小テスト： 30%
- (3) 出席・平常点： 10%

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プリントを配布します。

【推薦書】『ことばの科学ハンドブック』，郡司隆男・西垣内泰介編，研究社，2800円． 801/K

『言語研究入門』，大津由紀雄・池内正幸・今西典子・水光雅則編，研究社，3500円． 801/G

【参考図書】『言語学の方法』，郡司隆男・坂本勉著，岩波書店，3000円．

『言語の科学入門』，松本祐治他著，岩波書店，3400円．

『言語の獲得と喪失』，橋田浩一他著，岩波書店，3400円．

科目名	ことばの心的メカニズムB		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

言語の個々の音(母音・子音・半母音)の詳細は、「ことばの心的メカニズムD」で扱うが、本科目では、個々の音から自然な話しことばへの橋渡しを行う。英語の音連続から文の発音へと体系的にリズムとイントネーションを学んで効率よく練習をし、これを通じて日本語の音声の特徴も浮かび上がらせたい。

外国語として英語を学ぶ者が、自然な英語を話すようになるには、勘にたよってまねをするしか方法がない訳ではない。一般に、幼い子どもが言語を習得する際は、個々の音の正確な発音よりも、複数の音にわたって起こるリズムとイントネーション(韻律)の方を先に習得するといいい、まさにトップダウンで発音を身につけている。しかし、外国語として英語を学ぶ者が、そのイントネーションを自然なものに近付けるには、いきなり「リズムよく練習」するのではなく、リズム・イントネーションの特徴を頭で理解したうえで練習した方が効率がよいのである。

\*なお、「ことばの心的メカニズムA~D」をあわせると英語学・言語学に関する主要な概念・考え方を学ぶことができるので、英語の教職課程を履修している学生はできる限り4科目すべての履修が望ましい。

#### 内容

主に、教科書第V章以降を扱う。本科目で詳しく扱えない第I - IV, IX章の各章は、本年度後期「ことばの心的メカニズムD」で扱う。

DVD作品の\_This Is It\_には、インタビューシーンが多くあるが、そのスクリプトを第2週と第13週ごとに録音して、リズム・イントネーションの上達を実感したい。

1	教科書「III. 母音」と「IV. 子音」の要点の紹介
2	【朗読】: _This Is It_のダンサーのインタビューシーンから朗読して録音
3	V. 音の連続 その1 (音節)
4	V. 音の連続 その2 (/str-/などの同一音節内の子音連続)
5	V. 音の連続 その3 (単語間のリエゾンなど、音連続について)
6	V. 音の連続 その4 (音脱落)
7	V. 音の連続 その5 (同化などの音変化)
8	VI. アクセント その1 (語、句、文のアクセント)
9	VI. アクセント その2 (文の中の弱音節などについて)
10	VI. イントネーション その1 (音調群と核音節)
11	VI. イントネーション その2 (イントネーションの意味について)
12	VI. イントネーション その3 (注意すべき英語イントネーションのパターン)
13	【朗読】: _This Is It_からの録音再び
14	復習
15	期末試験

#### 評価

第2週の提出物を20点、第13週の提出物を20点、期末試験(音調群の核の聞きとりなどを含む)を20点、出席点を

40点として、合計60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】竹林滋 / 斎藤弘子著 (2008)、新装版『英語音声学入門』（音声CD付）、大修館書店。（「ことばの心的メカニズムD」でも教科書として使用します。）

【推薦DVD】マイケル・ジャクソン \_THIS IS IT\_ コレクターズ・エディション（1枚組）[DVD]  
] 出演：マイケル・ジャクソン 監督：ケニー・オルテガ 販売元：ソニー・ピクチャーズエンタテインメント



科目名	ことばの心的メカニズムC		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

英語を科学的に分析・研究する対象として扱い、英語学の中核をなす形態論(英語の単語の構造)、統語論(英語の文の構造)、意味論(意味の構造)を中心に、さらに語用論などの分野も含めて、英語学の基本的な概念を学びます。適宜、大多数の学生の母国語である日本語と比較することにより英語という言語の持つ特徴を浮き彫りにできるようにしたいと考えています。また講義科目ではありますが、実際に演習課題を行うという作業も多く取り入れて、言語に関する科学的な見方を養うことを目標とします。

なお、言語学の関連分野については「ことばの心的メカニズムA」で、音声学・音韻論の分野については「ことばの心的メカニズムB・D」で扱うので、4科目すべてを履修すれば英語学・言語学に関する主要な概念・考え方を学ぶことが可能となります。英語の教職課程を履修している学生は4科目すべてを履修してください。

#### 内容

以下の各トピックに関して基本的な概念・考え方等の説明を講義形式で行います。理解を深めるための演習や課題の提出、毎授業の最初に前回の授業の復習小テストがあります。

- (1) 形態論(第1週~5週): 語はどのような構造をもっているのか、語形成の規則性
- (2) 統語論(第6週~10週): 句・文はどのような構造をもっているのか
- (3) 意味論(第11週~13週): 語や文の意味はどのように記述されるのか
- (4) 語用論(第14週~15週): 言語はどのように使用されるのか

#### 評価

下記の割合で点数化し、60%以上の得点を合格とします。

- (1) 期末試験: 60%
- (2) 小テスト: 30%
- (3) 出席・平常点: 10%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】プリントを配布します。

【推薦書】『ことばの科学ハンドブック』, 郡司隆男・西垣内泰介編, 研究社, 2800円. 801/K

『言語研究入門』, 大津由紀雄・池内正幸・今西典子・水光雅則編, 研究社, 3500円. 801/G

『文法』, 益岡隆志他著, 岩波書店, 3400円. 801.08/1/5

【参考図書】『言語学の方法』, 郡司隆男・坂本勉著, 岩波書店, 3000円.

『言語の科学入門』, 松本祐治他著, 岩波書店, 3400円.

科目名	ことばの心的メカニズムD		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / マスメディアコース		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

言語の個々の音(母音・子音・半母音)の発音をしているときの口の中の各部分の動きを考えて、図などで説明できるようにし、発音記号も読み書きできるようにする。個々の発音で英語と日本語の違いを客観的に説明できるようにし、自らの英語の発音を改善する。また、英語の聞き取り力の向上もねらう。本科目を通して、日本語の発音についての理解も深める。

\*なお、「ことばの心的メカニズムB」では、より時間の長い発音(音連続・リズム・イントネーション)を扱う。「ことばの心的メカニズムA・C」と合わせれば英語学・言語学に関する主要な概念・考え方を学ぶことができるので、英語の教職課程を履修している学生はできる限り4科目すべての履修が望ましい。

内容

日本人にとって混同しやすい英語の発音(rとlなど)の聞き分けができ、また、自分でも発音し分けられるようになるには、ネイティブスピーカーの発音をただ単に聞き流すだけでは不十分な場合が多い。大学生の年齢ではなおさらである。まず口の各部分の動きなどを理解してから、自分で聞き分けができなくても発音の区別をつけて練習していくことによって、だんだんと聞き分けられるようにする。発音分析には頭の体操の要素もあるが、口の運動を実践して積極的に練習していただきたい。

1	I. 現代英語の標準発音 II. 音声器官と音の分類 IX. 綴り字と発音
2	III. 母音-短母音 その1 (KIT, DRESS, TRAP)
3	III. 母音-短母音 その2 (LOT, STRUT, FOOT)
4	III. 母音-長母音 その1 (FLEECE, PALM, BATHの英米音)
5	III. 母音-長母音 その2 (THOUGHT, CLOTHの英米音, GOOSE, NURSE)
6	III. 母音-二重母音 (FACE, PRICE, CHOICE, MOUTH, GOATなど)
7	III. 母音-二重母音 (rの二重母音)
8	III. 母音-弱母音
9	IV. 子音-閉鎖音(帯気とsの影響)
10	IV. 子音-摩擦音 その1 (唇歯音と歯音と歯茎音)
11	IV. 子音-摩擦音 その2 (硬口蓋歯茎音と声門音)
12	IV. 子音-破擦音と鼻音
13	IV. 子音-流音と半母音
14	復習
15	期末試験

評価

期末試験(聞き分けテストや発音記号の理解を含む)を60点、出席点を40点として、合計60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】竹林滋 / 斎藤弘子著 (2008)、新装版『英語音声学入門』（音声CD付）、大修館書店。（「ことばの心的メカニズムB」でも教科書として使用します。）

科目名	英米文学史		
担当教員名	島村 豊博		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

英米の歴史を背景に両国の文学の流れを概観し、それぞれの時代の特徴と文学の関わりを、小説を中心にしながらいくつかの項目に絞って概説します。そして文学作品を単なる知識として歴史の中に位置付けるのではなく、各時代の潮流の中で作品が人間の生の営みをどのような形で反映し、また新しい時代をどのように切り拓いていったのかを探ってみます。とくに小説は結果が重要なのではなく、結末に至るまでの過程を味読しながら思索すべきものです。その意味からもこの講義が聞きっぱなしに終わらないで、実際に作品に当たってその面白さを直に味わいながら、さまざまな人間像についての理解を深める契機になることを望みます。そのために原則として邦訳のある作品で話を進め、また名場面をビデオで鑑賞したりして、作品を身近なものにします。

#### 内容

##### 《英文学》

- (1) 英米の歴史の流れおよび英語の特徴
- (2) 欽定英訳聖書と英文学
- (3) エリザベス朝演劇とシェイクスピア(人間の発見)
- (4) 18世紀・・・小説の始まり(写実と諷刺の精神)
- (5) ゴシックロマンスとジェーン・オースティン(非日常と日常)
- (6) ローマン派詩人(感情の解放)
- (7) ヴィクトリア朝の小説(ディケンズとブロンテ姉妹)
- (8) イギリス児童文学(ルイス・キャロルとベアトリックス・ポター)
- (9) 世紀末文学(審美主義)
- (10) 20世紀「意識の流れ」の小説(ジョイスとウルフ)
- (11) 生命の哲学(ロレンスとフォースター)

##### 《米文学》

- (12) 19世紀のピューリタニズムと小説(ホーソンとメルヴィル)
- (13) 20世紀初頭の自然主義文学(アメリカの悲劇)
- (14) 20年代の「失われた世代」(虚無と退廃の戦後文学)
- (15) 30年代の社会主義文学とその後(現代文明批判)

#### 評価

課題レポート70点、出席状況15点、授業への参加状況15点の割合で評価をし、60点以上を合格とします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

毎回、プリントを配布します。

参考書については授業時に適宜紹介します。

科目名	イギリス文学		
担当教員名	島村 豊博		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

世界文学の最大傑作の一つにも挙げられる『嵐ヶ丘』(1847年)を半期をかけて読みます。この作品は、1848年に30歳で亡くなった作者のエミリー・ブロンテが生涯で書いた唯一の小説です。イギリス北部ヨークシャー州の荒涼とした自然を背景にした、「情熱にみちた、力強く、恐ろしい」男女の愛憎劇は、イギリス文学ではほとんど他に例を見ないものですが、これだけの小説が世間とは没交渉の年若い女性になぜ書けたのか、また小説づくりに数々の欠点があるにもかかわらず、逆にこの小説ではそれらが魅力の一部になっている点を解き明かしていきます。

#### 内容

基本的に翻訳を通じてストーリーの展開を追っていきます。ですから、毎回指定された範囲を日本語で読んでくれることが求められます。授業の中で、必要に応じてDVDの映像を利用したり、プリントされた原文に直接当たり理解を深めます。毎回プロットを辿りながら、「ねらい」にあるような問題点を中心に解説していきます。

#### 評価

課題レポート 70点、出席状況 15点、授業への参加状況 15点の割合で評価し、60点以上を合格とします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

『嵐が丘 上下』 エミリー・ブロンテ(著) 河島 弘美(訳) 岩波文庫

随時プリント配布

科目名	アメリカ文学		
担当教員名	河野 智子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

アメリカにおいて本格的な文学が生じてきた16世紀初頭以降から現代に至るまでに活躍した主な作家と文学作品を取り上げ、全体的な文学の流れを概観する。各作品の特徴を探りながら、歴史的な関わりを考察し、アメリカ文学と関わりのある文化や思想についての理解も深めていく。

#### 内容

1	ガイダンス
2	アメリカ文学が生まれた背景、文学を学ぶ意義
3	Franklinとヤンキーズム
4	Brownとゴシック小説
5	Irving/Cooperとフロンティア
6	Poe
7	Emerson/Thoreauと超絶主義
8	Hawthorneと罪の意識
9	Melville
10	WhitmanとDickinson
11	Twain/Jamesとリアリズム
12	Crane/Dreiserと自然主義
13	Fitzgerald/Hemingwayと「アメリカの夢」
14	Faulknerと南部
15	期末試験

#### 評価

試験の成績、出席等で総合的に評価する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

井上謙治『アメリカ文学概観』南雲堂

科目名	感性文化表現 A (手話)		
担当教員名	谷 千春		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

聴覚に障害を持った人たちのことばである「手話」について学びます。

また、「読唇」、「筆談」、「空書」、など手話以外のコミュニケーション手段も同時に体験し、人と人とがコミュニケーションすること全体について考察します。

聴覚障害について医学、教育、文化、心理の面から理解を深めます。

#### 内容

1. あいさつ
2. 名前
3. 趣味
4. 曜日
5. 自己紹介
6. 実技試験
7. 指文字
8. 人物
9. 名前
10. 数字
11. 食事
12. 動物
13. スポーツ
14. 地名
15. 筆記試験

#### 評価

出・欠席、遅刻、授業態度(30%)、実技試験(40%)、定期試験(30%)での合計で評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】谷千春監修『実用手話ハンドブック』新星出版社 378.28/J

科目名	感性文化表現 A (手話)		
担当教員名	谷 千春		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

聴覚に障害を持った人たちのことばである「手話」について学びます。

また、「読唇」、「筆談」、「空書」、など手話以外のコミュニケーション手段も同時に体験し、人と人とがコミュニケーションすること全体について考察します。

聴覚障害について医学、教育、文化、心理の面から理解を深めます。

#### 内容

1. あいさつ
2. 名前
3. 趣味
4. 曜日
5. 自己紹介
6. 実技試験
7. 指文字
8. 人物
9. 名前
10. 数字
11. 食事
12. 動物
13. スポーツ
14. 地名
15. 筆記試験

#### 評価

出・欠席、遅刻、授業態度(30%)、実技試験(40%)、定期試験(30%)での合計で評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】谷千春監修『実用手話ハンドブック』新星出版社 378.28/J



科目名	感性文化表現 B (朗読)		
担当教員名	川野 一字		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

「朗読」とは、作品（ここでは文学作品）の内容を声に出して聞き手に伝える事。声に出す事で、「黙読」とはまた違う生き生きとした世界が広がり、古典文学作品もより身近になる。この科目は、一人一人の声を通して様々な作品をじっくり味わう実践講座である。また「朗読」は、自分にとって最も無理のない発声を基に、「自分の声」を探す道でもある。毎回、朗読を録音し必要に応じ再生して、読み方とともに自分の声を確認してもらうことにしている。「自分の声を見つけることは、自分の可能性を広げ、自分を深く知ること」につながる。この講座を通じて、自らの感性を磨いていただきたい。

#### 内容

1. 「朗読」の基礎を学ぶ。向田邦子『父の詫び状』などの作品  
モンゴメリー『赤毛のアン』、浦松佐美太郎『たった一人の山』など
2. 「ことば」による豊かなイメージをつかむ。  
中 勘助 『銀の匙』
3. 言葉の美しさを感じる。 古典文学の魅力  
樋口一葉『たけくらべ』  
清少納言『枕草子』 紫式部『源氏物語』桐壺など  
『平家物語』序章など

#### 評価

授業中の読み方。（事前に下読みをきちんとしているかどうか）（30%）  
講義の最終週に課題文の朗読を行い、評価する。（50%）  
出席日数。（20%）

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキストはその都度事前にコピーを配布する。  
授業時に、自分用の録音のためカセットやMDなどを用意するのが望ましい。

科目名	ダンスパフォーマンス		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ダンスと一口に言っても、ジャンルが多岐にわたっており、音楽に合わせてからだを揺らすことさえダンスであるとも言える。最近では再びダンスブームとも言われ、多くの人たちにも親しまれつつある現状もある。そしてダンスは人間の精神面、肉体面を同時に発育調和させる最適な運動文化である。この授業では、様々なダンスの特性や文化的背景を理解すると共に、実践を通してリズム感や体力向上に役立て、身体を感じ、心から楽しみ、実感を持って自分の感性につなげていくことをねらいとする。

また、コミュニティダンス(地域の人々が健康のために行っているダンス)を広め、指導にあたるインストラクター( )を目指す人のための授業内容をおりこむ。

(社)日本女子体育連盟ダンスムーブメント(ダンス的運動)インストラクターライセンスの受検資格が得られる。

#### 内容

- 1) 授業内容についてオリエンテーション
- 2) リズムエクササイズ...基本の練習、リズムに乗って動きを楽しむ
- 3) リズムムーブメント...動きのバリエーションを広げる
- 4) ダンスムーブメント...フィーリングを感じながら
- 5) 作品として仕上げ発表...技術や鑑賞能力を高める

#### 評価

出席状況(80%)、授業時の課題に対する意欲、関心、態度、毎回のまとめ(20%)など総合的に評価

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	ダンスパフォーマンス		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ダンスと一口に言っても、ジャンルが多岐にわたっており、音楽に合わせてからだを揺らすことさえダンスであるとも言える。最近では再びダンスブームとも言われ、多くの人たちにも親しまれつつある現状もある。そしてダンスは人間の精神面、肉体面を同時に発育調和させる最適な運動文化である。この授業では、様々なダンスの特性や文化的背景を理解すると共に、実践を通してリズム感や体力向上に役立て、身体を感じ、心から楽しみ、実感を持って自分の感性につなげていくことをねらいとする。

また、コミュニティダンス(地域の人々が健康のために行っているダンス)を広め、指導にあたるインストラクター( )を目指す人のための授業内容をおりこむ。

(社)日本女子体育連盟ダンスムーブメント(ダンス的運動)インストラクターライセンスの受検資格が得られる。

#### 内容

前期に習得した基本の動きをベースに更に進んだ段階を学び、情操豊かな身体表現へと応用、発展させていく。またクラシックバレエ、ストリートダンス、ジャズダンス等のプロダンサーによるレッスンを受講する機会に挑戦し、身体表現の幅を広げる。

- 1) エアロビクス的運動...その意義と効果について
- 2) リズムムーブメント...動きのバリエーションを広げ、動きの組み合わせを工夫する
- 3) ダンスムーブメント...フィーリングを感じながら、反復練習による動き込みによる技術研磨
- 4) 各種ジャンルの専門知識と運動...そしてその応用
- 5) 作品として仕上げ発表...空間構成、時間構成などへの挑戦

#### 評価

出席状況(80%)、授業時の課題に対する意欲、関心、態度、毎回のまとめ(20%)など総合的に評価

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	教育とメディアA		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

教育現場に視聴覚メディアが導入され、視聴覚メディアを使った教育も盛んに行なわれている。教育現場への視聴覚メディアの導入には賛否両論ある。担当者は、大学以前の教育への導入は否定的である。ここでは、学習者が視聴覚メディアを(で)学習するさい、困った問題にぶつからないように、できるだけわかりやすい、マニュアルなどを作成することを試みる。その作成過程を通して、教育現場における視聴覚メディアの持つ意味、特に、わかりやすさとは何か、について考察する。

#### 内容

1. オリエンテーション
2. 視聴覚メディアと教育方法の概説(1) 「視聴覚メディアと教育方法」の歴史、現状、課題について論じる。
3. 視聴覚メディアと教育方法の概説(2) 教職採用試験で実際に出題された、教育方法の分野に関連する重要単語について、解説する。最初に、重要単語を学ぶことによって、当該分野のイメージを明確にしてもらう。
4. 心理学的考察 わかりやすい表現を考えるさいの、色の使い方について、視覚心理学的な観点から考察する。聴覚心理学的影響についても考察する。
5. 言語学的考察 わかりやすい表現を考えるさいの、色の使い方について、言語学的な観点から考察する。
6. 福祉論的な考察 ユニバーサルカラーからの、色の使い方について、考察する。
7. 数学的な考察 数学的な観点から色の塗り分けを考察する。2次元と3次元の場合の違いも考察する。
8. 情報科学的な考察 情報科学的な観点から、色の作り方について、考察する。
9. 立体物における色の考察 折り紙を使って立体的な構造物を作成するさいの、色の使い方について、考察をする。
10. 立体物を作成するさいの表現 折り紙を使って立体的な構造物を作成するさいの、わかりやすい表現について、考察をする。
- 11、12. 紙芝居の作成(1)(2) 紙芝居を実際に作成しながら、わかりやすい、「せりふ」について考察する。
13. 立体的な絵本マニュアルの作成(1) マウスやキーボードを登場人物にしたキャラクターを作る。
- 14、15. 立体的な絵本マニュアルの作成(2)(3) ストーリーを考案する。絵本マニュアルを作成する

#### 評価

毎回提出してもらうレポート、150点満点(15回X10点満点)で、90点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	教育とメディアB		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

幼児教育を目的としたマルチメディアによるオリジナル作品を制作します。

幼児教育とメディアに関する文献的研究、日本や欧米の幼児番組を見ての作品研究を経て、既成の絵本などを素材に音楽とナレーション、動画などによるマルチメディア作品を制作し、最終的に作品発表会というかたちでプレゼンテーションを行います。

また、作品の制作過程では音楽編集ソフト、映像編集ソフトなどの扱いも学ぶことになります。

なお、ピアノが弾ける、楽譜が読めるなどの音楽経験の有無は問いません。

#### 内容

1	ガイダンス / ・コースの内容・このコースを受講してできるようになること・ルール
2	文献研究 / 幼児教育とメディア 小レポート提出
3	作品研究 / 日本やアメリカなどの幼児番組を見る 小レポート提出
4	素材選び、構成 / 絵本などの素材を選び、完成までのスケジュールを作成 提出
5	映像素材制作(1)
6	映像素材制作(2)
7	音楽制作(1)
8	音楽制作(2)
9	音楽制作(3)
10	ナレーション録音
11	マルチメディア編集(1)
12	マルチメディア編集(2)
13	マルチメディア編集(3)
14	プレゼンテーション(1)
15	プレゼンテーション(2)

#### 評価

出席...60% 作品、レポート...40%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦書；幼児音楽教育ハンドブック / 全国大学音楽教育学会

科目名	教育とメディアA（基礎）		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

教育現場に視聴覚メディアが導入され、視聴覚メディアを使った教育も盛んに行なわれている。教育現場への視聴覚メディアの導入には賛否両論ある。担当者は、大学以前の教育への導入は否定的である。ここでは、学習者が視聴覚メディアを（で）学習するさい、困った問題にぶつからないように、できるだけわかりやすい、マニュアルなどを作成することを試みる。その作成過程を通して、教育現場における視聴覚メディアの持つ意味、特に、わかりやすさとは何か、について考察する。

#### 内容

- 1．オリエンテーション
- 2．視聴覚メディアと教育方法の概説（1） 「視聴覚メディアと教育方法」の歴史、現状、課題について論じる。
- 3．視聴覚メディアと教育方法の概説（2） 教職採用試験で実際に出題された、教育方法の分野に関連する重要単語について、解説する。最初に、重要単語を学ぶことによって、当該分野のイメージを明確にしてもらう。
- 4．心理学的考察 わかりやすい表現を考えるさいの、色の使い方について、視覚心理学的な観点から考察する。聴覚心理学的影響についても考察する。
- 5．言語学的考察 わかりやすい表現を考えるさいの、色の使い方について、言語学的な観点から考察する。
- 6．福祉論的な考察 ユニバーサルカラーからの、色の使い方について、考察する。
- 7．数学的な考察 数学的な観点から色の塗り分けを考察する。2次元と3次元の場合の違いも考察する。
- 8．情報科学的な考察 情報科学的な観点から、色の作り方について、考察する。
- 9．立体物における色の考察 折り紙を使って立体的な構造物を作成するさいの、色の使い方について、考察をする。
- 10．立体物を作成するさいの表現 折り紙を使って立体的な構造物を作成するさいの、わかりやすい表現について、考察をする。
- 11、12．紙芝居の作成（1）（2） 紙芝居を実際に作成しながら、わかりやすい、「せりふ」について考察する。
- 13．立体的な絵本マニュアルの作成（1） マウスやキーボードを登場人物にしたキャラクターを作る。
- 14、15．立体的な絵本マニュアルの作成（2）（3） ストーリーを考案する。絵本マニュアルを作成する

#### 評価

毎回提出してもらうレポート、150点満点（15回×10点満点）で、90点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

科目名	教育とメディアB（発展）		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

幼児教育を目的としたマルチメディアによるオリジナル作品を制作します。

幼児教育とメディアに関する文献的研究、日本や欧米の幼児番組を見ての作品研究を経て、既成の絵本などを素材に音楽とナレーション、動画などによるマルチメディア作品を制作し、最終的に作品発表会というかたちでプレゼンテーションを行います。

また、作品の制作過程では音楽編集ソフト、映像編集ソフトなどの扱いも学ぶことになります。

なお、ピアノが弾ける、楽譜が読めるなどの音楽経験の有無は問いません。

#### 内容

1	ガイダンス / ・コースの内容・このコースを受講してできるようになること・ルール
2	文献研究 / 幼児教育とメディア 小レポート提出
3	作品研究 / 日本やアメリカなどの幼児番組を見る 小レポート提出
4	素材選び、構成 / 絵本などの素材を選び、完成までのスケジュールを作成 提出
5	映像素材制作（1）
6	映像素材制作（2）
7	音楽制作（1）
8	音楽制作（2）
9	音楽制作（3）
10	ナレーション録音
11	マルチメディア編集（1）
12	マルチメディア編集（2）
13	マルチメディア編集（3）
14	プレゼンテーション（1）
15	プレゼンテーション（2）

#### 評価

出席...60% 作品、レポート...40%

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦書；幼児音楽教育ハンドブック / 全国大学音楽教育学会

科目名	児童文学論A（日本文学 基礎）		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

魔術のような、現実世界ではありえないような論理が通用し、想像上の生物が活躍するファンタジー文学は、児童文学と深い関わりを持ってきました。この授業では、ファンタジー文学とは何かということを考え、日本におけるファンタジー文学の系譜を辿ったうえで、それが児童文学とどのように関わるのかを考えたいと思います。そのうえで、具体的に日本のファンタジー文学作品を取り上げて読み解きます。関連した児童文学作品や神話・昔話・伝説などや、参考文献を授業時間以外に読む意欲を持って受講してください。

#### 内容

- （１）イントロダクション
- （２）ファンタジー文学とは何か
- （３）児童文学とファンタジー文学
- （４）日本のファンタジー文学の系譜（その一）
- （５）日本のファンタジー文学の系譜（その二）
- （６）角野栄子「魔女の宅急便」（その一）
- （７）角野栄子「魔女の宅急便」（その二）
- （８）上橋菜穂子「狐笛のかなた」（その一）
- （９）上橋菜穂子「狐笛のかなた」（その二）
- （10）上橋菜穂子「精霊の守り人」（その一）
- （11）上橋菜穂子「精霊の守り人」（その二）
- （12）荻原規子「空色勾玉」（その一）
- （13）荻原規子「空色勾玉」（その二）
- （14）アニメとファンタジー文学
- （15）まとめ

講義内容は必要に応じて変更することがあります。

#### 評価

レポート60%、授業時の小レポートなど平常点30%、出席点10%の配分で評価します。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキストは開講時に指示します。参考文献は授業中必要に応じて紹介します。取り上げる予定の作品はできるだけ事前に読んでおいてください。



科目名	児童文学論D（欧米文学 発展）		
担当教員名	藤野 紀男		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

英語を勉強する目的は英語コミュニケーション能力の習得にありますが、そのためには英語の背景文化を理解することが欠かせません。そして、この背景文化の中では聖書、シェークスピア、マザーグースが三大基本要素とされています。

そこでこの口座ではマザーグースに関するさまざまな面を取り上げながら、どうしてマザーグースが英米人にとってそんなに重要な存在となっているのかを理解して貰うことを目標とします。

#### 内容

実のところマザーグースは英米人の言語感覚と生活感覚の根幹のところを押さえているものです。その上、間口は広く奥行きは深く、また千変万化の様相を呈しているのです。以下のような項目を通じて少しでもその実態に迫りたいと考えています。

- 第 1週 オリエンテーション 文学としての位置
- 第 2週 マザーグースとは何か（1） 'マザーグース'の由来と背景
- 第 3週 マザーグースとは何か（2） 'マザーグース'と'ナーサリーライムズ'
- 第 4週 マザーグースの多様さ（1） 分類と代表例
- 第 5週 マザーグースの多様さ（2） 'わらべ唄'との比較
- 第 6週 マザーグースの特徴 残酷とナンセンス
- 第 7週 マザーグースの日常性（1） 新聞、雑誌、小説などの用例から
- 第 8週 マザーグースの日常性（2） マンガ、音楽、映画などの用例から
- 第 9週 マザーグースのイラスト（1） イラストレーターとイラストの歴史
- 第10週 マザーグースのイラスト（2） イラストの問題
- 第11週 マザーグースの紹介（1） 紹介の歴史
- 第12週 マザーグースの紹介（2） 誤訳と悪訳
- 第13週 マザーグースとイギリス（1） 王室と歴史的な出来事
- 第14週 マザーグースとイギリス（2） 地誌と背景
- 第15週 マザーグースとイギリス（3） 歳事と年中行事

#### 評価

レポートの評価を70点、平常点を30点の合計100点で評価し、60点以上を合格とします。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】『図説 マザーグース』（藤野紀男、河出書房新社） 1800円（+税）

科目名	インターンシップ		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

インターンシップとは、学生が企業等において実習・研修的な就業体験をする制度のことである。大学における社会につながる人材育成の一環として、社会の変化や産業界のニーズに対応し、社会における能力発揮を目的とし、社会とのつながりを考えられる力を育成する。

インターンシップを活用し、職業活動なども視野に入れ、学生自らが職業適性や将来設計について考える貴重な機会としてほしい。

#### 内容

##### 1. 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種を限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的にあったものを行う。学生は企業でのインターンシップの学習プログラムにそって研修を行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味から実習に対しては無報酬が原則。

##### 2. 実施手順

ガイダンス - 5月上旬に実施されるガイダンスで詳細の説明を行う。参加希望者は必ず出席すること。

実施 - 夏季休暇期間中（前期）、または春季休暇期間中（後期）を中心に約2週間（実質10日、実労60時間以上）

研修を行う。尚、休暇期間以外のインターンシップに参加する際は、ゼミ教員、または、担任教員に事前に相談すること。

申込 - キャリアセンターが受入先の情報提供を行うが、学生が自己開拓で企業を探すことも可能。受入先が確定次第、「インターンシップ申込書」をキャリアセンターに提出。

事前指導 - キャリアセンターがビジネスマナーなどの事前指導を行う。

担当教員 - 2年生はクラス担当教員、3・4年生はゼミ担当教員が期間中に訪問し、巡回指導を原則行う。

##### 3. 実施例

埼玉県庁、新座市役所、戸田市役所、日立製作所、リコー販売、オンワード樫山、蓼科情報、志正堂、  
 広告社、プリンスホテル、ベルク 他

#### 評価

学生 - 学習の成果をレポートにまとめる。インターンシップ終了後2週間以内に「科目追認願」を教務課に提出し、科目登録を行う。

受入先 - 受入先の担当責任者から実習内容の評価を記した「評価表」を徴求する。又、実施期間中に教員が受入先を訪問する巡回指導を原則行い、実施状況をとらえる。

以上、学生のレポート（40点）、受入先評価（40点）、教員による巡回指導の状況確認（20点）を総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

科目名	インターンシップ		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年		ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

インターンシップとは、学生が企業等において実習・研修的な就業体験をする制度のことである。大学における社会につながる人材育成の一環として、社会の変化や産業界のニーズに対応し、社会における能力発揮を目的とし、社会とのつながりを考えられる力を育成する。

インターンシップを活用し、職業活動なども視野に入れ、学生自らが職業適性や将来設計について考える貴重な機会としてほしい。

#### 内容

##### 1. 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種を限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的にあったものを行う。学生は企業でのインターンシップの学習プログラムにそって研修を行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味から実習に対しては無報酬が原則。

##### 2. 実施手順

ガイダンス - 5月上旬に実施されるガイダンスで詳細の説明を行う。参加希望者は必ず出席すること。

実施 - 夏季休暇期間中（前期）、または春季休暇期間中（後期）を中心に約2週間（実質10日、実労60時間以上）

研修を行う。尚、休暇期間以外のインターンシップに参加する際は、ゼミ教員、または、担任教員に事前に相談すること。

申込 - キャリアセンターが受入先の情報提供を行うが、学生が自己開拓で企業を探すことも可能。受入先が確定次第、「インターンシップ申込書」をキャリアセンターに提出。

事前指導 - キャリアセンターがビジネスマナーなどの事前指導を行う。

担当教員 - 2年生はクラス担当教員、3・4年生はゼミ担当教員が期間中に訪問し、巡回指導を原則行う。

##### 3. 実施例

埼玉県庁、新座市役所、戸田市役所、日立製作所、リコー販売、オンワード樫山、蓼科情報、志正堂、廣告社、プリンスホテル、ベルク 他

#### 評価

学生 - 学習の成果をレポートにまとめる。インターンシップ終了後2週間以内に「科目追認願」を教務課に提出し、科目登録を行う。

受入先 - 受入先の担当責任者から実習内容の評価を記した「評価表」を徴求する。又、実施期間中に教員が受入先を訪問する巡回指導を原則行い、実施状況をとらえる。

以上、学生のレポート（40点）、受入先評価（40点）、教員による巡回指導の状況確認（20点）を総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

科目名	キャリアサポート		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

大学教育とその後の社会人としてのキャリア形成を支援するために、キャリアサポート では就職活動に関わる具体的な基礎力向上を目指した授業を行う。就職活動においてSPIや一般常識は重要な第一歩であり、それをクリアーすることは必要条件となる。こうした基礎知識を、解説を含めてわかりやすく学習し、基礎力向上につなげる。就職活動に必要な学習であるので、多くの学生が受講することが望まれる。

#### 内容

1. SPI概要-SPIとは、SPIの考え方、使われ方など

2. 非言語分野の学習

年齢算、仕事算、旅人算、流水算

グラフ・領域、資料解釈、空間把握

順列組み合わせ、確率、n進法

運動力学など

3. 言語分野の学習

同意語、反対語、ことわざ・慣用句

包含関係、行為関係、原料関係、用途関係

複数の意味、長文問題など

各ステージで言語、非言語の両分野を事例にもとづき解説する。

#### 評価

出席状況(60点)、小テスト(20点)、試験(20点)をもとに総合的に評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業時に紹介

科目名	キャリアサポート		
担当教員名	岡本 卓、若山 皖一郎、設楽 優子、大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

大学時代は自分が社会とどのようなつながりを持つか、それを探る重要な時期である。社会と関わる力やイメージを、具体的に社会で活躍する人々の話を通して学んでいくこのキャリアサポート（社会人入門）では、社会人として様々な領域、立場で仕事や活動をする人々に登場してもらい、行き方や仕事とどのようにかかわり地域で、社会で、職場で活動している様子を語ってもらう。多様に活動する社会人たちの状況を知ることから、社会生活、キャリアについての自己イメージを高め、就職活動への積極的な取り組みにつなげると同時に、社会に進出する大学生としてのキャリアプランや職業イメージを高めることに役立てて欲しい。

#### 内容

##### 第1・2回

社会人として登壇する人々の具体的なプログラム紹介。同時に、話をより有効に聞くために、その辞典での自己分析や自分のキャリアプランを想定してみる。自分自身のウォーミングアップを行う。

##### 第3回以降

様々な領域、立場で活動する社会人が登壇（下記例示。具体的なプログラムは第1回に紹介）。大学生時代、社会とのかかわり、職業や人との出会い、転職や結婚・子育てとの両立など、歩んできた行き方を語る。

- ・地域・国際ボランティアで活動する人
- ・情報に関して企業を起こした起業家
- ・ファミリー・フレンドリー企業で働く女性/仕事と家庭両立の制度利用
- ・SE職や販売・営業職として
- ・広告制作など企画部門に関わる
- ・企業管理職の立場から
- ・マスコミ関係者
- ・企業内の開発グループや事務職

第1回に行った自分のキャリアプランが社会人の話を聞いてどのように変化したかを捉える。

#### 評価

出席状況（50点）、登壇者の話に基づく「気づきレポート」の提出（40点）、最後のレポート（10点）を総合して評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に紹介

科目名	演習		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

演習は、一人ひとりのゼミ生が“ 主役 ” “ 主人公 ” である。各ゼミ生が今、テレビが抱える様々な課題に対して自分なりの問題意識を持って向き合う=テレビを見ることから始まる。

テレビは、インターネットに追い上げられながらも人々が真に必要とする社会装置としての地位を維持し続けているか。社会装置としてのテレビは、「快適なもの」として人々に受け入れられているか。テレビが提供する情報や番組は、視聴者の疑問や批判にきちんと応えているか。テレビの娯楽番組は本当に人々に笑いや楽しみ、癒しをもたらしているか。豊かな生活に役立っているか。例えば、このような問題意識をもって日々のテレビを見ることから始まる。

各ゼミ生は、テレビを通して感知した関心分野からそれぞれ研究テーマを選び出し、自分なりの「テレビ論」「ジャーナリズム論」にまとめ上げ、最終学年での卒論執筆につなげていく。そのためにもゼミ生には出来るだけ多くの、しかも優れた(と評判の)番組を見ることを求める。

卒業研究で執筆する卒論は、必ずしもテレビや放送、ジャーナリズムに直結したテーマでなくてもよい。世界には、日本には様々な問題が山積している。それらの問題を直視し、卒業研究として取り組むことは、むしろ歓迎するものである。

#### 内容

とにかくテレビを見ること。ただ漫然と見るのではなく、考えながら見るのが重要。例えば、「もし、自分が番組のディレクターだったら」「もし、現場に派遣されたレポーターやカメラマンだったら」という仮説を立ててテレビを見る、そして考える、ということである。

テレビやジャーナリズム、時事問題を扱った本や雑誌をできるだけ沢山読むこと。  
つまり、次のようなゼミになれば大成功。

テレビを見る 新聞・本・雑誌を読む(=テレビ以外のメディアがどのように書いているかを調べる=メディア間の比較が重要) 考える ゼミで議論する 自分の問題意識を確認・修正 論文執筆の準備

#### 評価

出席・意見発表・調査・資料収集=70点 レポート提出(随時)=30点 計100点 60点以上が合格

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書はない。参考図書は授業中に随時紹介する。

科目名	演習		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Jクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ユニバーサルデザイン、ヒューマンインタフェースの分野について学ぶ。コンピュータなどの道具よりも道具を使う人間を中心に考え、人間に優しい道具のデザインを考える。よりわかりやすく言うと、年齢、性別、障害の有無などに関わらず、日常の全ての道具を、使う人間にとって使いやすく、わかりやすい、学びやすい道具のデザインを考える。さらに言えば、遊園地にいるかのように、人間が思わず使いたくなる楽しい道具のデザインにすることを狙う。単なる思い付きではなく、人間の心理過程の考察に基づき、道具のデザインについて考える。

#### 内容

##### 1. 研究

各自が選択した研究テーマについて考察を進め、論文や試作品を作成する。

世の中には、使いにくい道具、わかりにくい表現があふれている。自分の興味のある道具や表現などを一つ選択し、そのテーマについて、人間の心理過程の考察を行ない、道具のデザインについて考える。学習、思考といった高次認知機能だけではなく、視聴覚機能、運動機能、まで含めて総合的な考察を行なう。例えば、高齢者が情報機器の使い方を学習する場合に生じる問題、がある。

##### 2. コミュニケーション

自分一人で自分の研究テーマについて考察を進めるだけではなく、他の学生の研究テーマの発表を聞いて、積極的にコメント、質問をして欲しい。それによって、他の学生の研究を促進させる、自分の研究を別の角度から考察するきっかけとして欲しい。

#### 評価

提出してもらった論文で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	演習		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

言語学の研究領域のうち、形態論、統語論、意味論、語用論を中心に基本的な文献を読むことに加え、資料を集め、整理・分析するといった作業を通して、ことばを科学的に分析する力を養います。この演習を通して各自興味のあるテーマを見つけ、4年次の卒業研究につながるようにします。

2年次に専門科目の「ことばの心的メカニズムA(前期)」を履修していない学生は、3年次に履修してください。

#### 内容

基本文献の内容をレポーターが報告し、全員で問題点を検討するという形式で演習を行います。また、コーパスを使った資料の検索の方法、インフォーマントチェックの方法を実際の作業を通して身につけることも行いたいと思います。

#### 評価

下記の割合で点数化し、60%以上の得点を合格とします。

- (1) 期末レポート： 50%
- (2) 平常点(毎授業での発表)： 30%
- (3) 出席点： 20%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で指示します。



科目名	演習		
担当教員名	佐藤 公正		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Eクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

新聞、テレビ、雑誌、インターネットなど多様なメディアが伝える情報はどこまで事実で、また真実なのでしょうか。このゼミでは、マスメディアの機能と役割を考察し、とくに新聞を中心とした報道ジャーナリズムの現状を具体的な事例の考察を通じて、またテレビ報道との対比も試みながら「情報を賢く、批判的に読み解く」能力を高めることをめざします。同時に、情報の受け手としてだけでなく、送り手としての能力を身につけるため、プレゼンテーションなど自己表現の基礎的な技法も訓練します。

4年の卒業研究は、以上のねらいと下記の内容に沿って各自がテーマを選び、論文にまとめることになります。したがって3年の演習 ・ と4年の卒業研究 ・ は連続した学習研究活動ですから、それぞれの科目シラバスを参照して計2年間のゼミ内容を理解しておく必要があります。

#### 内容

1. このゼミでは、履修生の自主的な活動を求め、その興味関心にこたえて、運営方法や内容を組み立てています。
2. 演習 では、日本のマスメディアの歴史、現状と課題、新聞の機能、出版、広告などのマスコミ全般の状況について参考図書の輪読などを通じて大づかみに学びます。この際、各自の報告と相互の議論をもとに進めていきます。さらに、具体的な事例に即して分析を深めます。
3. 新聞記事を中心にニュースの読み取り方と情報収集・分類整理、利用の方法を身につけ、並行して論文作成の基本的な技法を理解します。
4. 演習 では、以上を基礎に卒業研究のテーマ選択に向けて、資料・文献の収集や実証的な調査の下準備にとりかかり、テーマを決定します。
5. 参考までに卒業研究の分野やテーマの実例をあげると、報道と人権、各新聞社の「社論」の差異、誤報と訂正、調査報道、新聞とネット、テレビと新聞の報道比較、全国紙と地方紙、戦争報道、記者クラブ、情報操作、テレビ番組、雑誌や書籍の出版物、漫画やアニメ、広告、ケータイネットなど多くの課題が想定されます。それぞれに興味ある事例を見つけて、次第に実証的な研究の方向を絞り込んでいきます。
6. 卒業研究の対象は、活字メディアにとどまる必要はなく、その他幅広くマスメディア全般について取りあげることができます。

日々の新聞報道にきちんと目を通しておくことを責務とします。3年の演習では毎回、直近のニュースを題材に3分間報告を求めます。

夏合宿のほか、日本新聞博物館や新聞社などの見学を予定しています。

3年の12月末までに卒業研究のテーマを絞り、学年末までに決定すること。

#### 評価

課題に対するレポート60点、ゼミでの報告発表40点とし、総計60点以上を合格とします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

それぞれの関心テーマと議論内容に応じて随時、必要な文献図書、資料などを紹介します。

科目名	演習		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Kクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この演習では、日本語の変化やバリエーションなど言語研究を通しての専門的知識獲得と、社会に出てから必要とされる「自ら問題を発見し、解決する能力」を身につけることを目標とします。

方言調査旅行研修や新語流行語の収集分析など実際にフィールドワークを行いながら自ら発信できるオリジナルコンテンツ(就活での自己PRの内容)を作ります。Mind-Map思考法、プレゼンテーションなどPCを用いた技能も併せて身につけ、言語化、可視化の訓練を行います。自らの変化を希望しそれに向かって努力する学生をサポートし育てます。体験重視型自己成長促進ゼミを目指します。ゴールは「人としての素敵さの獲得!」です。

#### 内容

- 第1回 自己分析と現状分析
- 第2回 言語研究とは何か
- 第3回 プレゼンテーション、レジメ、論文作成法
- 第4回 自己分析の実際
- 第5回 プレゼンテーション1
- 第6回 プレゼンテーション2
- 第7回 フィールドワーク方法論1
- 第8回 フィールドワーク計画
- 第9回 ライフビジョンとキャリアビジョン
- 第10回 調査データ分析法
- 第11回 目標設定と達成のための方法
- 第12回 研究計画作成1
- 第13回 ライフビジョン・キャリアビジョン作成1
- 第14回 研究計画作成2
- 第15回 ライフビジョン・キャリアビジョン作成2

#### 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」をメールで送信。 日常出席まとめ感想メール...1~7ポイント(提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題...3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度]課す) 最終課題or試験...5~10ポイント 合計ポイントと評価...D<60 C<70 B<80 A (4回以上の欠席は受講放棄とみなします)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	演習		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Mクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

脳はすべての身体機能を制御しています。私たちのもとも基本的な行動(食べる、寝る、体温を保つなど)を制御し、最も進化した行動、文学や音楽、美術や科学、言語の創造までもつかさどっています。こうした機能はどのようにして可能なのでしょう。

私たちの希望や思想、感情や個性、これらもすべて脳の中に宿っています。

では、これらはどうして表に現れるのでしょうか。また、私たちがコーヒーを飲みながら音楽を聴き、携帯メールを送信するとき、頭はどのような働きをしているのでしょうか。

#### 内容

1. 言語的知性とは
2. 言語的知性の性質
3. 絵画的知性
4. 絵画を観る脳
5. 空間的知性
6. 空間を把握する脳
7. 論理数学的知性
8. 論理数学と脳
9. 音楽的知性と脳
10. 身体運動的知性と脳
11. 社会的知性
12. 社会的知性と脳
13. 感情的知性
14. 感情的知性の発達と脳
15. まとめ

#### 評価

出席とレポート

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業が始まってから指定

科目名	演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年		ク ラ ス	1Lクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

----演劇とは何か---

演劇とは何かを考えるには、演劇を成立させる、演劇の構成要素から考察をはじめする必要があります。演劇の構成要素とは、演じる人(俳優)、見る人(観客)、演じられる場所(劇場空間)、演じられるもの(アクション)であり、その中で最も重要なのは、もちろん「演じられるもの」です。舞台で何が演じられるか、すなわちどのようなアクションが起こるのかを検討すれば、演劇が社会といかに深く関わり、人々に影響を与えてきたかが見えてきます。

そこで、本演習では、演劇の基本文献書を輪読することによって、学生各自が卒業研究に向けて、演劇をどのように捉えればよいのかを考える一助としたいと考えています。

## 内容

演劇理論の発端といえるアリストテレスの『詩学』を輪読します。『詩学』の悲劇論を検討しながら、演劇の本質を検討します。レポーター制を採用し、各自の担当個所のレジюмеを作成し発表した上で、みんなで討論していきます。

## 評価

平常点(50%)、レポート(50%)。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

アリストテレス、ホラーティウス著、松本仁輔・岡道男訳『アリストテレス詩学・ホラーティウス詩論』(岩波文庫)、岩波書店、¥ 840

科目名	演習		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Gクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

言語音声やその習得について自分なりの疑問・問題を発見し、仮説をたて、事実を観察したり実験を行ったりし、結論を出し、それを文章で表現することを通して、自分で思考する練習をする。

## 内容

もし言語音声に関連する科目である「ことばの心的メカニズムB」(前期)をまだ履修していなければ、演習Iと並行して履修してほしい。

本科目は、演習IIと合わせて4年次の卒業研究へとつなげられるようにしたい。

【3年次前期】： 紙のノート(ルースリーフでないほうが望ましい)でもパソコンのファイルのプリントアウトでも良いので、ゼミ研究ノートをつける。このようなノートは、就職活動でゼミでは何をしているかと聞かれたときに役立つであろう。ゼミ担任と関心が合わない場合は、ゼミ研究ノートは自分の関心に沿ったことだけを書いてもよい。

前年度の演習Iでは英語の絵本で朗読CDがついているものを使って、英語の学習を兼ねて朗読の練習をした。

なお、設楽ゼミではこれまで懇親会や旅行を催して、協力関係を育てている。就職活動を前に、基礎的な学力の養成にも力を入れたい。

【3年次夏休み】： シラバスで「演習II」の内容を参照のこと。

## 評価

研究日誌を40点、授業中に確かめるゼミへの積極的な参加度を30点、出席点を30点として、合計60点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教材】プリントの予定。

【推薦書】Mitch Albom朗読CD、Tuesdays with Morrie: and old man, a young man, and life's greatest lesson, Time Warner AudioBooks.

DVD 『モリー先生との火曜日(Tuesdays with Morrie)』(1999), (株)トランスフォーマー発売(絶版)  
斎藤兆史著、『こころの音読』CDつき、講談社インターナショナル

科目名	演習		
担当教員名	島村 豊博		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Fクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

優れた小説が面白いのはなぜでしょう。小説は人間を問題にします。ですから、小説を読む面白さとは、人生について、人間についての面白さです。わたしたちは一度の人生しか歩めません。そこでの経験は限られています。小説を読めば、自分以外の、まとまりのある個別的な人生を経験することができます。小説の中の人物の追体験をすることで、彼らと感情を共有し、人間についての知識を蓄え、彼らと同じように喜んだり、哀しんだりしながら、その完結した物語に感動するのです。虚構の世界での経験ではありますが、これが現実のわれわれに影響を与えないわけがありません。一冊の小説がその人の一生を決定づけることだって珍しくはありません。

小説家は社会の制約や既成の道徳にとらわれない、新しい人間像を示そうとします。常に人間の自由、解放を目指すからです。ですから小説は人生の新しい経験をわたしたちに与えてくれます。わたしたちの現実生活の中の不純物を取り除いたかたちで、そのエッセンスだけをわかりやすいかたちで与えてくれます。ところでこうした新しい人間像を示すには、人物造型に新しい描き方、新しい方法が必要になります。作家はこの新しい方法を見つけ出すことに精魂を傾けます。新しい人物像に新しい描き方がぴったり合ったときは、そこに調和のとれた美的世界が出現し、わたしたちは知的充足感とともに美的快感に酔うことができるのです。こうした小説の機能をイギリス小説で検討します。

#### 内容

1. 19世紀以降のイギリス小説の流れを俯瞰します。
2. イギリス文学には優れた女流作家が多いが、男性原理の支配する社会の中で、家庭内を唯一の自己表現の場としていた女性たちが、いかにして自己に目覚め、魂の自由をもとめ、ついには自己実現の達成に至るのかを、オースティン、ブロンテ姉妹、ジョージ・エリオット等で検証します。
3. 20世紀のE・M・フォースター、D・H・ロレンス、ヴァージニア・ウルフ等とモダニズムの関係をとらえつつ、これらの作家によっていかなる新しい人間像が提示されているのかを考えます。
4. これらの作家を中心にしてその代表作を個別に取り上げ、作家の伝記的事実、作品鑑賞、評価の面から皆で論じ合います。この過程を通して卒業研究へと対象を絞り込むようにします。
5. 論文の書き方については、(1)そもそも論文とはどんなものが、(2)なぜ書くのか、(3)テーマはどうして選ぶのか、(4)作品をどう読むのか、(5)参考資料はどのように集め、利用するのか、(6)論文をどのような手順と形式で書くのか、などの観点から扱います。

#### 評価

以下の割合で点数化し、60点以上を合格とします。

レポート提出：40%、発表：40%、出席点：20%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要に応じてプリントを配布します。参考図書は授業時間に随時指示します。

科目名	演習		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

本来芸術表現の一分野である身体表現は、人間の精神面、身体面を同時に発育調和させる最適な運動文化である。

また、身体表現・ダンスは身体を動かすことで各人の思想や感情を表現することであるが、日常にも様々な「種」がごろがっている。

そこで、このゼミでは、「からだ」「こころ」「スポーツ」「健康」「表現」「生活」など、様々なキーワードをもとに、ダンスから大きな意味での身体表現までアプローチしていく。

更に、人間として生きていく上で大切にしていきたいものをきちんと個々の立場から見つめ、今から一歩でも二歩でもステップアップした女性をみざして、そのためには何をすべきか、自ら考え、自己をプロデュースする力をつけられるようにしていくことも目指している。

#### 内容

- 1) オリエンテーション(自己紹介、面接等)
- 2) 様々なキーワードをもとに、自らの卒論にするべきテーマを探す
- 3) 提示された本の中から、自ら選択し、それらの内、最も他のゼミのメンバーに紹介したい項目を提示し、その理由を説明  
それをもとにゼミのメンバーで議論する
- 4) 様々なジャンルのダンスに挑戦
- 5) 桐華祭における身体表現発表を企画段階からプロデュースし、そのための必要な情報や技術、コンテンツを準備する  
(実技から裏方の準備まで)

#### 評価

出席60% 準備、調査、発表40% その他議論の際の発言や、準備や発表に対する姿勢など総合的に評価する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜授業内で提示する



科目名	演習		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

自然の中で起こること - 太陽の運行、地球の環境、動物や植物の暮らし - などを対象にする学問を自然科学という。自然を観察したり、客観的な実験をしたりして一般的な“きまり”を見つけることが自然科学の主題になる。得られた結論は、多くの場合、誰が再調査・再実験しても同じ結論となる。演習では、自然に関して問題意識を持とう。ゆくゆくは卒業研究につなげることを念頭に置きながら、様々なメディアを通して自分の興味を探そう。

#### 内容

まず自然に関して問題意識をもつことが重要である。考えられるメディア、例えば、科学雑誌、新聞テレビ(ビデオまたはDVD)、博物館・科学館等、ネットワーク上の情報などを通して、自分の興味・テーマを探そう。テーマを見つけることができれば、そのことに関してさらに文献を調べて詳しく学ぼう。

演習 では、皆で調べたことを発表し合い、議論し理解を深めよう。プレゼンテーションは、自分の考えをまとめるよい機会になる。また、議論をすることにより、自分の調べたことに関しての過不足に気づくであろう。他人の発表は、自分にとって視野を広げるよい機会になると考える。

#### 評価

提出物等50%、プレゼンテーション・討議等授業への参加度50%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	演習		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Hクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

担当教員の専門である、国際マスコミュニケーションやグローバル・ジャーナリズムについて、講義では詳しく説明できなかった部分を、ビデオ、インターネット、現地で蒐集した資料などを見せながら、より深く学んでいきます。その中で、各人が4年時の卒業研究につながる自分のテーマを見つけるよう、はなむけすることが狙いです。

#### 内容

各人の関心に沿った基本文献の読み込みを中心に、ビデオ、時には映画などをみんなで見ながら、卒業論文のテーマを絞っていきます。と同時に、「マスメディアやマスコミをどのようにすれば研究できるか」という方法論を身につけてもらいます。具体的なテレビ番組や新聞などを使いながら、グループで調べ、発表し、議論します。夏休みには合宿を行い、各人の卒論テーマ案を発表してもらいます。

#### 評価

ゼミでの議論(60%)および提出物(40%)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	演習		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

演習は、一人ひとりのゼミ生が“ 主役 ” “ 主人公 ” である。各ゼミ生が今、テレビが抱える様々な課題に対して自分なりの問題意識を持って向き合う=テレビを見ることから始まる。

テレビは、インターネットに追い上げられながらも人々が真に必要とする社会装置としての地位を維持し続けているか。社会装置としてのテレビは、「快適なもの」として人々に受け入れられているか。テレビが提供する情報や番組は、視聴者の疑問や批判にきちんと応えているか。テレビの娯楽番組は本当に人々に笑いや楽しみ、癒しをもたらしているか。豊かな生活に役立っているか。例えば、このような問題意識をもって日々のテレビを見ることから始まる。

各ゼミ生は、テレビを通して感知した関心分野からそれぞれ研究テーマを選び出し、自分なりの「テレビ論」「ジャーナリズム論」にまとめ上げ、最終学年での卒論執筆につなげていく。そのためにもゼミ生には出来るだけ多くの、しかも優れた(と評判の)番組を見ることを求める。

卒業研究で執筆する卒論は、必ずしもテレビや放送、ジャーナリズムに直結したテーマでなくてもよい。世界には、日本には様々な問題が山積している。それらの問題を直視し、卒業研究として取り組むことは、むしろ歓迎するものである。

#### 内容

とにかくテレビを見ること。ただ漫然と見るのではなく、考えながら見るのが重要。例えば、「もし、自分が番組のディレクターだったら」「もし、現場に派遣されたレポーターやカメラマンだったら」という仮説を立ててテレビを見る、そして考える、ということである。

テレビやジャーナリズム、時事問題を扱った本や雑誌をできるだけ沢山読むこと。  
つまり、次のようなゼミになれば大成功。

テレビを見る 新聞・本・雑誌を読む(=テレビ以外のメディアがどのように書いているかを調べる=メディア間の比較が重要) 考える ゼミで議論する 自分の問題意識を確認・修正 論文執筆の準備

#### 評価

出席・意見発表・調査・資料収集=70点 レポート提出(随時)=30点 計100点 60点以上が合格

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書はない。参考図書は授業中に随時紹介する。

科目名	演習		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Jクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ユニバーサルデザイン、ヒューマンインタフェースの分野について学ぶ。コンピュータなどの道具よりも道具を使う人間を中心に考え、人間に優しい道具のデザインを考える。よりわかりやすく言うと、年齢、性別、障害の有無などに関わらず、日常の全ての道具を、使う人間にとって使いやすく、わかりやすい、学びやすい道具のデザインを考える。さらに言えば、遊園地にいるかのように、人間が思わず使いたくなる楽しい道具のデザインにすることを狙う。単なる思い付きではなく、人間の心理過程の考察に基づき、道具のデザインについて考える。

#### 内容

##### 1. 研究

各自が選択した研究テーマについて考察を進め、論文や試作品を作成する。

世の中には、使いにくい道具、わかりにくい表現があふれている。自分の興味のある道具や表現などを一つ選択し、そのテーマについて、人間の心理過程の考察を行ない、道具のデザインについて考える。学習、思考といった高次認知機能だけでなく、視聴覚機能、運動機能、まで含めて総合的な考察を行なう。

例えば、高齢者が情報機器の使い方を学習する場合に生じる問題、がある。

##### 2. コミュニケーション

自分一人で自分の研究テーマについて考察を進めるだけでなく、他の学生の研究テーマの発表を聞いて、積極的にコメント、質問をして欲しい。それによって、他の学生の研究を促進させる、自分の研究を別の角度から考察するきっかけとして欲しい。

#### 評価

提出してもらった論文で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	演習		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

言語学の研究領域のうち、形態論、統語論、意味論、語用論を中心に基本的な文献を読むことに加え、資料を集め、整理・分析するといった作業を通して、ことばを科学的に分析する力を養います。この演習を通して各自興味のあるテーマを見つけ、4年次の卒業研究につながるようにします。

2年次に専門科目の「ことばの心的メカニズムA(前期)」を履修していない学生は、3年次に履修してください。

#### 内容

各自興味・関心のあるトピックについて先行文献を読み、資料を集め、整理・分析するといった作業を行い、レポートを書きます。

#### 評価

下記の割合で点数化し、60%以上の得点を合格とします。

- (1) 期末レポート： 50%
- (2) 平常点(毎授業での発表)： 30%
- (3) 出席点： 20%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で指示します。

科目名	演習		
担当教員名	佐藤 公正		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

新聞、テレビ、雑誌、インターネットなど多様なメディアが伝える情報はどこまで事実で、また真実なのでしょうか。このゼミでは、マスメディアの機能と役割を考察し、とくに新聞を中心とした報道ジャーナリズムの現状を具体的な事例の考察を通じて、またテレビ報道との対比も試みながら「情報を賢く、批判的に読み解く」能力を高めることをめざします。同時に、情報の受け手としてだけでなく、送り手としての能力を身につけるため、プレゼンテーションなど自己表現の基礎的な技法も訓練します。

演習 ・ との連続した研究活動として4年の卒業研究 ・ があり、以上のねらいと下記の内容に沿って各自がテーマを選んで論文にまとめることになります。

#### 内容

1. 演習 に引き続いて、履修生の自主的な活動を求め、その興味関心にこたえて、運営方法や内容を 組み立てます。
2. 演習 で理解した日本のマスメディアの歴史、現状と課題、新聞の機能、出版、広告などのマスコミ全般の状況、論文作成の基本的な技法を再確認します。
3. 卒業研究のテーマを決めるため、広く資料・文献の収集や実証的な調査を進めます。
4. それぞれのテーマに応じて、次第に個別指導に入っていきます。
5. 卒業研究の対象については、演習 のシラバスで詳述してありますが、活字メディアにとどまる必要はなく、その他幅広くマスメディア全般について取りあげることができます。

日々の新聞報道にきちんと目を通しておくことを責務とします。演習 に続きプレゼンテーションの 訓練として随時、直近のニュースを題材に3分間報告と議論を求めます。

3年の12月末までに卒業研究のテーマを絞り、学年末までに決定すること。

#### 評価

課題に対するレポート60点、ゼミでの報告発表40点とし、総計60点以上を合格とします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

それぞれの関心テーマと議論内容に応じて随時、必要な文献図書、資料などを紹介します。

科目名	演習		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Kクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この演習では、日本語の変化やバリエーションなど言語研究を通しての専門的知識獲得と、社会に出てから必要とされる「自ら問題を発見し、解決する能力」を身につけることを目標とします。

方言調査旅行研修や新語流行語の収集分析など実際にフィールドワークを行いながら自ら発信できるオリジナルコンテンツ(就活での自己PRの内容)を作ります。Mind-Map思考法、プレゼンテーションなどPCを用いた技能も併せて身につけ、言語化、可視化の訓練を行います。自らの変化を希望しそれに向かって努力する学生をサポートし育てます。体験重視型自己成長促進ゼミを目指します。ゴールは「人としての素敵さの獲得!」です。

#### 内容

- 第1回 自己分析と現状分析
- 第2回 言語研究とは何か
- 第3回 プレゼンテーション、レジメ、論文作成法
- 第4回 自己分析の実際
- 第5回 プレゼンテーション1
- 第6回 プレゼンテーション2
- 第7回 フィールドワーク方法論1
- 第8回 フィールドワーク計画
- 第9回 ライフビジョンとキャリアビジョン
- 第10回 調査データ分析法
- 第11回 目標設定と達成のための方法
- 第12回 研究計画作成1
- 第13回 ライフビジョン・キャリアビジョン作成1
- 第14回 研究計画作成2
- 第15回 ライフビジョン・キャリアビジョン作成2

#### 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」をメールで送信。 日常出席まとめ感想メール...1~7ポイント(提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題...3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度]課す) 最終課題or試験...5~10ポイント 合計ポイントと評価...D<60 C<70 B<80 A (4回以上の欠席は受講放棄とみなします)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	演習		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Mクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

脳の持つ機能を知り、1 言語的、2 絵画的、3 空間的、4 論理数学的、5 音楽的、6 身体運動的、7 社会的、8 感情的の八種類の知性の働きを分類していく。

内容

後期は前期の内容を発表形式に移して行う

1. 言語的知性とは
2. 言語的知性の性質
3. 絵画的知性
4. 絵画を観る脳
5. 空間的知性
6. 空間を把握する脳
7. 論理数学的知性
8. 論理数学と脳
9. 音楽的知性と脳
10. 身体運動的知性と脳
11. 社会的知性
12. 社会的知性と脳
13. 感情的知性
14. 感情的知性の発達と脳
15. まとめ

評価

出席 レポート

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

ゼミ内で指定する



科目名	演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年		ク ラ ス	2Lクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

戯曲が、発表された時代に人々にどのような影響を与えたのか、社会とどのようなつながりがあったのかなどを、西洋の代表的な戯曲を丹念に読むことで、考えます。

内容

西洋演劇の代表的戯曲を輪読し、各作品のテーマに迫ります。一人一幕ずつあらすじを発表し、みんなで、作品の登場人物やテーマなどについて議論して、作品を深く理解したいと思います。さらに、卒業研究に向けて、テーマの立て方、参考資料などの文献検索の方法、卒業論文の書き方などを指導します。

評価

平常点(50%)、レポート(50%)。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

日本演劇学会分科会西洋比較演劇研究会編、『ベスト・ブレイズ 西洋古典戯曲』, 相田書房, ¥4,725

科目名	演習		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Gクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

言語音声やその習得について自分なりの疑問・問題を発見し、仮説をたて、事実を観察したり実験を行ったりし、結論を出し、それを文章で表現することを通して、自分で思考する練習をする。

## 内容

もし言語音声に関連する科目である「ことばの心的メカニズムD」(後期)、「サウンド処理演習」(後期)をまだ履修していなければ、演習IIと並行して履修してほしい。

本科目の研究内容を4年次の卒業研究へとつなげるために、演習Iに引き続いてゼミ研究ノートをつけ、それを使って学期末のレポートを作成する。

【3年次夏休み】：各自、自分の関心を第一に考えて、自由に演習 のレポートのテーマを考える。自分の好きな事柄でないと卒業論文につながらないので、言語音声に関係ないテーマでもよい。テーマをきめるために、当然この時期の読書や取材も必要である。

【3年次後期】：ゼミ生の関心にできるだけ沿った書籍の一部分や論文を数点読む。ゼミ生はその都度研究日誌に書き足していく。研究日誌を使って、演習 の最終レポートをつくる。これは、卒業研究論文の一部へと発展することが望ましい。

## 評価

最終レポートを40点、研究日誌を30点、出席点を30点として、合計60点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】川越 いつえ 著(2007)、『英語の音声を科学する』新装版、大修館書店

窪園 晴夫 著、西光 義弘 編(1998)、『音声学・音韻論(日英語対照による英語学演習シリーズ)』、くろしお出版

ジョン・カニソン キャットフォード 著、竹林 滋・設楽 優子・内田 洋子 訳(2006)、『実践音声学入門』、大修館書店

科目名	演習		
担当教員名	島村 豊博		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Fクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

優れた小説が面白いのはなぜでしょう。小説は人間を問題にします。ですから、小説を読む面白さとは、人生について、人間についての面白さです。わたしたちは一度の人生しか歩めません。そこでの経験は限られています。小説を読めば、自分以外の、まとまりのある個別的な人生を経験することができます。小説の中の人物の追体験をすることで、彼らと感情を共有し、人間についての知識を蓄え、彼らと同じように喜んだり、哀しんだりしながら、その完結した物語に感動するのです。虚構の世界での経験ではありますが、これが現実のわれわれに影響を与えないわけがありません。一冊の小説がその人の一生を決定づけることだって珍しくはありません。

小説家は社会の制約や既成の道徳にとらわれない、新しい人間像を示そうとします。常に人間の自由、解放を目指すからです。ですから小説は人生の新しい経験をわたしたちに与えてくれます。わたしたちの現実生活の中の不純物を取り除いたかたちで、そのエッセンスだけをわかりやすいかたちで与えてくれます。ところでこうした新しい人間像を示すには、人物造型に新しい描き方、新しい方法が必要になります。作家はこの新しい方法を見つけ出すことに精魂を傾けます。新しい人物像に新しい描き方がぴったり合ったときは、そこに調和のとれた美的世界が出現し、わたしたちは知的充足感とともに美的快感に酔うことができます。こうした小説の機能をイギリス小説で検討します。

#### 内容

- 19世紀以降のイギリス小説の流れを俯瞰します。
- イギリス文学には優れた女流作家が多いが、男性原理の支配する社会の中で、家庭内を唯一の自己表現の場としていた女性たちが、いかにして自己に目覚め、魂の自由をもとめ、ついには自己実現の達成に至るのかを、オースティン、ブロンテ姉妹、ジョージ・エリオット等で検証します。
- 20世紀のE・M・フォースター、D・H・ロレンス、ヴァージニア・ウルフ等とモダニズムの関係をとらえつつ、これらの作家によっていかなる新しい人間像が提示されているのかを考えます。
- これらの作家を中心にその代表作を個別に取り上げ、作家の伝記的事実、作品鑑賞、評価の面から皆で論じ合います。この過程を通して卒業研究へと対象を絞り込むようにします。
- 論文の書き方については、(1)そもそも論文とはどんなものが、(2)なぜ書くのか、(3)テーマはどうして選ぶのか、(4)作品をどう読むのか、(5)参考資料はどのように集め、利用するのか、(6)論文をどのような手順と形式で書くのか、などの観点から扱います。

#### 評価

以下の割合で点数化し、60点以上を合格とします。

レポート提出：40%、発表：40%、出席点：20%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要に応じてプリントを配布します。参考図書は授業時間に随時指示します。

科目名	演習		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

本来芸術表現の一分野である身体表現は、人間の精神面、身体面を同時に発育調和させる最適な運動文化である。

また、身体表現・ダンスは身体を動かすことで各人の思想や感情を表現することであるが、日常にも様々な「種」がごろがっている。

そこで、このゼミでは、「からだ」「こころ」「スポーツ」「健康」「表現」「生活」など、様々なキーワードをもとに、ダンスから大きな意味での身体表現までアプローチしていく。

更に、人間として生きていく上で大切にしていきたいものをきちんと個々の立場から見つめ、今から一歩でも二歩でもステップアップした女性をみざして、そのためには何をすべきか、自ら考え、自己をプロデュースする力をつけられるようにしていくことも目指している。

#### 内容

- 1) オリエンテーション(自己紹介、面接等)
- 2) 様々なキーワードをもとに、自らの卒論にするべきテーマを探す
- 3) 提示された本の中から、自ら選択し、それらの内、最も他のゼミのメンバーに紹介したい項目を提示し、その理由を説明  
それをもとにゼミのメンバーで議論する
- 4) 様々なジャンルのダンスに挑戦
- 5) 桐華祭における身体表現発表を企画段階からプロデュースし、そのための必要な情報や技術、コンテンツを準備する  
(実技から裏方の準備まで)  
後期は桐華祭までは実技と発表準備が中心となり、その後は卒論に向けた準備として、本を読み合い、議論などの時間を多くとることとなる。

#### 評価

出席60% 準備、調査、発表40% その他議論の際の発言や、準備や発表に対する姿勢など総合的に評価する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜授業内で提示する

科目名	演習		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

自然の中で起こること - 太陽の運行、地球の環境、動物や植物の暮らし - などを対象にする学問を自然科学という。自然を観察したり、客観的な実験をしたりして一般的な“きまり”を見つけることが自然科学の主題になる。得られた結論は、多くの場合誰が再調査・再実験しても同じ結論となる。演習では、自分のテーマの方向性を絞っていくと同時に、卒業研究の表現形態について考えよう。論文形式、ホームページ形式、2D または3D のデジタルメディア形式、画像またはビデオなど、自分に合った表現方法を見出し、それを習得していく。

#### 内容

まず自然に関して問題意識をもつことが重要である。考えられるメディア、例えば、科学雑誌、新聞テレビ(ビデオまたはDVD)、博物館・科学館等、ネットワーク上の情報などを通して、自分の興味・テーマを探そう。テーマを見つけることができれば、そのことに関してさらに文献を調べて詳しく学ぼう。

演習 では、前期で学習したことを継承しさらに発展させていく。まずは自分のテーマを絞っていきう。自分のテーマの方向性が決まったら、その表現方法を決めていこう。論文形式をとる場合は、まず文献を多く探す。Web を活用して論文を検索し、必要であれば取り寄せることを覚えよう。また、自分の論文の書き方をもう一度見直しておこう。必要に応じて論文作成のための文献も探すことになる。

ホームページ形式をとる場合は、その作成方法を身につける。必要な文献を探し、その作成方法を学習しよう。デジタルメディアでの表現を考える場合は、ソフトウェアの選択が重要である。Photoshop、FLASHなど自分のテーマにあったソフトを選択し、その操作方法を習得しよう。その際に、自分でソフトの使い方を習得できる文献を探すことも大事なプロセスである。画像やビデオによる場合は、その編集方法、整理方法を確立しておく。

#### 評価

提出物等50%、プレゼンテーション・討議等授業への参加度50%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	演習		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Hクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

担当教員の専門である、国際マスコミュニケーションやグローバル・ジャーナリズムについて、講義では詳しく説明できなかった部分を、ビデオ、インターネット、現地で蒐集した資料などを見せながら、より深く学んでいきます。その中で、各人が4年時の卒業研究につながる自分のテーマを見つけるよう、はなむけすることが狙いです。

#### 内容

夏合宿で発表してもらった、各人の卒業論文テーマ案に沿って、各自に研究テーマを与え、その成果を発表していきます。発表された内容をゼミ生みんなで討論することで、新たな視点を獲得し、研究内容が深化していくことを目指します。

#### 評価

ゼミでの議論(60%)および提出物(40%)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

小玉美意子編 『テレビニュースの解剖学 映像時代のメディアリテラシー』(新曜社)

科目名	卒業研究		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

3年次の演習 ・ の成果を踏まえて、卒業研究に結実させる。

#### 内容

各自が扱うテーマは、卒業研究のスタートとともに確定させ、素材の収集・分析を進めて執筆・制作にあたる。

#### 評価

卒業研究(卒論)の素材の質と量 = 20点、分析の視点と独自性 = 40点、論述の構成 = 20点、文章表現力 = 20点  
計100点 合計点60点以上が合格

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

参考図書・資料は必要に応じて紹介する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	1Jクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ユニバーサルデザイン、ヒューマンインタフェースの分野について学ぶ。コンピュータなどの道具よりも道具を使う人間を中心に考え、人間に優しい道具のデザインを考える。よりわかりやすく言うと、年齢、性別、障害の有無などに関わらず、日常の全ての道具を、使う人間にとって使いやすく、わかりやすい、学びやすい道具のデザインを考える。さらに言えば、遊園地にいるかのように、人間が思わず使いたくなる楽しい道具のデザインにすることを狙う。単なる思い付きではなく、人間の心理過程の考察に基づき、道具のデザインについて考える。

#### 内容

##### 1. 研究

各自が選択した研究テーマについて考察を進め、論文や試作品を作成する。

世の中には、使いにくい道具、わかりにくい表現があふれている。自分の興味のある道具や表現などを一つ選択し、そのテーマについて、人間の心理過程の考察を行ない、道具のデザインについて考える。学習、思考といった高次認知機能だけでなく、視聴覚機能、運動機能、まで含めて総合的な考察を行なう。

例えば、高齢者が情報機器の使い方を学習する場合に生じる問題、がある。

##### 2. コミュニケーション

自分一人で自分の研究テーマについて考察を進めるだけでなく、他の学生の研究テーマの発表を聞いて、積極的にコメント、質問をして欲しい。それによって、他の学生の研究を促進させる、自分の研究を別の角度から考察するきっかけとして欲しい。

#### 評価

提出してもらった論文で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)



科目名	卒業研究		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「演習Ⅰ・Ⅱ」の内容をふまえた上で、言語学の研究領域のうち、形態論、統語論、意味論、語用論を中心に、各自が興味を持った分野について、基本的な文献を読むことに加え、資料を集め、整理・分析するといった作業を通して、卒業論文の執筆を始めます。

#### 内容

研究内容にかかわる先行研究を丁寧に読み、まとめるという作業を行ないます。

#### 評価

下記の割合で点数化し、60%以上の得点を合格とします。

- (1) 先行研究のまとめのレジュメ： 70%
- (2) 平常点(毎授業での発表)： 20%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各自の卒業研究のテーマに合わせて授業内で指示します。

科目名	卒業研究		
担当教員名	佐藤 公正		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	1Eクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

新聞、テレビ、雑誌、インターネットなど多様なメディアが伝える情報はどこまで事実で、また真実なのでしょうか。このゼミではマスメディアの機能と役割を考察し、とくに新聞を中心とした報道ジャーナリズムの現状を具体的な事例の考察を通じて、またテレビ報道との対比も試みながら「情報を賢く、批判的に読み解く」能力を高めることをめざします。同時に、情報の受け手としてだけでなく、送り手としての能力を身につけるため、プレゼンテーションなど自己表現の基礎的な技法も訓練します。

4年の卒業研究 ・ は3年の演習 ・ の延長上にあって、以上のねらいと下記の内容に沿い各自がテーマを決定し、論文にまとめます。

#### 内容

1. 3年の演習 ・ に引き続いて、履修生の自主的な活動が求められます。その興味関心にこたえて、個別的な指導を考えていきます。
2. 3年の演習で身につけた日本のマスメディアの現状と課題、研究方法をもとに、文献資料の収集や実証的な調査の下準備を終えて、3年の学年末までに卒業研究のテーマを決定し、4年最初のゼミで発表します。
3. その具体的なテーマ例は演習のシラバスに詳述した通りで、活字メディアにとどまらず幅広くマスメディア全般について取りあげることができます。
4. 4年前期では、とくにテーマ分野の「現場」と当事者に直接接触して材料を収集すること、つまり実証的な調査研究を大事にして進めていきます。
5. 原則として毎時間、それぞれの調査研究の進展状況を報告し、相互の議論を通じて深めます。

10月末に第1次草稿を提出すること。

#### 評価

課題に対するレポート60点、ゼミでの報告発表40点とし、総計60点以上を合格とします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

それぞれの関心テーマと議論内容に応じて随時、必要な文献図書、資料などを紹介します。

科目名	卒業研究		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	1Kクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本語の変化やバリエーションなど言語研究を通しての専門的知識獲得と、社会に出てから必要とされる「自ら問題を発見し、解決する能力」を身につけることを目標とします。

卒業論文作成を行いながら自ら発信できるオリジナルコンテンツ(就活での自己PRの内容)の完成を目指します。Mind-Map思考法の発展、プレゼンテーションなどPCを用いた技能も併せて身につけ、言語化、可視化の訓練を行います。自らの変化を希望しそれに向かって努力する学生をサポートし育てます。体験重視型自己成長促進ゼミを目指します。ゴールは「人としての素敵さの獲得!」です。

#### 内容

- 第1回 自己分析と現状分析
- 第2回 論文作成技法
- 第3回 卒論プレゼンテーション1
- 第4回 就活サポート1
- 第5回 卒論プレゼンテーション2
- 第6回 ゼミ共同プロジェクトフィールドワーク計画1
- 第7回 ゼミ共同プロジェクトフィールドワーク計画2
- 第8回 調査データ分析法1
- 第9回 調査データ分析法2
- 第10回 卒論プレゼンテーション3
- 第11回 共同プロジェクト準備1
- 第12回 共同プロジェクト準備2
- 第13回 ライフビジョン・キャリアビジョン完成
- 第14回 PC論文作成サポート
- 第15回 フィードバック

#### 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」をメールで送信。 日常出席まとめ感想メール...1~7ポイント(提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題...3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度]課す) 最終課題or試験...5~10ポイント 合計ポイントと評価...D<60 C<70 B<80 A (4回以上の欠席は受講放棄とみなします)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	卒業研究		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	1Mクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

脳の持つ機能を知り、1 言語的、2 絵画的、3 空間的、4 論理数学的、5 音楽的、6 身体運動的、7 社会的、8 感情的の八種類の知性のいずれかを選択し、その関連分野を含めて研究をすすめていく。

#### 内容

1. 言語的知性の研究
2. 言語的知性の関連研究
3. 絵画的知性の研究
4. 絵画を観る脳の関連研究
5. 空間的知性の研究
6. 空間を把握する脳の関連研究
7. 論理数学的知性
8. 論理数学の関連研究
9. 音楽的知性の研究
10. 身体運動的知性の研究
11. 社会的知性の研究
12. 社会的知性の関連研究
13. 感情的知性の研究
14. 感情的知性の関連研究
15. まとめ

#### 評価

出席35% レポート分析65%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各自のテーマに沿って指定

科目名	卒業研究		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年		ク ラ ス	1Lクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

卒業研究では、演習で学んだことを発展させ、各自の選んだテーマに沿った卒業論文の指導を行います。

#### 内容

卒研究に向けて、テーマの立て方、参考資料などの文献検索の方法、卒業論文の書き方などを指導します。卒業研究では、学生各自のテーマを設定し、それに添った形で発表をしてもらいます。毎週、それを添削します。積極的な授業参加が望まれます。

#### 評価

平常点(50%)、レポート(50%)。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	卒業研究		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	1Gクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

パーソナルコミュニケーション・音声コミュニケーションに関する自分なりの疑問・問題を発見し、仮説をたて、事実を観察したり実験を行ったりし、考察・結論付けを行い、筋道をつけて文章化する。情報の出典の明記には特に注意する。

## 内容

3年次演習Iでは、英語の小説の朗読とメディアミックス化された音声数種類をあつかい、日本語音声言語習得に関する論文も読んだ。演習IIでは、英語の絵本2点(音声付きとなしのもの)を読んだ。ゼミ研究ノートをチェック・指導できなかったなので、早く卒業研究ノートの充実に努めてほしい。これまでの設楽ゼミ生の卒論の例は次の通り。

- \* 日本の戯曲とその英訳の比較
- \* 80年代、90年代、2000年代のテレビドラマのせりふに現れる日本語の男女差を終助詞に注目して分析した論文
- \* 英語の同音異義語が聞き取り問題に与える影響を実験した論文

このような研究や、『ロミオとジュリエット』『オリバーツイスト』『キングコング』など、リメイク版のある映画作品を使って、新旧の発音が異なっているかどうかを調べるというのは卒論テーマの候補としていかがだろうか。

卒業研究の進捗状況のチェックは次のように行う。

- \* 4年次4月～6月： 問題の分析、過去の研究の分析、問題の修正、仮説の明確化、  
\_\_\_\_\_ 観察・実験の計画
- \* 4年次7月～10月： 観察・実験・取材
- \* 4年次11月～12月初旬： 文章化・添削

卒業論文執筆・就職活動・内定先研修・卒業旅行などの時間配分を計画的に行っていただきたい。他大学で卒業研究が選択制なところも多いため、就職内定企業が卒業論文執筆時期に研修を勧めることがあるので、執筆時間を確保することには特に注意していただきたい。

## 評価

卒業研究ノートの評価を50点、出席点を50点とし、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【参考書】「ことばの心的メカニズムB・D」、「サウンド処理演習」の教科書・推薦書等を参照のこと。

科目名	卒業研究		
担当教員名	島村 豊博		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	1Fクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

英米の小説、児童文学、英語研究、それぞれの研究テーマを3年次の演習から発展させ、卒業研究としてまとめます。

内容

毎週ゼミでそれぞれの論文の進捗状況を報告し、他学生と意見交換します。必要があれば個別指導を受け、論文の軌道修正をしながら卒業研究の完成を目指します。

評価

以下の割合で点数化し、60点以上を合格とします。

卒業研究の成果：80%、レポート提出、発表、出席点：20%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要に応じてプリントを配布します。参考図書は随時、個別的に指示します。

科目名	卒業研究		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

身体表現ゼミであるが、ダンスにとらわれず身体活動を通して人間のあらゆる角度から幅広く表現することの意味、実践することの意義に焦点をあて、各人が興味を持って調べ、4年間の集大成として卒業研究をまとめる。

#### 内容

自分の興味のあることを楽しみながら調べ、知識を深めていくことが重要である。前期はそのための知識や情報を収集する期間として、各自の参考文献や共通な文献の読み合い、意見の出し合いなどしながら各自の考え方を固めていくことも同時に行っていく。

1. 研究テーマの設定
2. 研究計画作成(卒業研究提出日までの内容計画、中間発表、研究発表)
3. テーマに応じ、文献等を活用し取り組む
4. 卒業研究発表(全て仮題) (ゼミ関係2・3年生に呼びかける)

(以下は、平成21年度の卒研課題例)

自己の身体との向き合い? 10ヶ月に渡る記録?

結婚事情? 過去から現在へ?

My P A S S I O N ? なぜ曲作り演奏するのか?

ダンススクールについて? E T C ダンススクールを事例として?

#### 評価

準備状況等50% 卒業研究内容50% その他桐華祭参加状況、その他ゼミイベント参加状況、下級生教育等 総合的に評価する

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜指示する



科目名	卒業研究		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

卒業論文の執筆に向けて各自学習を進める。学期中に一度は途中経過の発表を行い、ゼミの中での討論を通して理解を深める。卒業論文の執筆についてはその指導を行う。

#### 内容

3年次の「演習」により決めたテーマにつき、文献収集、まとめと発表を通してその内容を深めていく。ゼミナールには積極的に参加し、他の人の発表を理解し、自分の考えをまとめて意見を言うことができる力も養って欲しい。卒業論文執筆にあたっては、推敲する時間を考え、余裕を持って計画的に行っていくことが望まれる。

#### 評価

卒業研究の進捗状況50%、プレゼンテーション・討議等授業への参加度50%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	卒業研究		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	1Hクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

卒業研究を完成させる中で、自分の企画力、計画性、行動力、構成力、克己心などを向上させます。

内容

各人の研究成果の進捗状況を報告し、指導を受けます。

評価

プレゼン内容( 70% )および討論内容( 30% )

教科書・推薦書( 著者名・書名・出版社名 )

科目名	卒業研究		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

3年次の演習 ・ の成果を踏まえて、卒業研究に結実させる。

#### 内容

各自が扱うテーマは、卒業研究のスタートとともに確定させ、素材の収集・分析を進めて執筆・制作にあたる。

#### 評価

卒業研究(卒論)の素材の質と量 = 20点、分析の視点と独自性 = 40点、論述の構成 = 20点、文章表現力 = 20点  
計100点 合計点60点以上が合格

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

参考図書・資料は必要に応じて紹介する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	2Jクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ユニバーサルデザイン、ヒューマンインタフェースの分野について学ぶ。コンピュータなどの道具よりも道具を使う人間を中心に考え、人間に優しい道具のデザインを考える。よりわかりやすく言うと、年齢、性別、障害の有無などに関わらず、日常の全ての道具を、使う人間にとって使いやすく、わかりやすい、学びやすい道具のデザインを考える。さらに言えば、遊園地にいるかのように、人間が思わず使いたくなる楽しい道具のデザインにすることを狙う。単なる思い付きではなく、人間の心理過程の考察に基づき、道具のデザインについて考える。

#### 内容

##### 1. 研究

各自が選択した研究テーマについて考察を進め、論文や試作品を作成する。

世の中には、使いにくい道具、わかりにくい表現があふれている。自分の興味のある道具や表現などを一つ選択し、そのテーマについて、人間の心理過程の考察を行ない、道具のデザインについて考える。学習、思考といった高次認知機能だけでなく、視聴覚機能、運動機能、まで含めて総合的な考察を行なう。

例えば、高齢者が情報機器の使い方を学習する場合に生じる問題、がある。

##### 2. コミュニケーション

自分一人で自分の研究テーマについて考察を進めるだけでなく、他の学生の研究テーマの発表を聞いて、積極的にコメント、質問をして欲しい。それによって、他の学生の研究を促進させる、自分の研究を別の角度から考察するきっかけとして欲しい。

#### 評価

提出してもらった論文で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	卒業研究		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「演習Ⅰ・Ⅱ」の内容をふまえた上で、言語学の研究領域のうち、形態論、統語論、意味論、語用論を中心に、各自が興味を持った分野について、基本的な文献を読むことに加え、資料を集め、整理・分析するといった作業を通して、卒業論文を完成させます。

#### 内容

先行研究のまとめをふまえ、問題点、疑問点などを発展させ、論文を仕上げていきます。。

#### 評価

下記の割合で点数化し、60%以上の得点を合格とします。

- (1) 卒業論文： 80%
- (2) 平常点(毎授業での発表)： 20%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各自の卒業研究のテーマに合わせて授業内で指示します。

科目名	卒業研究		
担当教員名	佐藤 公正		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ゼミの最終段階です。3年の演習・との連続した研究活動として、この4年の卒業研究・があり、卒業研究ではそれまでの活動の成果を論文に書き上げることになります。このゼミ活動のありかたとねらいを段階を追って理解するためには、3年の演習からの各シラバスを参照してください。

#### 内容

1. 演習から引き続いて履修生の自主的な活動を求め、その興味関心にこたえて、運営方法や内容を組み立てます。
2. 3年の12月末までに卒業研究のテーマを絞ったあと、4年前期までに広く資料・文献の収集や実証的な調査をもとに研究の全体像が見え始めてきます。
3. それぞれのテーマに応じて個別指導に重点が置かれます。同時に、毎回のゼミではそれぞれの論文作成の中間報告が求められます。

10月末日に第1次草稿、11月20日までに第2次草稿を提出すること。論文の決定稿提出締め切り日は年度によって異なりますが、おおむね12月中旬です。

#### 評価

卒業研究の内容80点、ゼミ報告発表20点とし、総計60点以上を合格とします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

それぞれの関心テーマと議論内容に応じて随時、必要な文献図書、資料などを紹介します。

科目名	卒業研究		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	2Kクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本語の変化やバリエーションなど言語研究を通しての専門的知識獲得と、社会に出てから必要とされる「自ら問題を発見し、解決する能力」を身につけることを目標とします。

卒業論文作成を行いながら自ら発信できるオリジナルコンテンツ(就活での自己PRの内容)の完成を目指します。Mind-Map思考法の発展、プレゼンテーションなどPCを用いた技能も併せて身につけ、言語化、可視化の訓練を行います。自らの変化を希望しそれに向かって努力する学生をサポートし育てます。体験重視型自己成長促進ゼミを目指します。ゴールは「人としての素敵さの獲得!」です。

#### 内容

- 第1回 自己分析と現状分析
- 第2回 論文作成技法
- 第3回 卒論プレゼンテーション1
- 第4回 就活サポート1
- 第5回 卒論プレゼンテーション2
- 第6回 ゼミ共同プロジェクトフィールドワーク計画1
- 第7回 ゼミ共同プロジェクトフィールドワーク計画2
- 第8回 調査データ分析法1
- 第9回 調査データ分析法2
- 第10回 卒論プレゼンテーション3
- 第11回 共同プロジェクト準備1
- 第12回 共同プロジェクト準備2
- 第13回 ライフビジョン・キャリアビジョン完成
- 第14回 PC論文作成サポート
- 第15回 フィードバック

#### 評価

卒論中間発表30%、中間レポート40%、まとめメール10%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	卒業研究		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	2Mクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

卒業研究Iに続き、1 言語的、2 絵画的、3 空間的、4 論理数学的、5 音楽的、6 身体運動的、7 社会的、8 感情的の八種類の知性のいずれかを選択し、研究、論文を完成させていく。

## 内容

1. 言語的知性考察
2. 言語的知性関連論文の分析
3. 絵画的知性考察
4. 絵画を観る脳の関連論文の分析
5. 空間的知性考察
6. 空間を把握する脳の関連論文の分析
7. 論理数学的知性考察
8. 論理数学の関連論文の分析
9. 音楽的知性考察
10. 身体運動的知性の関連論文の分析
11. 社会的知性の考察
12. 社会的知性の関連論文の分析
13. 感情的知性の考察
14. 感情的知性の関連論文の分析
15. まとめ

## 評価

出席35% レポート、分析65%

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各自のテーマにより指定



科目名	卒業研究		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年		ク ラ ス	2Lクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

毎週、卒論の進捗状況を発表し、問題点を解決します。

内容

毎週、論文を添削し、論文を期限内に仕上げていきます。

評価

期限内提出された卒業研究

教科書・推薦書( 著者名・書名・出版社名 )

科目名	卒業研究		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	2Gクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

パーソナルコミュニケーション・音声コミュニケーションに関する自分なりの疑問・問題を発見し、仮説をたて、事実を観察したり実験を行ったりし、考察・結論付けを行い、筋道をつけて文章化する。情報の出典の明記には特に注意する。

## 内容

これまでの設楽ゼミ生の卒論の例は次の通り。

- \* 日本の戯曲とその英訳の比較
- \* 80年代、90年代、2000年代のテレビドラマのせりふに現れる日本語の男女差を終助詞に注目して分析した論文
- \* 英語の同音異義語が聞き取り問題に与える影響を実験した論文

このような研究や、『ロミオとジュリエット』『オリバーツイスト』『キングコング』など、リメイク版のある映画作品を使って、新旧の発音が異なっているかどうかを調べるというのは卒論テーマの候補としていかがだろうか。

卒業論文の進捗状況のチェックは次のように行う。

- \* 4年次7月～10月： 観察・実験・取材
- \* 4年次11月～12月初旬： 文章化・添削

卒業論文執筆・就職活動・内定先研修・卒業旅行などの時間配分を計画的に行っていただきたい。他大学で卒業研究が選択制なところも多いため、就職内定企業が卒業論文執筆時期に研修を勧めることがあるので、執筆時間を確保することには特に注意していただきたい。

## 評価

卒業研究論文(または作品)の評価を50点、出席点を50点とし、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【参考書】「ことばの心的メカニズムB・D」、「サウンド処理演習」の教科書・推薦書等を参照のこと。

科目名	卒業研究		
担当教員名	島村 豊博		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	2Fクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

英米の小説、児童文学、英語研究、それぞれの研究テーマを3年次の演習から発展させ、卒業研究としてまとめます。

内容

毎週ゼミでそれぞれの論文の進捗状況を報告し、他学生と意見交換します。必要があれば個別指導を受け、論文の軌道修正をしながら卒業研究の完成を目指します。

評価

以下の割合で点数化し、60点以上を合格とします。

卒業研究の成果：80%、レポート提出、発表、出席点：20%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要に応じてプリントを配布します。参考図書は随時、個別的に指示します。

科目名	卒業研究		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

身体表現ゼミであるが、ダンスにとらわれず身体活動を通して人間のあらゆる角度から幅広く表現することの意味、実践することの意義に焦点をあて、各人が興味を持って調べ、4年間の集大成として卒業研究をまとめる。

#### 内容

自分の興味のあることを楽しみながら調べ、知識を深めていくことが重要である。

1. 研究テーマの設定
2. 研究計画作成(卒業研究提出日までの内容計画、中間発表、研究発表)
3. テーマに応じ、文献等を活用し取り組む
4. 卒業研究発表(全て仮題) (ゼミ関係2・3年生に呼びかける)

自己の身体との向き合い? 10ヶ月に渡る記録?

結婚事情? 過去から現在へ?

My P A S S I O N ? なぜ曲作り演奏するのか?

ダンススクールについて? E T C ダンススクールを事例として?

#### 評価

準備状況等 50% 卒業研究内容 50% その他ポスター発表参加、卒研発表会参加等 総合的に評価する

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜指示する

科目名	卒業研究		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

卒業論文の執筆に向けて各自学習を進める。学期中に一度は途中経過の発表を行い、ゼミの中での討論を通して理解を深める。卒業論文の執筆についてはその指導を行う。

#### 内容

3年次の「演習」により決めたテーマにつき、文献収集、まとめと発表を通してその内容を深めていく。ゼミナールには積極的に参加し、他の人の発表を理解し、自分の考えをまとめて意見を言うことができる力も養って欲しい。卒業論文執筆にあたっては、推敲する時間を考え、余裕を持って計画的に行っていくことが望まれる。

#### 評価

卒業研究の成果物70%、プレゼンテーション・討議等授業への参加度30%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	卒業研究		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	2Hクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

卒業研究を完成させる中で、自分の企画力、計画性、行動力、構成力、克己心などを向上させます。

内容

各人の研究成果の進捗状況を報告し、指導を受けます。

評価

卒業論文( 100% )

教科書・推薦書( 著者名・書名・出版社名 )

科目名	キャリアサポート		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

マスメディア業界は情報提供のいっそうのスピードアップを求められる一方で、情報の濃密度や信頼性が問われ、企業間、業界間の生存競争が一層激しくなっている。換言すれば、マスメディア界も選別、淘汰の時代に入ったと言えるが、われわれ現代人は超情報化社会を生き抜くためにも、マスメディア業界の現実(実態)を知る必要がある。

その知識を身につけていくひとつの道は、まずは新聞、放送、出版、インターネット、広告等々といった各業界が今日の社会でどのように機能しているかを知ることから始まる。

また、マスメディア界は人的資源が財産であり、いかに可能性を秘めた人材をそろえているかが業界での勝ち負け、生き残りを左右する。この意味でマスメディア業界がどのような人材を求めているのか、その内部事情を知ることが不可欠である。

授業は、テレビ界出身の本学教員とマスメディアへの就職最前線事情に詳しい専門家を中心にして、マスメディア業界が抱える諸問題について解説するとともに、激変するマスメディア業界の現状と将来に関する最新情報を提供する「傾向と対策」の場と位置づける。

#### 内容

1. ガイダンス
2. マスコミ業界の心得(メディア人としての義務と使命感を養う)
3. 報道(新聞)の変遷(新聞創刊期から現代までの歴史的諸問題)
4. 報道(出版)の変遷(週刊誌創刊期からクラス系雑誌誕生まで)
5. 報道(放送)の変遷(放送事業開局から地デジへの展開と発展)
6. 広告媒体戦略とIT(4大メディアのアプローチの相違と現状)
7. 女性誌ファッション(ローティーン誌からヤング誌トレンド考)
8. 女性誌クラス系分析(キャリア誌からシニア実用誌トレンド考)
9. 情報誌メディア戦略(消費者の視点からの市場マーケティング)
10. 芸能音楽業界の興亡(欧米と日本のショービジネス対比と連動)
11. 書籍文藝の企画立案(ベストセラー企画から新書ビジネスまで)
12. コミック新たな戦略(著作権とコンテンツビジネスの世界発信)
13. スポーツ報道と風俗(新聞・放送・雑誌各媒体の相違と問題点)

授業の中間点と終わりに2回、「傾向と対策」の筆記試験と口頭試問を行う。

#### 評価

試験 = 60点、授業中の発表 = 20点、出席 = 20点 計100点 60点以上が合格

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

参考図書、参考情報は随時、授業中に紹介する。

注意：本授業は新聞、出版（書籍・雑誌）、放送（ラジオ・テレビ・番組制作会社）、インターネット、映画、音楽、広告など、いわゆるマスコミ業界への進出（＝就職）を本気で目指している学生を対象に行うものである。マスコミの就職試験を受けることを考えていない学生は受講対象とはしないので留意すること。



科目名	映像女性論		
担当教員名	松本 侑壬子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

映画は楽しい娯楽であると同時に、巨額の制作費をかけたイメージ商品であり、その時代や社会の欲求の反映です。また人の心に直接に訴えかける強力なメディアであり、高度な総合芸術でもあります。映画を手がかりに社会と人間関係のあり方をジェンダーの視点で考えてみましょう。

19世紀末の映画の誕生から1世紀余の歴史の中で、女性の登場しない映画はごく稀(まれ)です。スクリーン上のヒロインは長い間理想の女性イメージとして描かれ、それは時代とともに変わってきたのです。改めて“作られた女の理想像”を見直し、時代背景との関係を考察します。

前期(1)は、ヒロイン像の変遷。映画史とからめながらスクリーンに描かれる女性像の変遷を中心に講義します。基本的に毎回実際の作品を手がかりに、映画をジェンダーの視点から主体的に見る基礎的な力(メディア・リテラシー)をつけることを目指します。

この授業は、学年、学部・学科を問わず広く受講可能です。

#### 内容

1. 映画の誕生とその時代 “動く画像”への挑戦、エジソンの発明、リュミエール兄弟のシネマトグラフへ。
2. 世界初の女性監督は23歳のパリジェンヌだった 映画黎明期の女性映画人たち。
3. ヒロイン像の変遷 ハリウッドの成り立ちと“夢の工場”で形成される“女の理想像”
4. ヒロイン像の変遷 “アメリカ映画の父”とグリフィス・ガールズ
5. ヒロイン像の変遷 最初の女優たち 対照的なハリウッド映画と日本映画
6. ヒロイン像の変遷 ヒロイン3条件は永遠か?
7. ヒロイン像の変遷 サイレントからトーキーへ 変わるスターの条件
8. ヒロイン像の変遷 “女らしさ”は作られる セックス・シンボルの系譜。
9. アニメのヒロインたち 白雪姫からポニョまで
10. CG時代の女性像は? -強く、賢く、美しいアクションウーマンたち
11. 女性解放運動と新女性映画
12. アカデミー賞 歴史と仕組み、受賞作品をジェンダーの視点で検討する。

また、映画評論家である本講師による最新映画情報など新鮮な映画の話題も随時取り上げる。

#### 評価

出席40点およびレポート、ペーパーテスト60点により評価を行ない、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】特になし。必要に応じて適切なものを紹介、資料配布する。

【推薦書】井上一馬著『アメリカ映画の大教科書』(上・下)(新潮社) 778.253/1/1-2

北野圭介著『ハリウッド100年史講義』(平凡社) 778.253/K

松本侑壬子著『シネマ女性学』(論創社) 778.04/M

エマニュエル・レヴィ著、浜口幸一訳『アカデミー賞全史』（文芸春秋）778.253/L

科目名	映像女性論		
担当教員名	松本 侑壬子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

後期は、できれば前期の( )の授業を受けておいた方がより分かりやすいですが、この授業だけでも理解はできるように講義を進めます。

映画を手がかりに社会と人間関係のあり方をジェンダーの視点で考えること、実際の作品を手がかりに映画を主体的に見る基礎的な力(メディア・リテラシー)をつけるよう目指すのも前期と同様です。

後期は、比較的新しい作品を素材に“女らしさ”“男らしさ”の「性の境界線」を超える主人公たちに焦点を当ててジェンダーフリーな生き方とは、を考えます。

また、世界的に女性の映画産業界への進出が著しい中で、映画の作り手の中心となる女性監督たちについて学びます。とりわけ、これまで見過ごされ勝ちだった日本の女性監督たちの活躍に注目し、その人と作品を通して映画を身近なものとして理解することを目指します。時には現役の女性監督を招き、生きた映画製作の話をお聞きしましょう。

この授業は、学年配当1・2年となっていますが、実際には学年、学部・学科あるいはコースを問わず広く受講可能です。また、社会人の方々にも開講しています。

#### 内容

1. 映画におけるジェンダー問題とは何か “女性映画”というけれど。
2. “性の境界線”と伝統的ラブロマンス。
3. “性の越境者”たち “妊婦”になった(!)元ターミネーター
4. 男は喜劇、女は悲劇 異装の人々とその運命
5. 「性は変わっても、私は私」 時空を超えるオルランド
6. 女性自身で描く女性像 世界の女性監督たちとその仕事
7. 日本の女性監督 第1号映画への夢と現実。諦めない女たち。
8. マルチメディア時代の映画と女性 課題と展望

#### 評価

出席40点、レポート、ペーパーテストで60点により評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】特になし。必要に応じて適切なものを紹介、資料配布する。

【推薦書】吉田・林・松本ら共著『女性監督映画の全貌』（パド・ウィメンズ・オフィス）R778.2/J

佐藤忠男著『日本映画史』（岩波書店）（ - ）778.21/S/1-4

松本侑壬子著『映画をつくった女たち 女性監督の100年』（シネマハウス）778.28/M

羽田澄子著『映画と私』（晶文社）778.21/H

浜野佐知著『女が映画を作るとき』（平凡社）778.04/

科目名	児童文学論 A		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

魔術のような、現実世界ではありえないような論理が通用し、想像上の生物が活躍するファンタジー文学は、児童文学と深い関わりを持ってきました。この授業では、ファンタジー文学とは何かということを考え、日本におけるファンタジー文学の系譜を辿ったうえで、それが児童文学とどのように関わるのかを考えたいと思います。そのうえで、具体的に日本のファンタジー文学作品を取り上げて読み解きます。関連した児童文学作品や神話・昔話・伝説などや、参考文献を授業時間以外に読む意欲を持って受講してください。

#### 内容

- (1) イントロダクション
- (2) ファンタジー文学とは何か
- (3) 児童文学とファンタジー文学
- (4) 日本のファンタジー文学の系譜(その一)
- (5) 日本のファンタジー文学の系譜(その二)
- (6) 角野栄子「魔女の宅急便」(その一)
- (7) 角野栄子「魔女の宅急便」(その二)
- (8) 上橋菜穂子「狐笛のかなた」(その一)
- (9) 上橋菜穂子「狐笛のかなた」(その二)
- (10) 上橋菜穂子「精霊の守り人」(その一)
- (11) 上橋菜穂子「精霊の守り人」(その二)
- (12) 荻原規子「空色勾玉」(その一)
- (13) 荻原規子「空色勾玉」(その二)
- (14) アニメとファンタジー文学
- (15) まとめ

講義内容は必要に応じて変更することがあります。

#### 評価

レポート60%、授業時の小レポートなど平常点30%、出席点10%の配分で評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストは開講時に指示します。参考文献は授業中必要に応じて紹介します。取り上げる予定の作品はできるだけ事前に読んでおいてください。

科目名	児童文学論D		
担当教員名	藤野 紀男		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

児童文学論D(欧米文学 発展)と同じ

内容

児童文学論D(欧米文学 発展)と同じ

評価

レポートの評価を70点、平常点を30点の合計100点で評価し、60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】『図説 マザーグース』(藤野紀男、河出書房新社) 1800円(+税)